

目次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 報告書の見方	1
II 調査結果	2
1 属性	2
2 人権についての意識や考え方	4
(1) 基本的人権について	4
(2) 「山口県人権推進指針」の認知度	8
(3) 人権が尊重された町としての上関町の評価	11
(4) 人権が侵害された経験	12
3 新たに施行された人権に関する法律について	15
(1) 新たに施行された人権に関する法律の認知状況	15
4 人権について	18
(1) 女性の人権について	18
(2) 子どもの人権について	21
(3) 高齢者の人権について	24
(4) 障がいのある人の人権について	27
(5) 罪や非行を犯した人の人権について	30
(6) 犯罪被害者の人権について	33
(7) プライバシーの保護について	36
(8) インフォームド・コンセントについて	39
(9) LGBTQに関する人権について	40
(10) 同和問題について	43
(11) 外国人の人権について	46
(12) 感染症患者等の人権について	49
(13) ハンセン病問題について	52
5 上関町の人権に関する取組について	55
(1) 県や市町が実施した行事への参加や、人権問題に関連した記事等の閲覧経験	55
(2) 県や市町、職場、民間団体等が実施した講演会等への参加経験	58
(3) 力を入れるとよいと思う人権に関する取組の条件整備	59
(4) 上関町が取り組むべき人権に関する課題	62

I 調査の概要

1 調査目的

人権に関する今後の取組を推進していく上での基礎資料を得ることを目的とするため。

2 調査方法

調査地域	上関町全域
調査対象	18歳以上の町内居住者の中から、200人を無作為抽出
調査方法	郵送配布・回収
調査時期	令和6年1月5日～令和6年2月29日
回収結果	有効回収数72件（有効回収率36.0%）

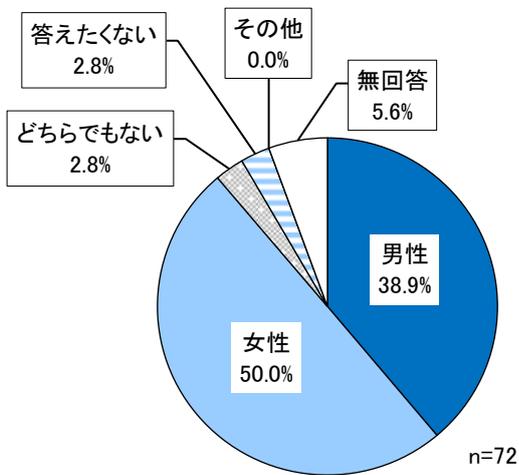
3 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答（複数回答）を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

II 調査結果

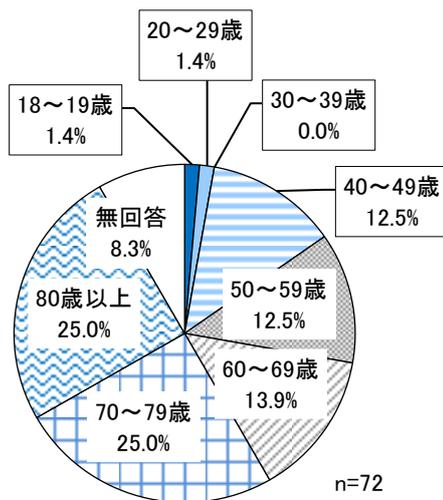
1 属性

(1)性別



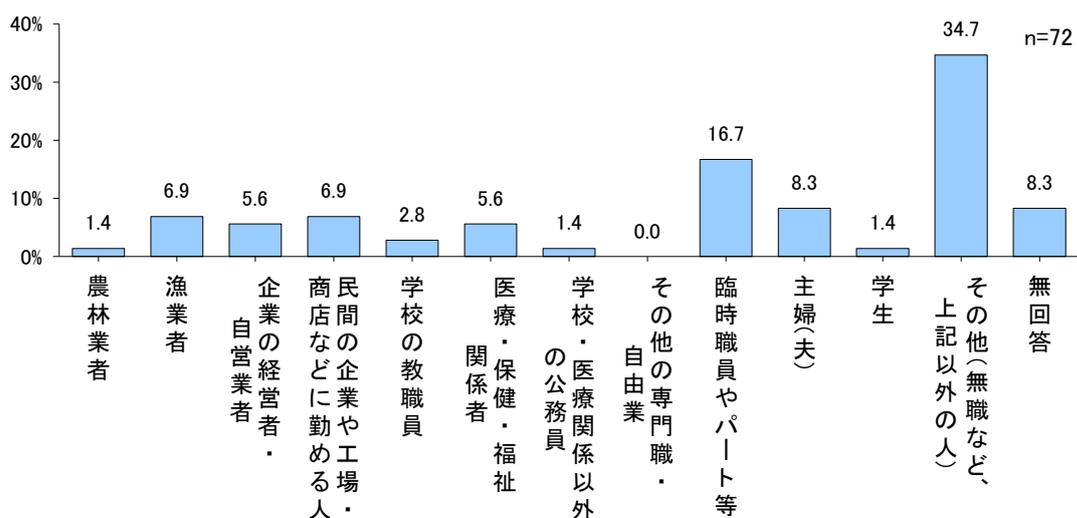
	回答数	割合
男性	28	38.9%
女性	36	50.0%
どちらでもない	2	2.8%
答えたくない	2	2.8%
その他	-	-
無回答	4	5.6%
全体	72	100.0%

(2)年齢



	回答数	割合
18~19歳	1	1.4%
20~29歳	1	1.4%
30~39歳	-	-
40~49歳	9	12.5%
50~59歳	9	12.5%
60~69歳	10	13.9%
70~79歳	18	25.0%
80歳以上	18	25.0%
無回答	6	8.3%
全体	72	100.0%

(3)職業



	農林業者	漁業者	企業の経営者・自営業者	民間の企業や工場・商店などに勤める人	学校の教職員	医療・保健・福祉関係者	学校・医療関係以外の公務員
回答数	1	5	4	5	2	4	1
割合	1.4%	6.9%	5.6%	6.9%	2.8%	5.6%	1.4%

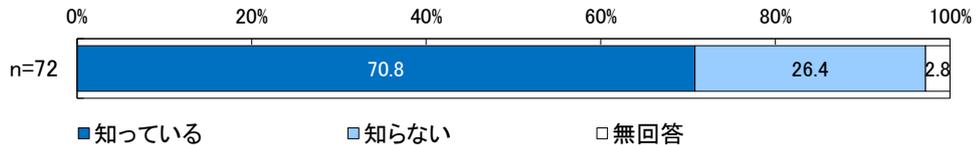
	その他の専門職・自由業	臨時職員やパート等	主婦(夫)	学生	その他	無回答	全体
回答数	-	12	6	1	25	6	72
割合	-	16.7%	8.3%	1.4%	34.7%	8.3%	100.0%

2 人権についての意識や考え方

(1) 基本的人権について

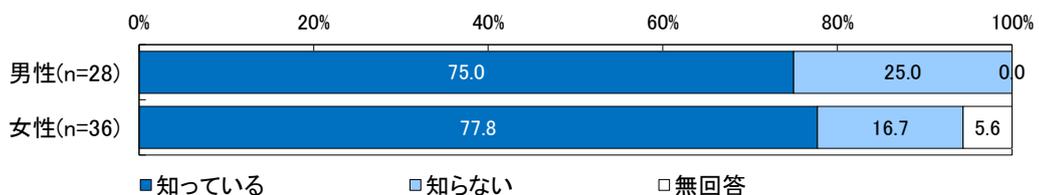
問 1 あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか。(✓は1つ)

【基本的人権が憲法で保障されていることの認知度】



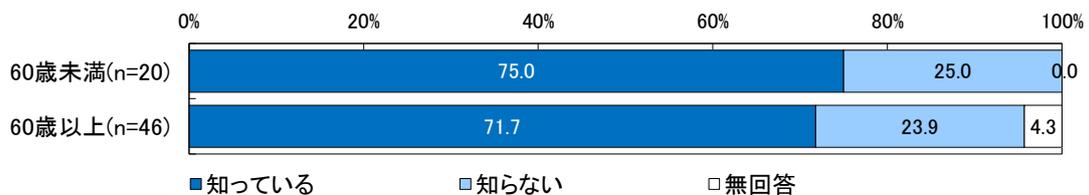
基本的人権が憲法で保障されていることの認知度について、「知っている」と回答した人の割合が70.8%、「知らない」と回答した人の割合が26.4%となっている。

【基本的人権が憲法で保障されていることの認知度（性別）】



性別にみると、男女ともに「知っている」と回答した人の割合が7割台となっている。

【基本的人権が憲法で保障されていることの認知度（年齢別）】

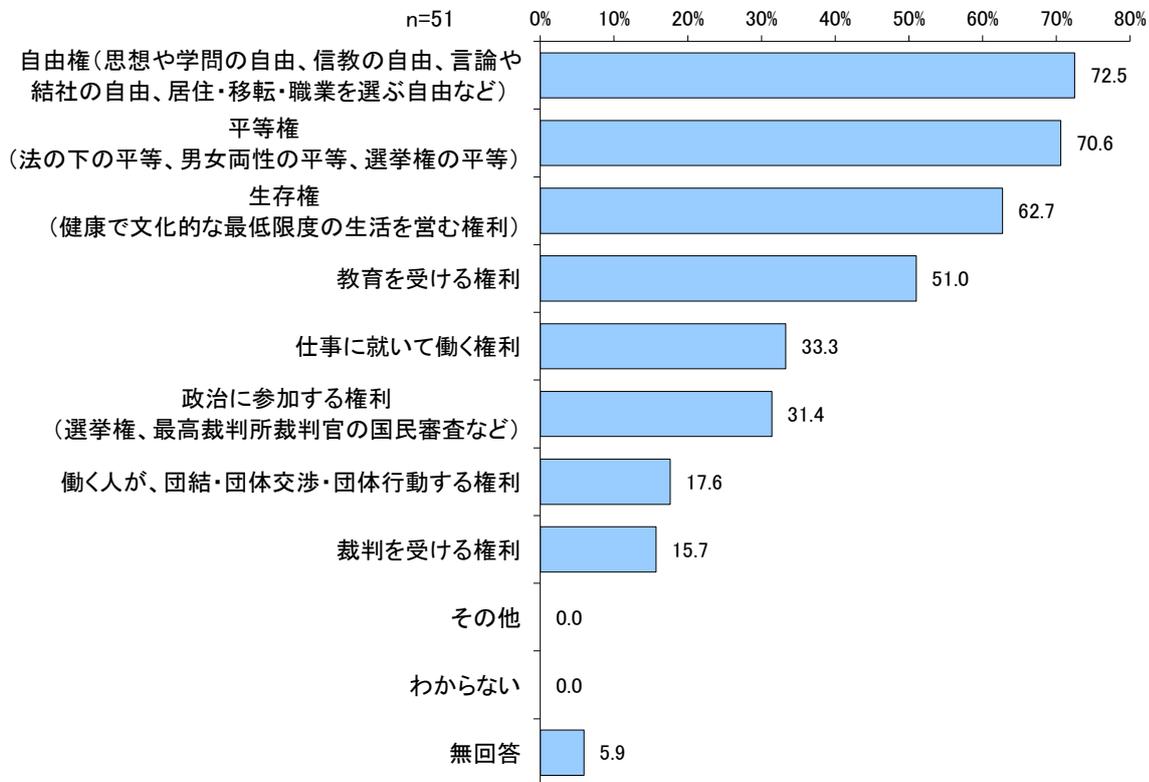


年齢別にみると、60歳未満、60歳以上ともに「知っている」と回答した人の割合が7割台となっている。

問1で「1 知っている」と回答した人のみ回答

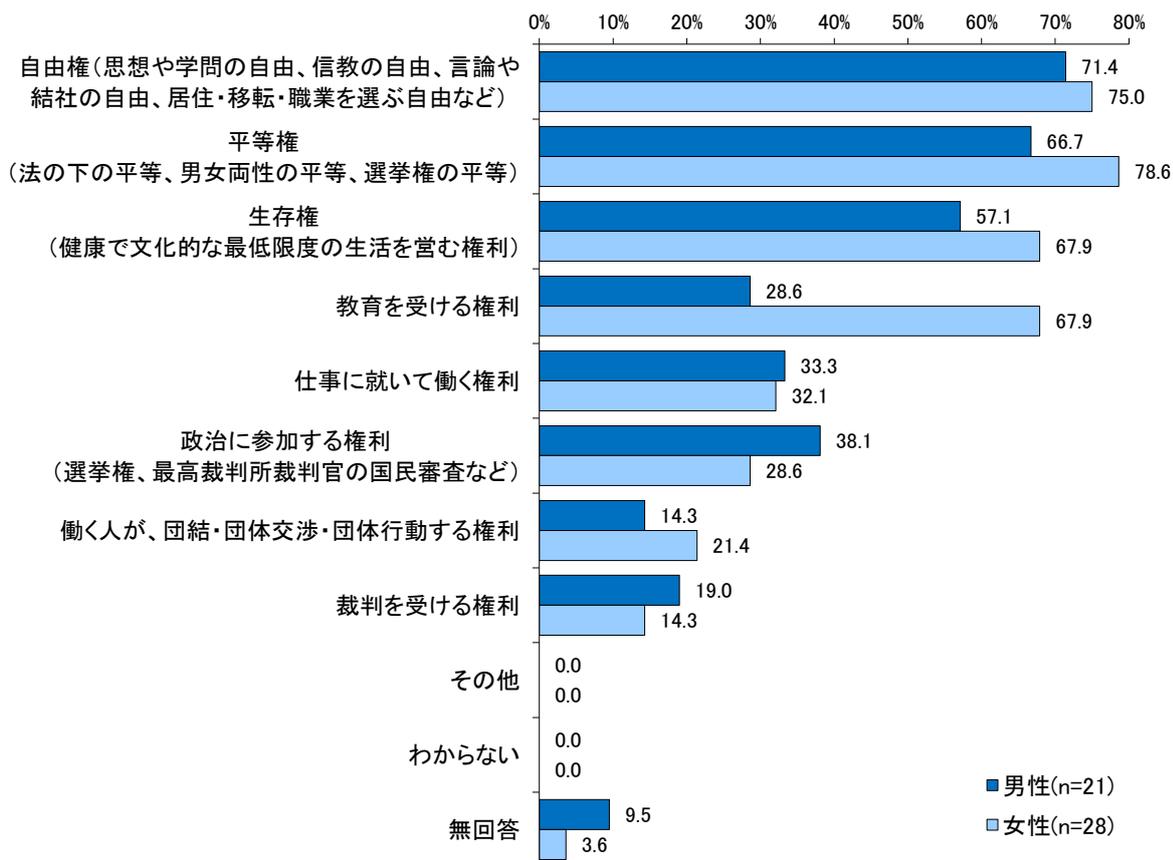
問1-2 憲法で保障されている基本的人権のうち、あなたが日常生活の中で、特に関心をもっているものはどれですか。(✓はいくつでも)

【特に関心のある基本的人権の内容】



特に関心のある基本的人権の内容について、「自由権 (思想や学問の自由、信教の自由、言論や結社の自由、居住・移転・職業を選ぶ自由など)」と回答した人の割合が 72.5%と最も高く、「平等権 (法の下での平等、男女両性の平等、選挙権の平等)」(70.6%)、「生存権 (健康で文化的な最低限度の生活を営む権利)」(62.7%)、「教育を受ける権利」(51.0%)が続いている。

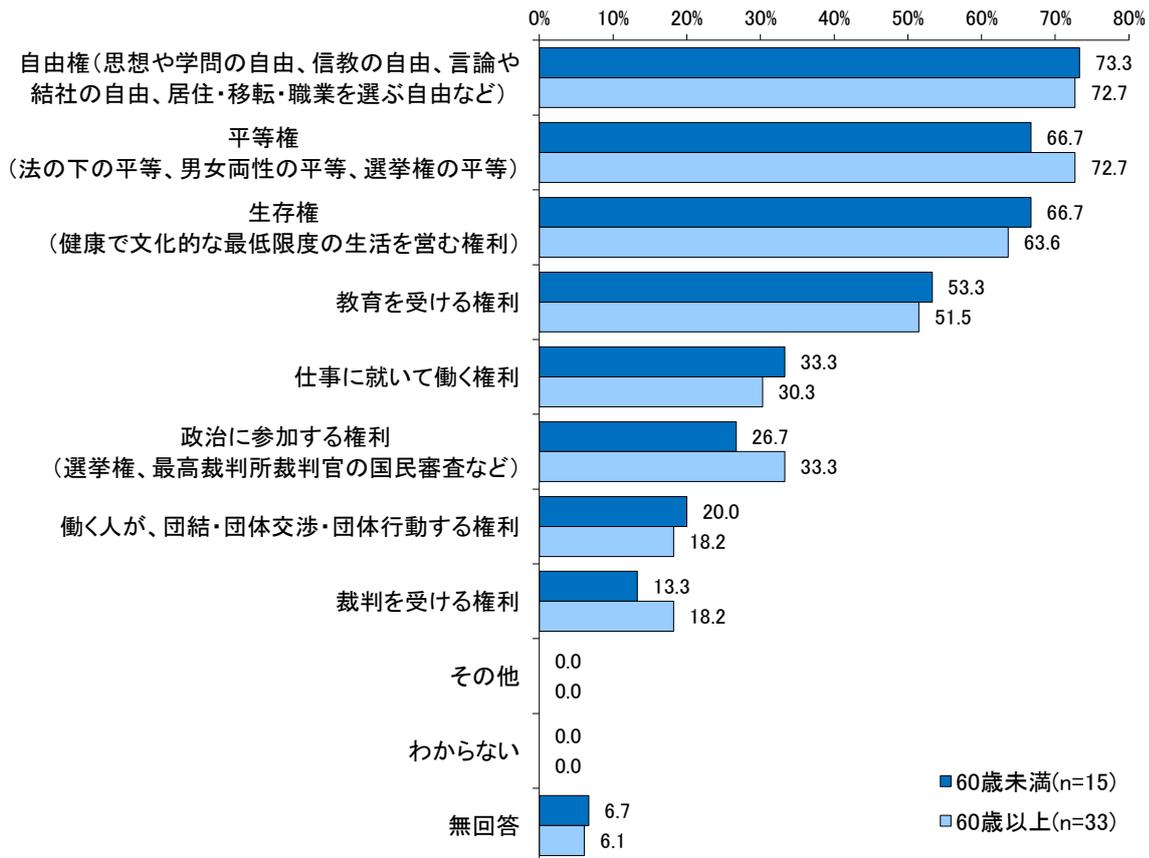
【特に関心のある基本的人権の内容（性別）】



性別にみると、男性では「自由権（思想や学問の自由、信教の自由、言論や結社の自由、居住・移転・職業を選ぶ自由など）」と回答した人の割合が7割台、「平等権（法の下での平等、男女両性の平等、選挙権の平等）」と回答した人の割合が6割台、「生存権（健康で文化的な最低限度の生活を営む権利）」と回答した人の割合が5割台で上位となっている。

女性では「自由権（思想や学問の自由、信教の自由、言論や結社の自由、居住・移転・職業を選ぶ自由など）」、「平等権（法の下での平等、男女両性の平等、選挙権の平等）」と回答した人の割合が7割台、「生存権（健康で文化的な最低限度の生活を営む権利）」、「教育を受ける権利」と回答した人の割合が6割台で上位となっている。

【特に関心のある基本的人権の内容（年齢別）】

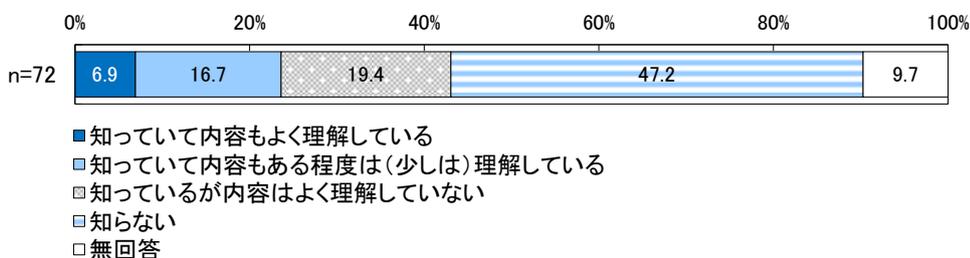


年齢別にみると、60歳未満、60歳以上ともに「自由権（思想や学問の自由、信教の自由、言論や結社の自由、居住・移転・職業を選ぶ自由など）」、「平等権（法の下での平等、男女両性の平等、選挙権の平等）」、「生存権（健康で文化的な最低限度の生活を営む権利）」と回答した人の割合が6割を超えて上位となっている。

(2)「山口県人権推進指針」の認知度

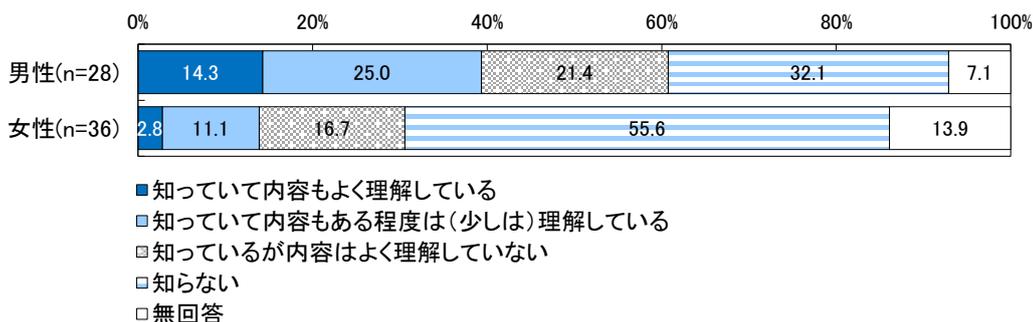
問2 上関町では、「山口県人権推進指針」に基づき、人権に関する諸施策を総合的に推進しています。あなたはこの「山口県人権推進指針」を知っていますか。(✓は1つ)

【「山口県人権推進指針」の認知度】



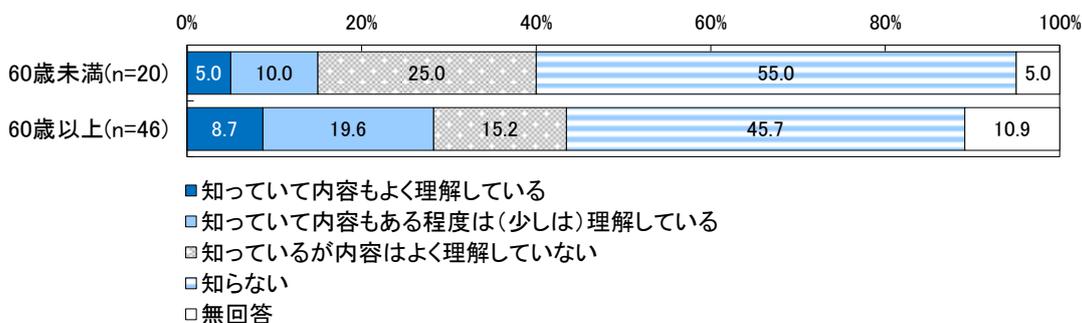
「山口県人権推進指針」の認知度について、『知っている内容も理解している』（「知っている内容もよく理解している」+「知っている内容もある程度は(少しは)理解している」と回答した人の割合が 23.6%、「知っているが内容はよく理解していない」と回答した人の割合が 19.4%、「知らない」と回答した人の割合が 47.2%となっている。

【「山口県人権推進指針」の認知度(性別)】



性別にみると、『知っている内容も理解している』と回答した人の割合は、男性で 39.3%、女性で 13.9%となっている。

【「山口県人権推進指針」の認知度(年齢別)】



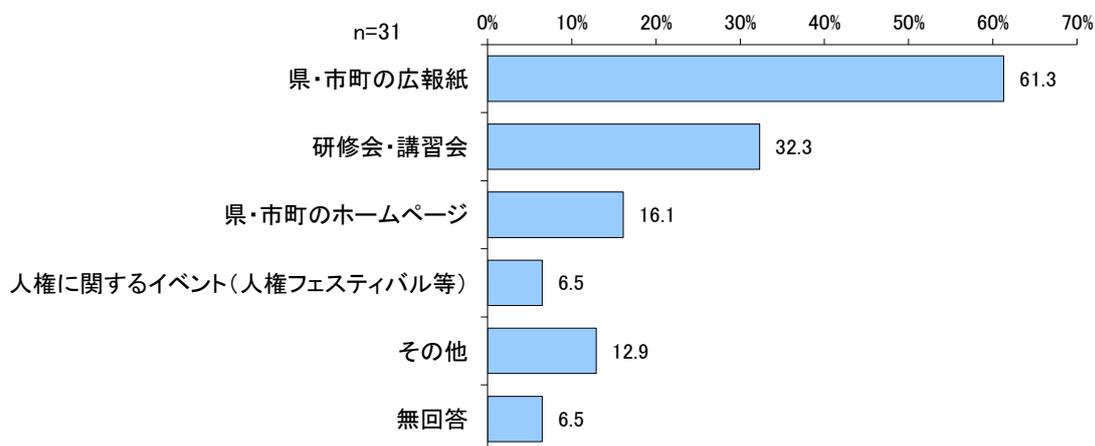
年齢別にみると、『知っている内容も理解している』と回答した人の割合は、60歳未満で 15.0%、60歳未満で 28.3%となっている。

問2で「1 知っていて内容もよく理解している」・「2 知っていて内容もある程度は（少しは）理解している」・「3 知っているが内容はよく理解していない」と回答した人のみ回答

問2-2（1）あなたが、山口県人権推進指針を知ったきっかけは何からですか。

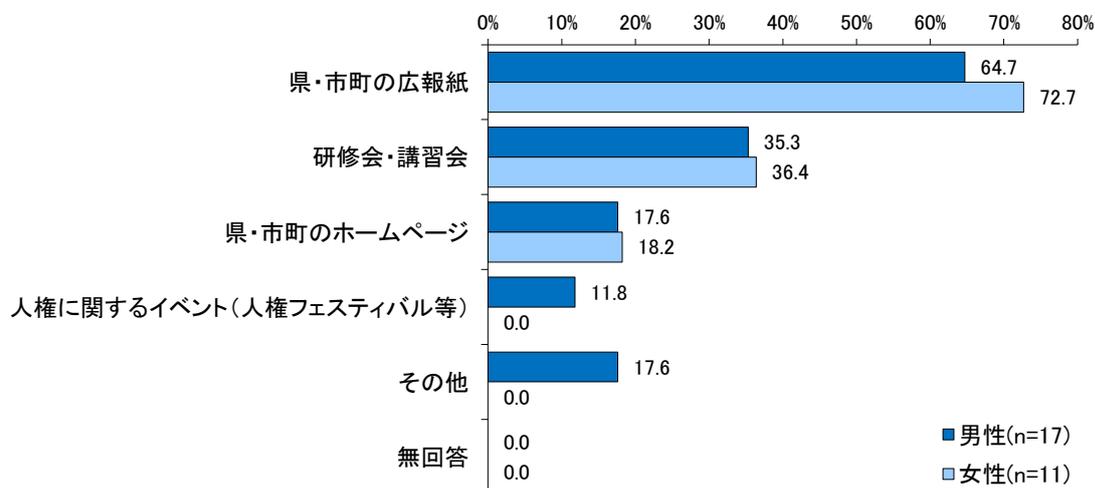
（✓はいくつでも）

【「山口県人権推進指針」を知ったきっかけ】



「山口県人権推進指針」を知ったきっかけについて、「県・市町の広報紙」と回答した人の割合が61.3%と最も高く、次いで「研修会・講習会」（32.3%）となっている。

【「山口県人権推進指針」を知ったきっかけ（性別）】

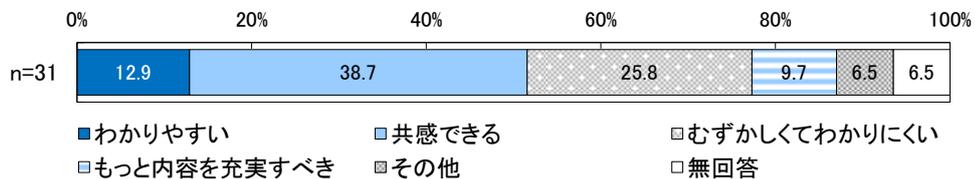


性別にみると、男女ともに「県・市町の広報紙」と回答した人の割合が最も高く、男性で6割台、女性で7割台となっている。

問2で「1 知っていて内容もよく理解している」・「2 知っていて内容もある程度は（少しは）理解している」・「3 知っているが内容はよく理解していない」と回答した人のみ回答

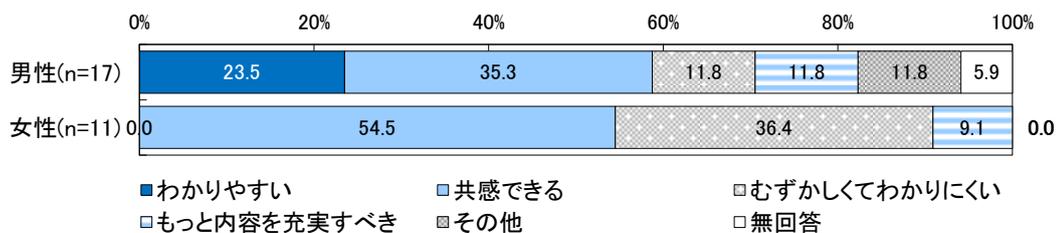
問2-2（2）山口県人権推進指針について、どのように思いましたか。（✓は1つ）

【「山口県人権推進指針」に関して思うこと】



「山口県人権推進指針」に関して思うことについて、「わかりやすい」と回答した人の割合が 12.9%、「共感できる」と回答した人の割合が 38.7%、「むずかしくてわかりにくい」と回答した人の割合が 25.8%、「もっと内容を充実すべき」と回答した人の割合が 9.7%となっている。

【「山口県人権推進指針」に関して思うこと（性別）】



性別にみると、男性では「共感できる」と回答した人の割合が 35.3%、「わかりやすい」と回答した人の割合が 23.5%となっている。

女性では「共感できる」と回答した人の割合が 54.5%、「むずかしくてわかりにくい」と回答した人の割合が 36.4%となっている。

(3)人権が尊重された町としての上関町の評価

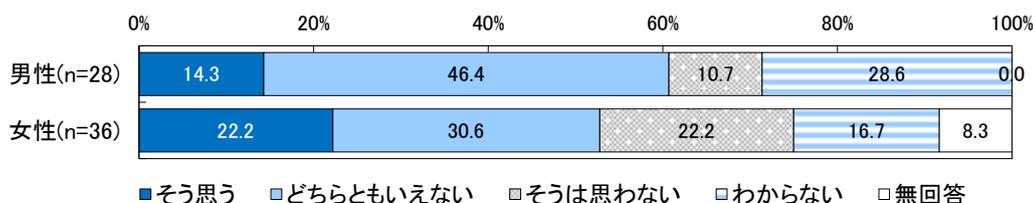
問3 今の上関町は、10年前と比べて、人権が尊重された町になっていると思いますか。あなたの気持ちに一番近いものをお答えください。(✓は1つ)

【人権が尊重された町としての上関町の評価】



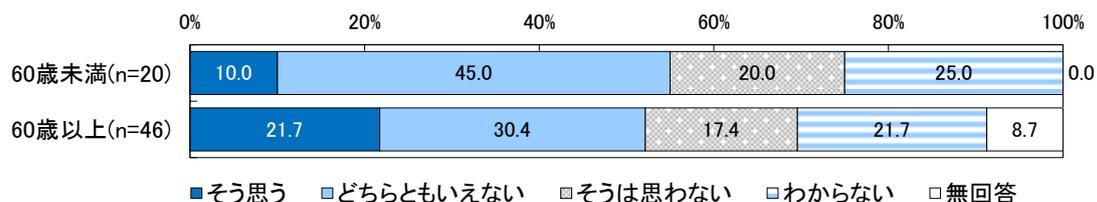
人権が尊重された町としての上関町の評価について、「人権が尊重された町だと思う（そう思う）」と回答した人の割合が18.1%、「人権が尊重された町だと思わない（そうは思わない）」と回答した人の割合が16.7%、「どちらともいえない」と回答した人の割合が34.7%となっている。

【人権が尊重された町としての上関町の評価（性別）】



性別にみると、「人権が尊重された町だと思う（そう思う）」と回答した人の割合は、男性で14.3%、女性で22.2%となっている。

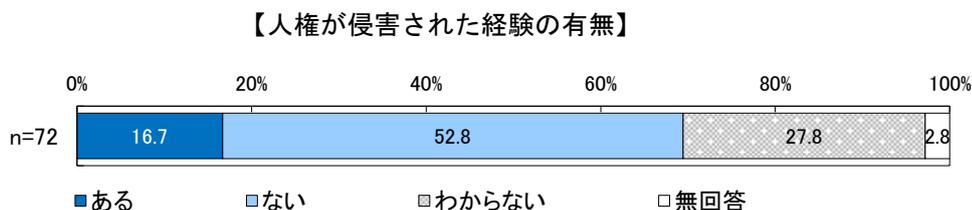
【人権が尊重された町としての上関町の評価（年齢別）】



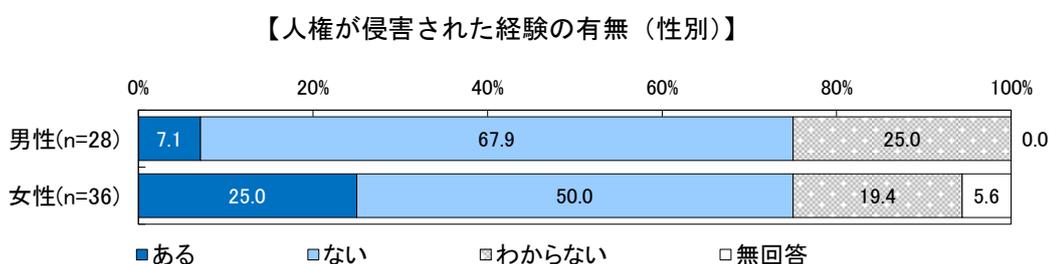
年齢別にみると、「人権が尊重された町だと思う（そう思う）」と回答した人の割合は、60歳未満で10.0%、60歳以上で21.7%となっている。

(4)人権が侵害された経験

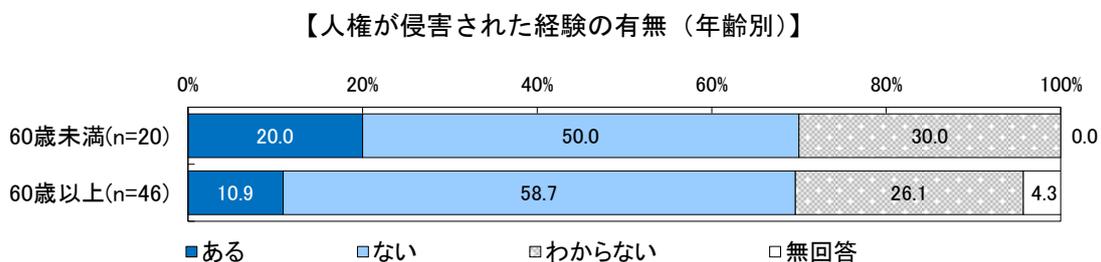
問4 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか。(✓は1つ)



人権が侵害された経験の有無について、「ある」と回答した人の割合が16.7%、「ない」と回答した人の割合が52.8%となっている。



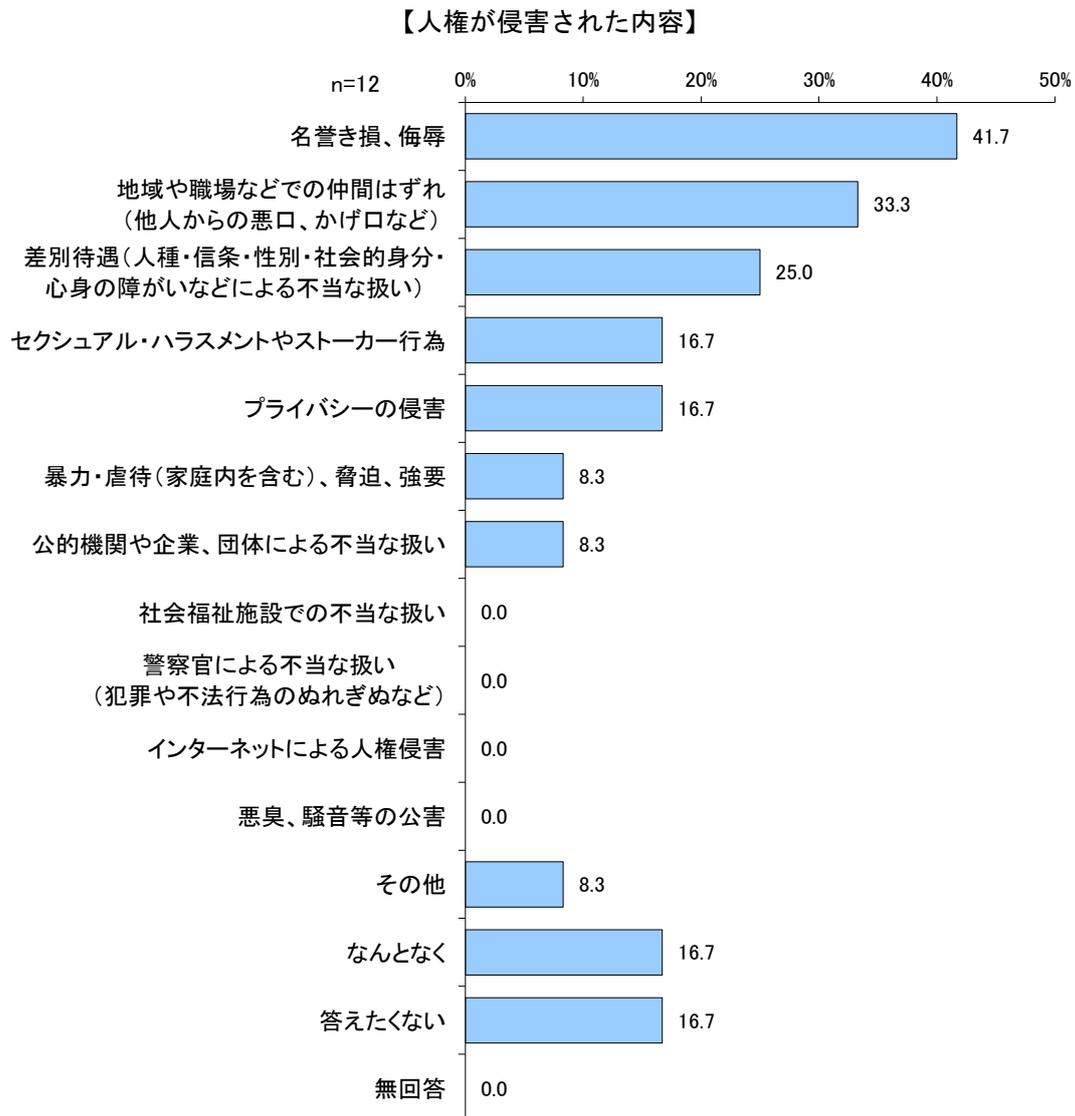
性別にみると、「ある」と回答した人の割合は、男性で7.1%、女性で25.0%となっている。



年齢別にみると、「ある」と回答した人の割合は、60歳未満で20.0%、60歳以上で10.9%となっている。

問4で「1 ある」と回答した人のみ回答

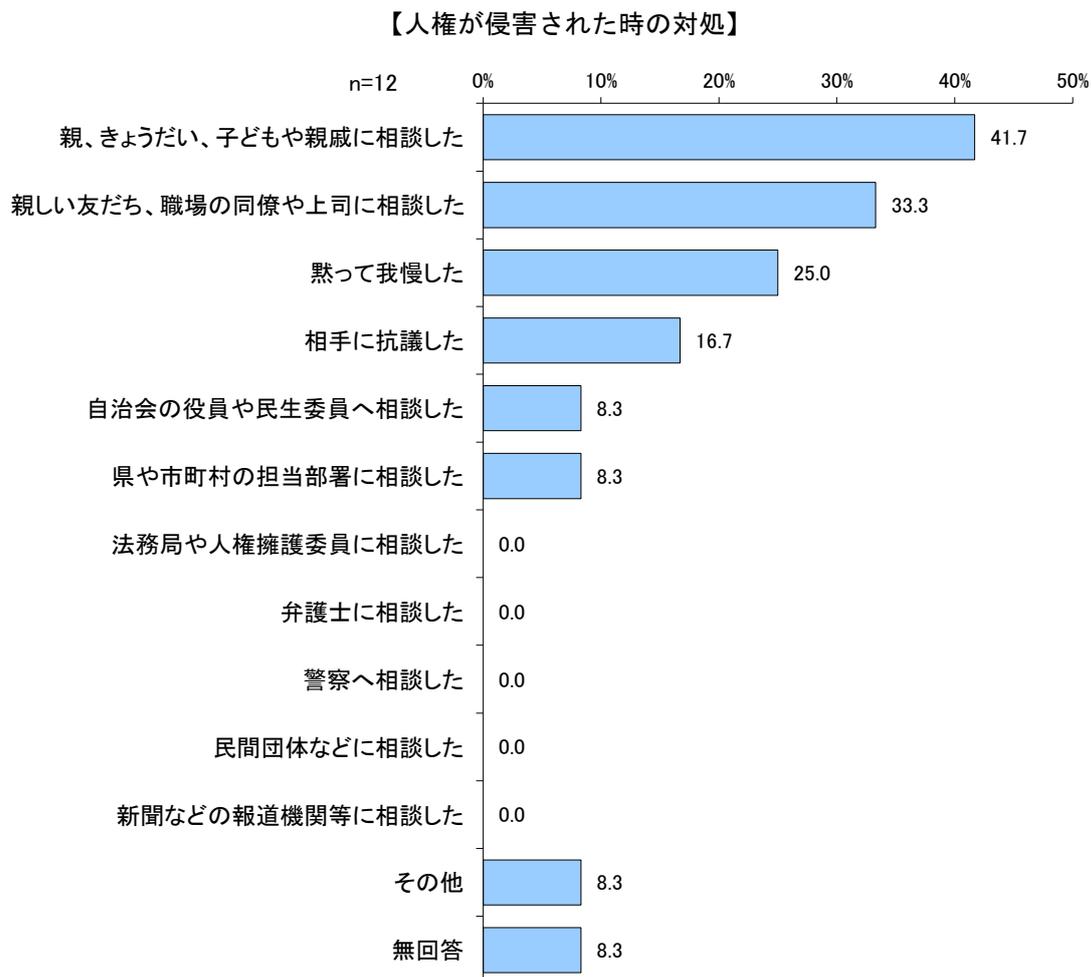
問4-2 (1) あなたが侵害されたと思った内容はどのようなものでしたか。(✓はいくつでも)



人権が侵害された内容について、「名誉き損、侮辱」と回答した人の割合が 41.7%と最も高く、「地域や職場などでの仲間はずれ (他人からの悪口、かげ口など)」(33.3%)、「差別待遇 (人種・信条・性別・社会的身分・心身の障がいなどによる不当な扱い)」(25.0%)が続いている。

問4で「1 ある」と回答した人のみ回答

問4-2 (2) そのとき、あなたはどうかされましたか。(✓はいくつでも)



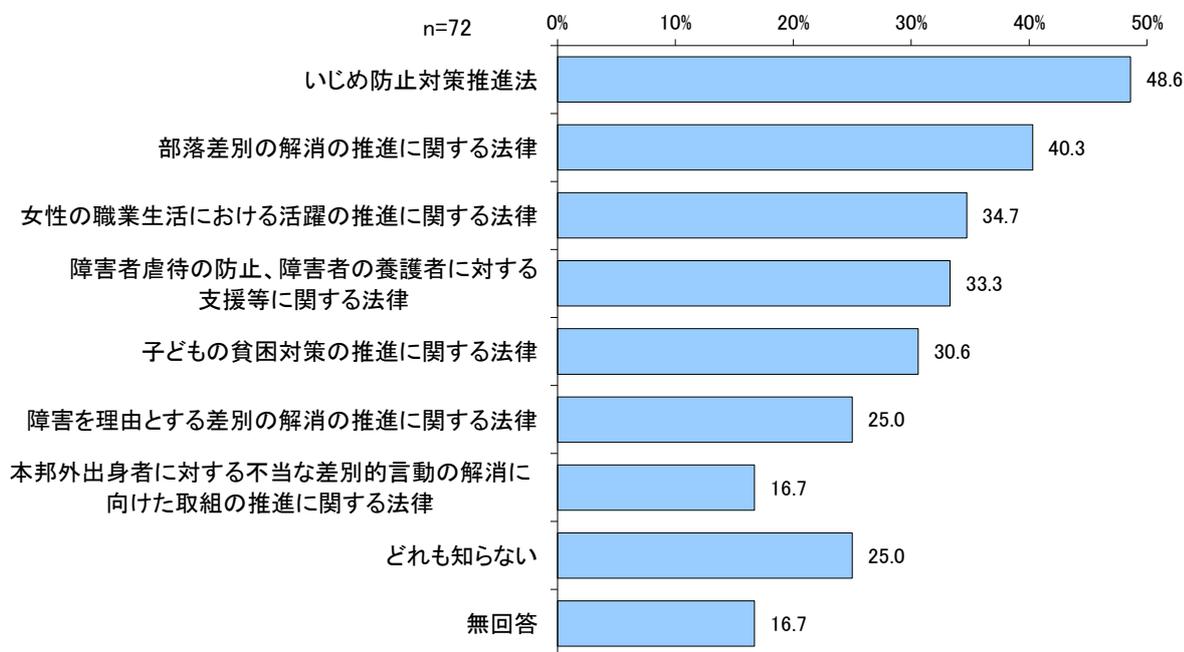
人権が侵害された時の対処について、「親・きょうだい、子どもや親戚に相談した」と回答した人の割合が41.7%と最も高く、「親しい友だち、職場の同僚や上司に相談した」(33.3%)、「黙って我慢した」(25.0%)が続いている。

3 新たに施行された人権に関する法律について

(1)新たに施行された人権に関する法律の認知状況

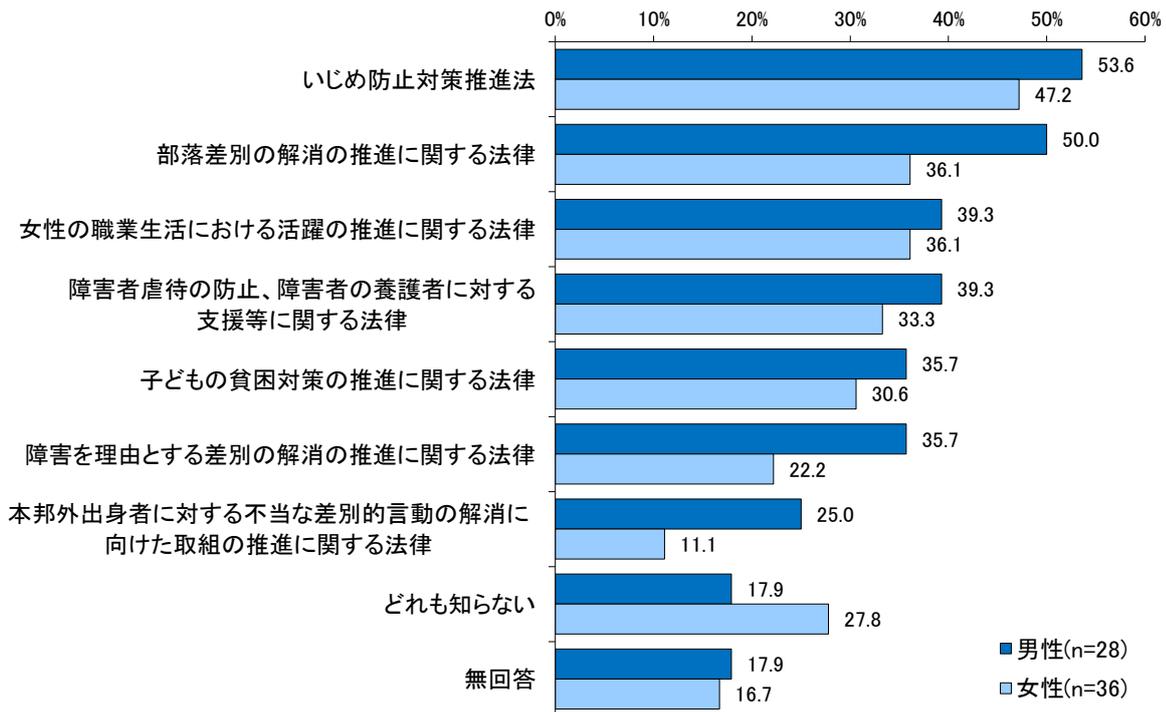
問5 あなたは、以下の法律が施行されたことを知っていますか。(知っているもの全てに✓)

【新たに施行された人権に関する法律の認知状況】



新たに施行された人権に関する法律で知っている法律は、「いじめ防止対策推進法」と回答した人の割合が 48.6%と最も高く、次いで「部落差別の解消の推進に関する法律」(40.3%)となっている。

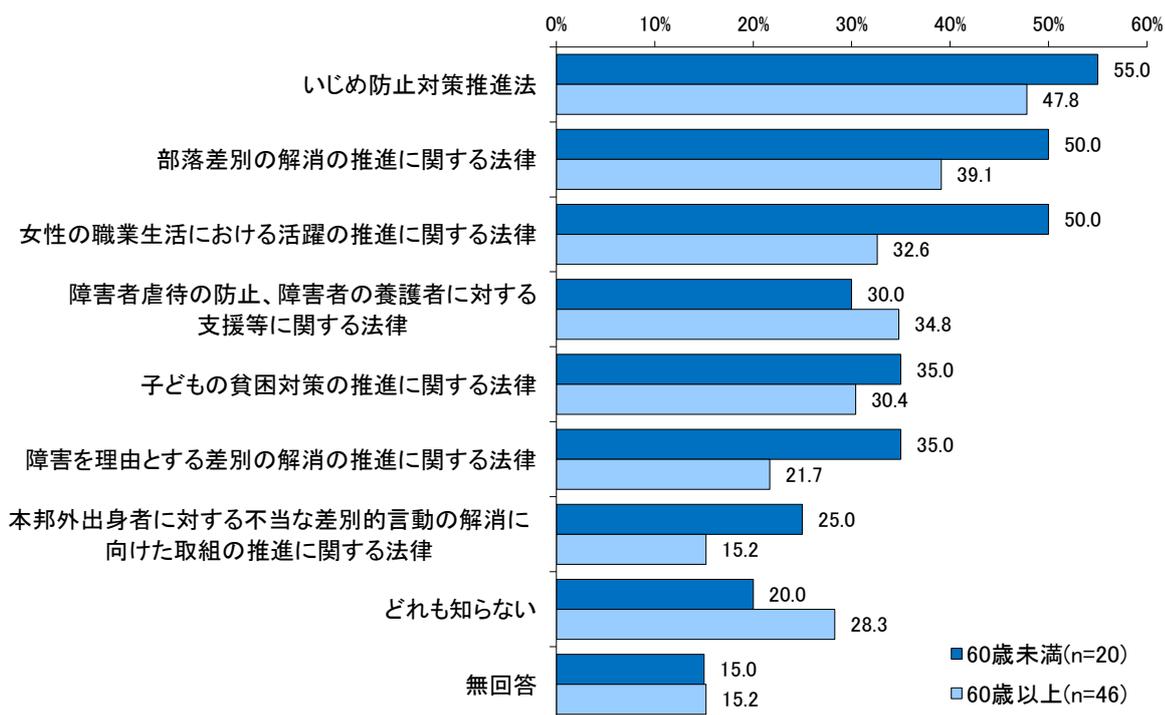
【新たに施行された人権に関する法律の認知状況（性別）】



性別にみると、男性では「いじめ防止対策推進法」、「部落差別の解消の推進に関する法律」と回答した人の割合が5割台で上位となっている。

女性では「いじめ防止対策推進法」と回答した人の割合が4割台で最も高くなっている。

【新たに施行された人権に関する法律の認知状況（年齢別）】



年齢別にみると、60歳未満では「いじめ防止対策推進法」、「部落差別の解消の推進に関する法律」、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」と回答した人の割合が5割台で上位となっている。

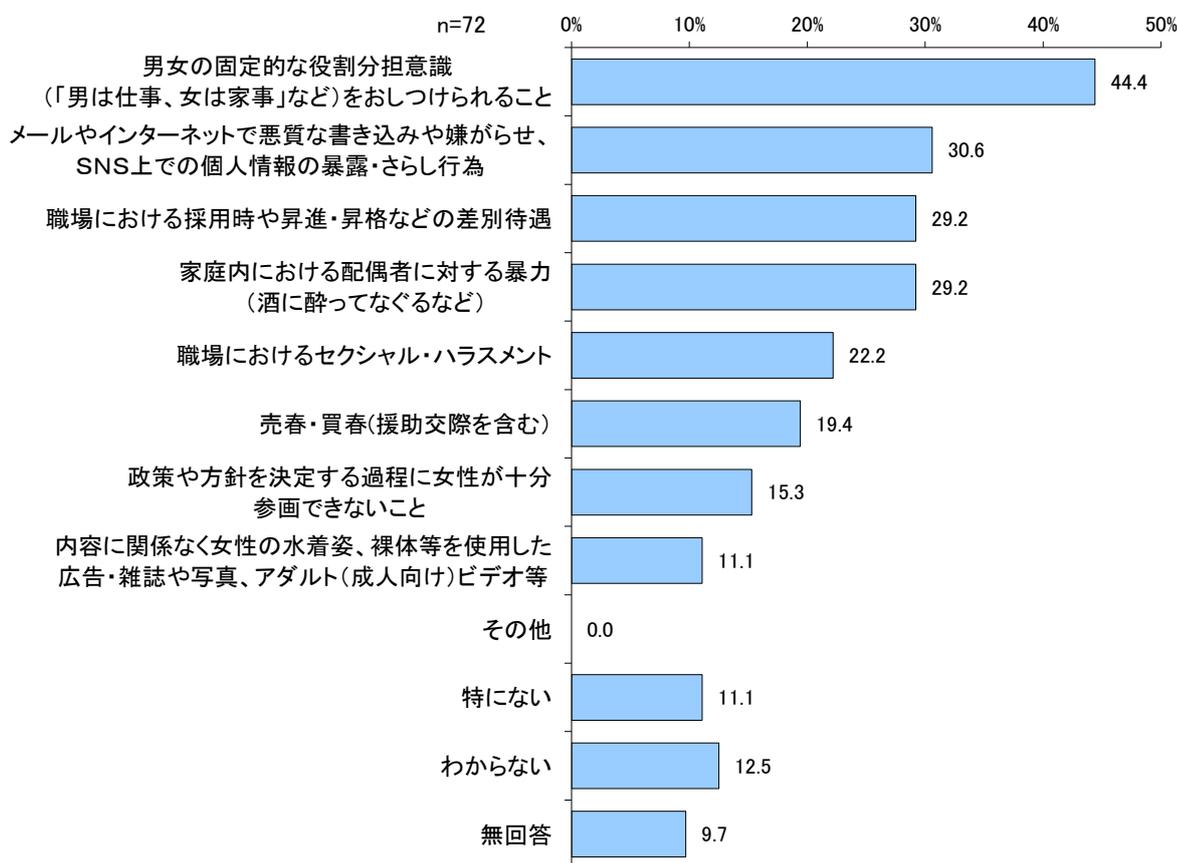
60歳以上では「いじめ防止対策推進法」と回答した人の割合が4割台で最も高くなっている。

4 人権について

(1)女性の人権について

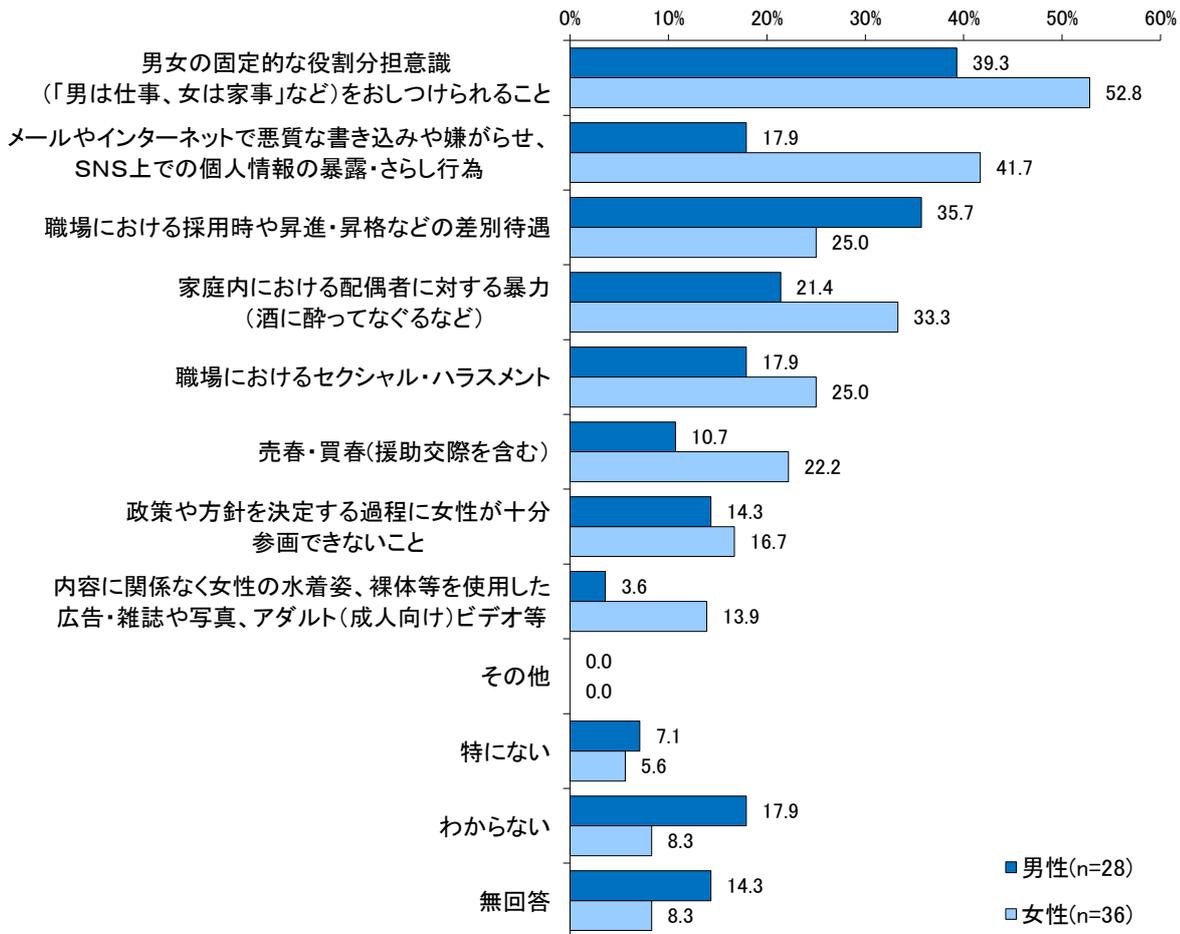
問6 あなたは、女性に関することからで、問題があると思われるのはどのようなことですか。
(✓は3つまで)

【女性の人権に関して問題があると思われること】



女性の人権に関して問題があると思われることについて、「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけられること」と回答した人の割合が 44.4%と最も高く、「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」（30.6%）、「職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇」、「家庭内における配偶者に対する暴力（酒に酔ってなぐるなど）」（29.2%）が続いている。

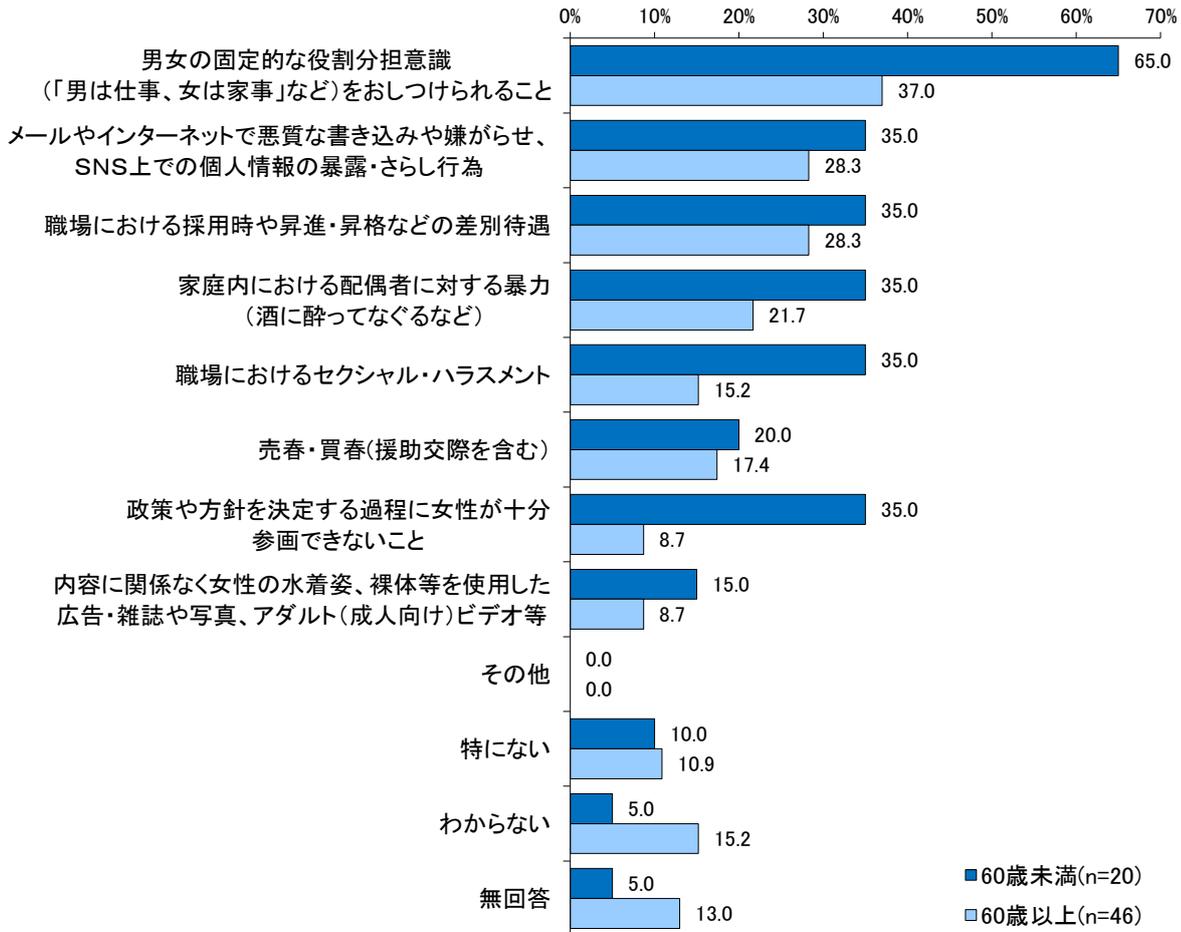
【女性の人権に関して問題があると思われること（性別）】



性別にみると、男性では「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけられること」、「職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

女性では「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけられること」と回答した人の割合が5割台、「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」と回答した人の割合が4割台で上位となっている。

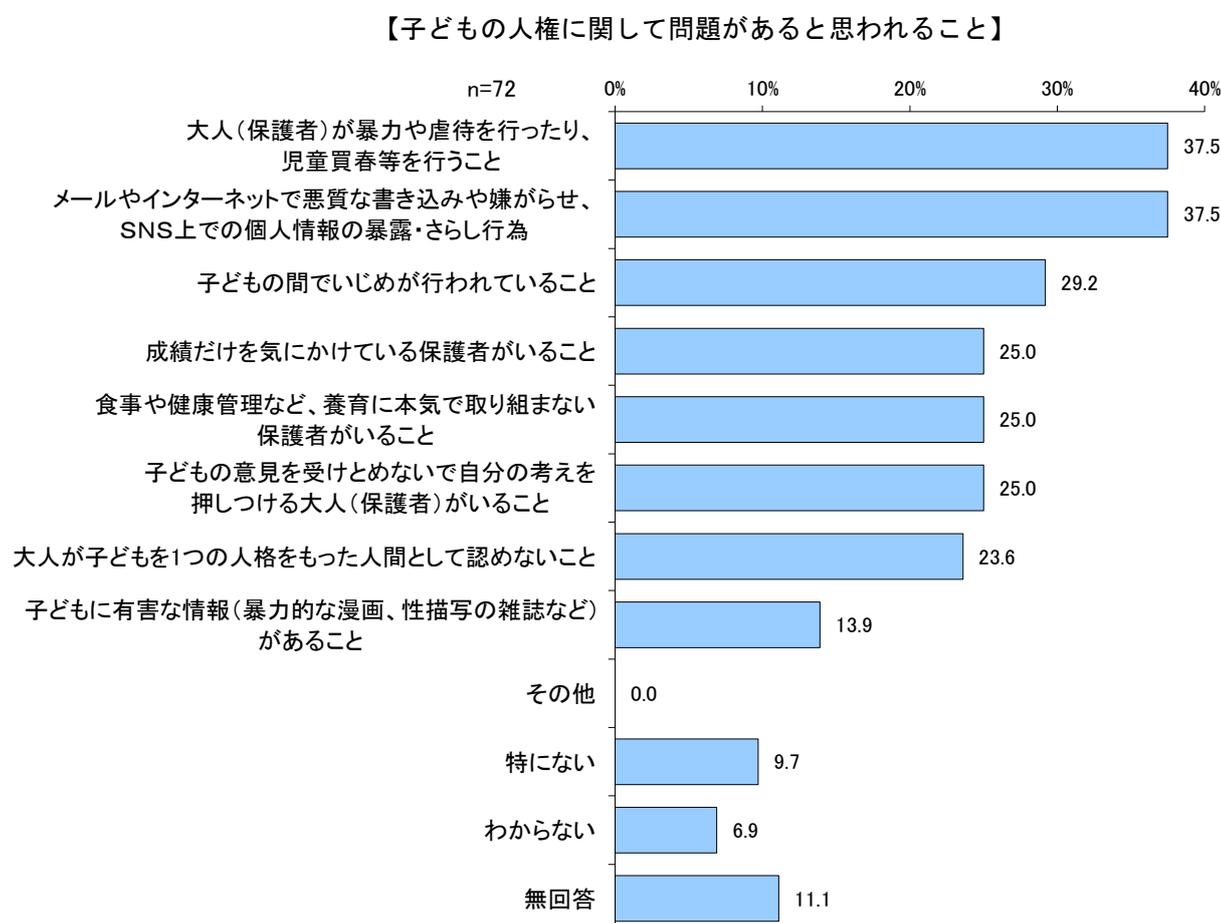
【女性の人権に関して問題があると思われること（年齢別）】



年齢別にみると、60歳未満、60歳以上ともに「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけられること」と回答した人の割合が最も高く、60歳未満で6割台、60歳以上で3割台となっている。

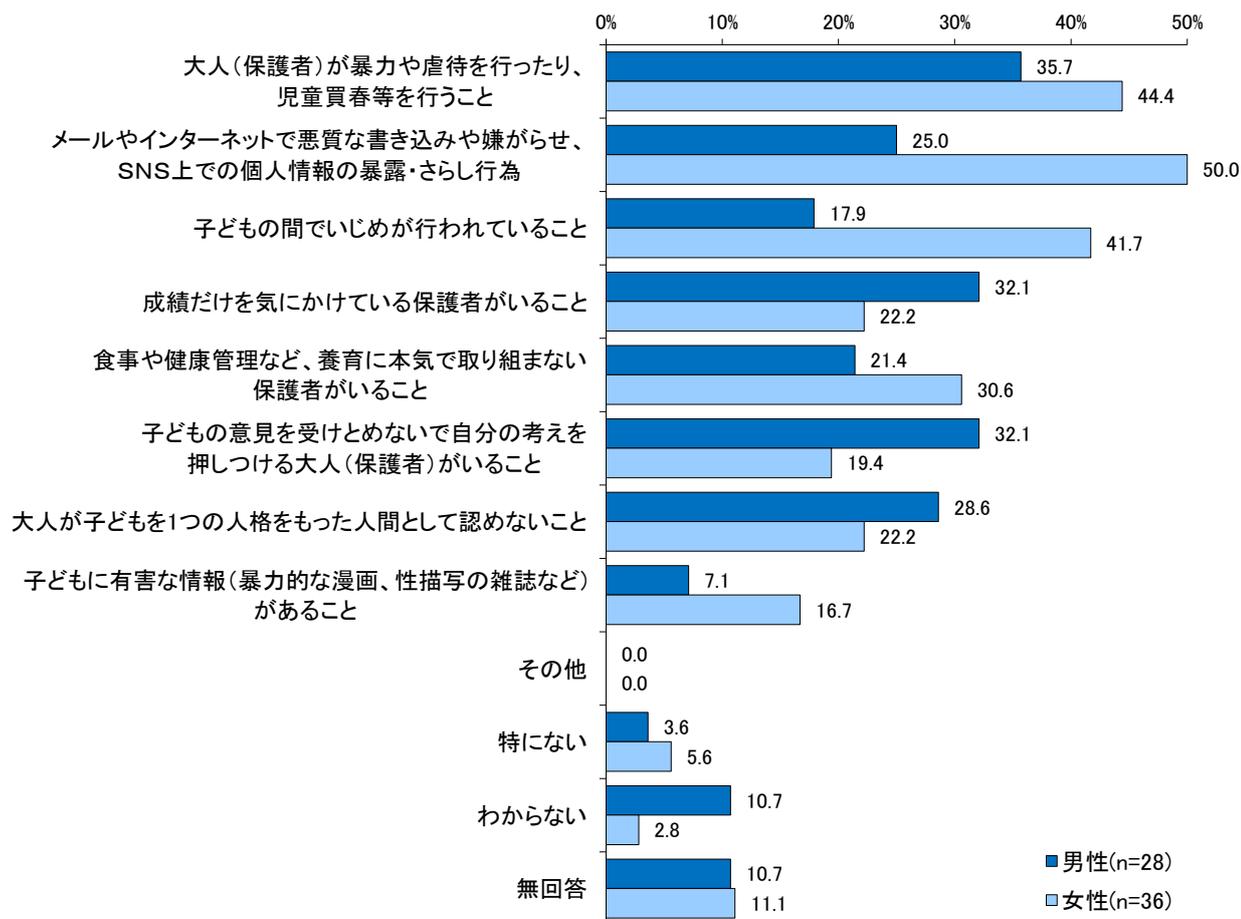
(2)子どもの人権について

問7 あなたは、子どもに関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)



子どもの人権に関して問題があると思われることについて、「大人（保護者）が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」、「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」と回答した人の割合が37.5%と最も高く、次いで「子どもの間でいじめが行われていること」（29.2%）となっている。

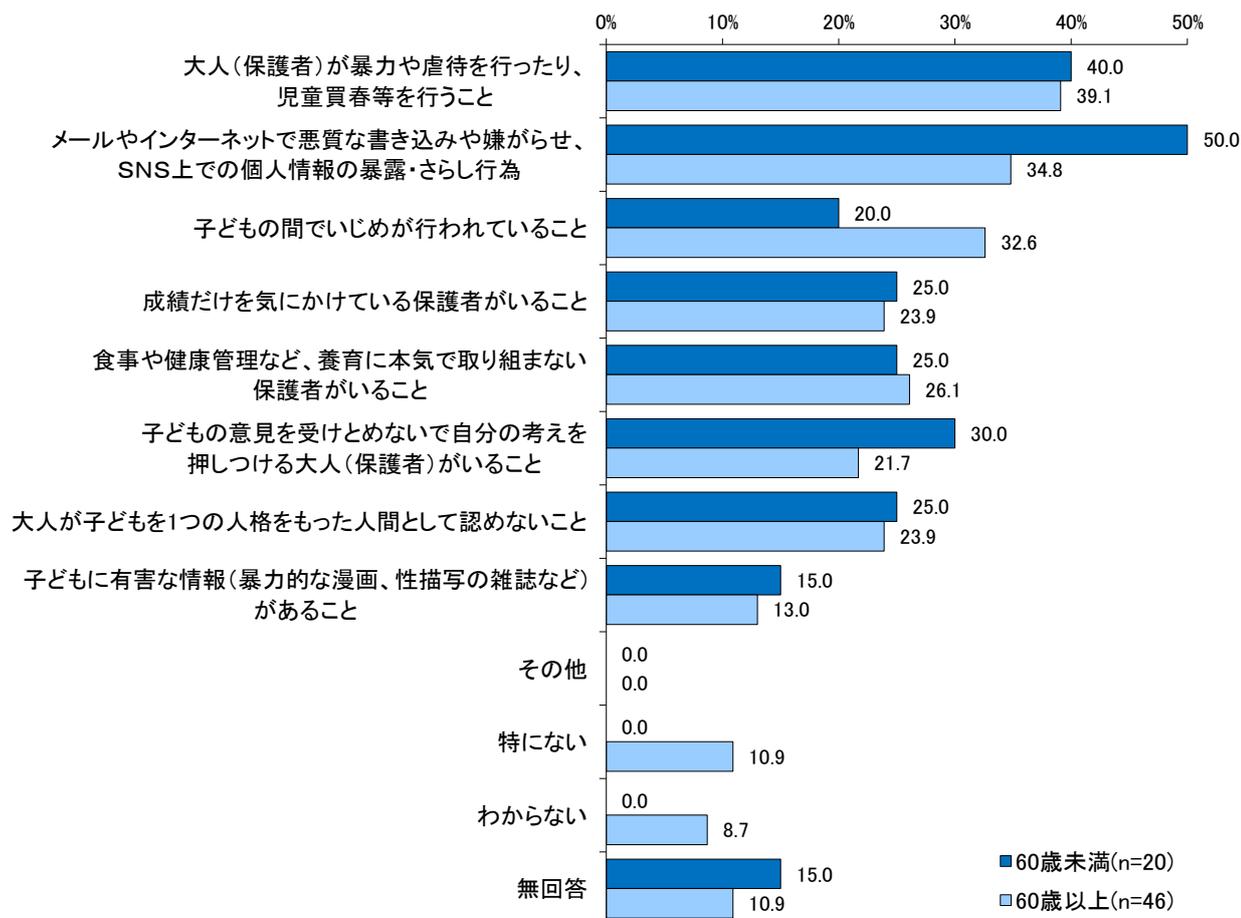
【子どもの人権に関して問題があると思われること（性別）】



性別にみると、男性では「大人（保護者）が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」、「成績だけを気にかけている保護者がいること」、「子どもの意見を受け止めないで自分の考えを押しつける大人（保護者）がいること」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

女性では「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」と回答した人の割合が5割台、「大人（保護者）が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」、「子どもの間でいじめが行われていること」と回答した人の割合が4割台で上位となっている。

【子どもの人権に関して問題があると思われること（年齢別）】



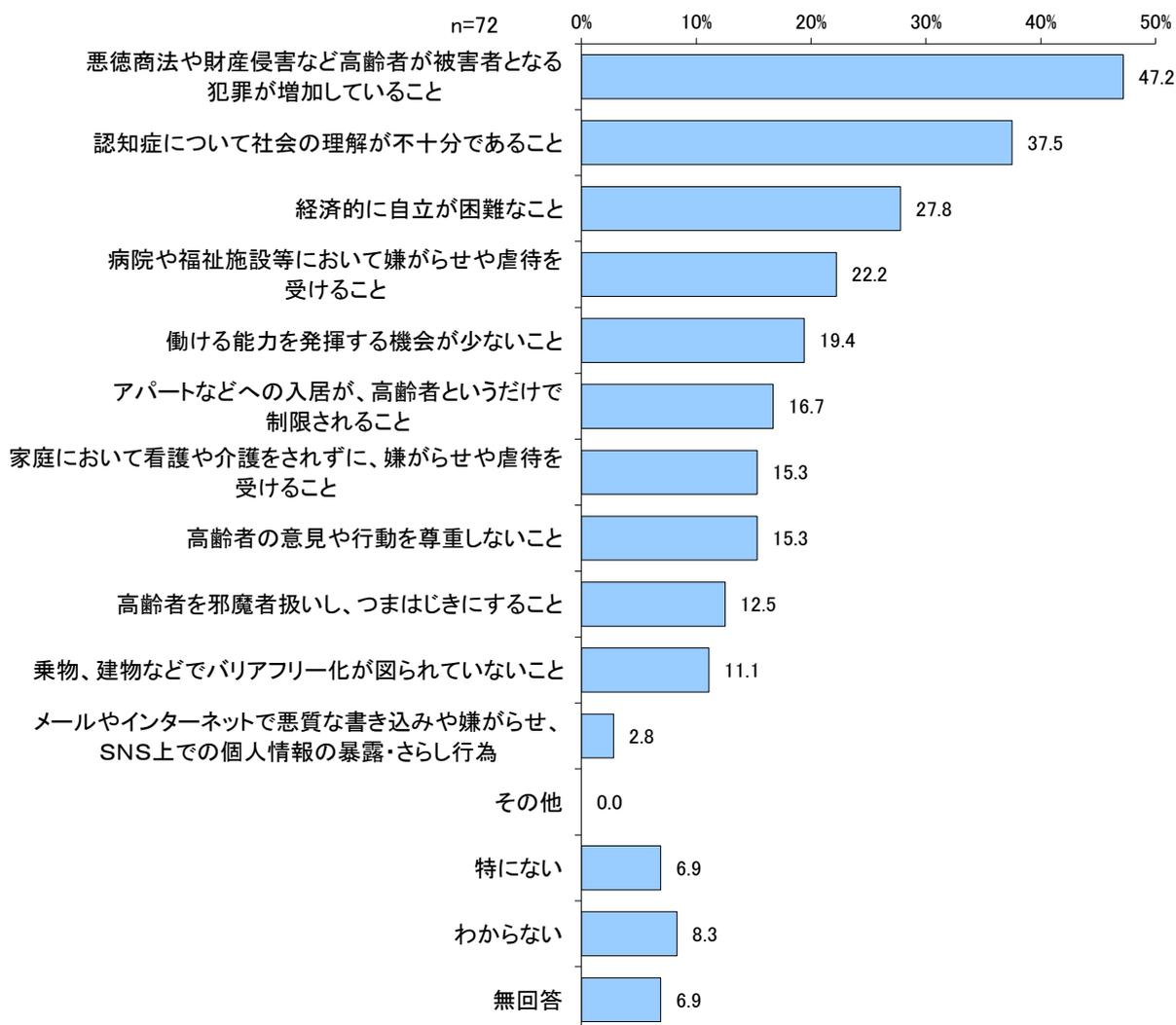
年齢別にみると、60歳未満では「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」と回答した人の割合が5割台、「大人（保護者）が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」と回答した人の割合が4割台で上位となっている。

60歳以上では「大人（保護者）が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」、「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」、「子どもの間でいじめが行われていること」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

(3)高齢者の人権について

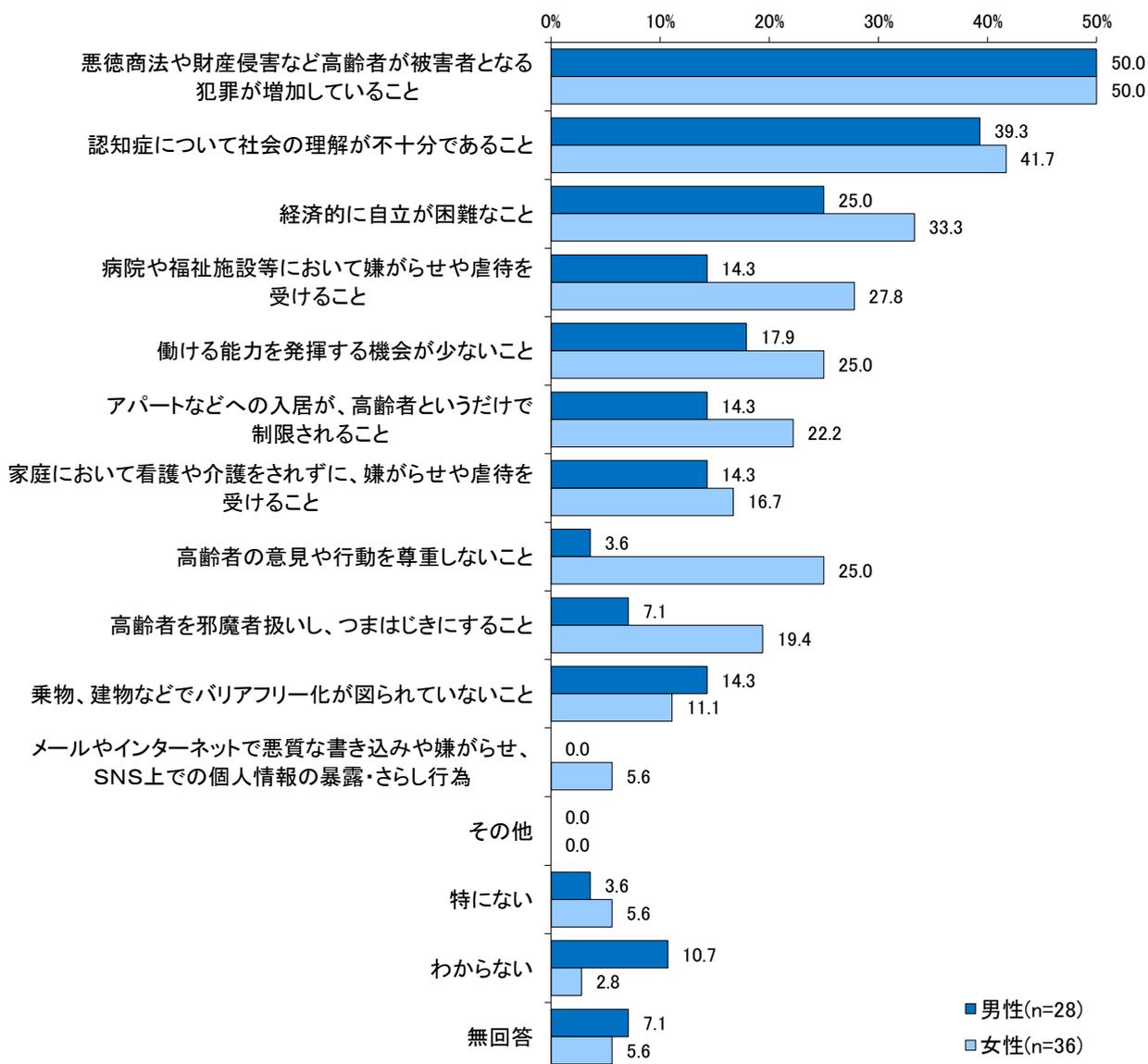
問8 あなたは、高齢者に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

【高齢者の人権に関して問題があると思われること】



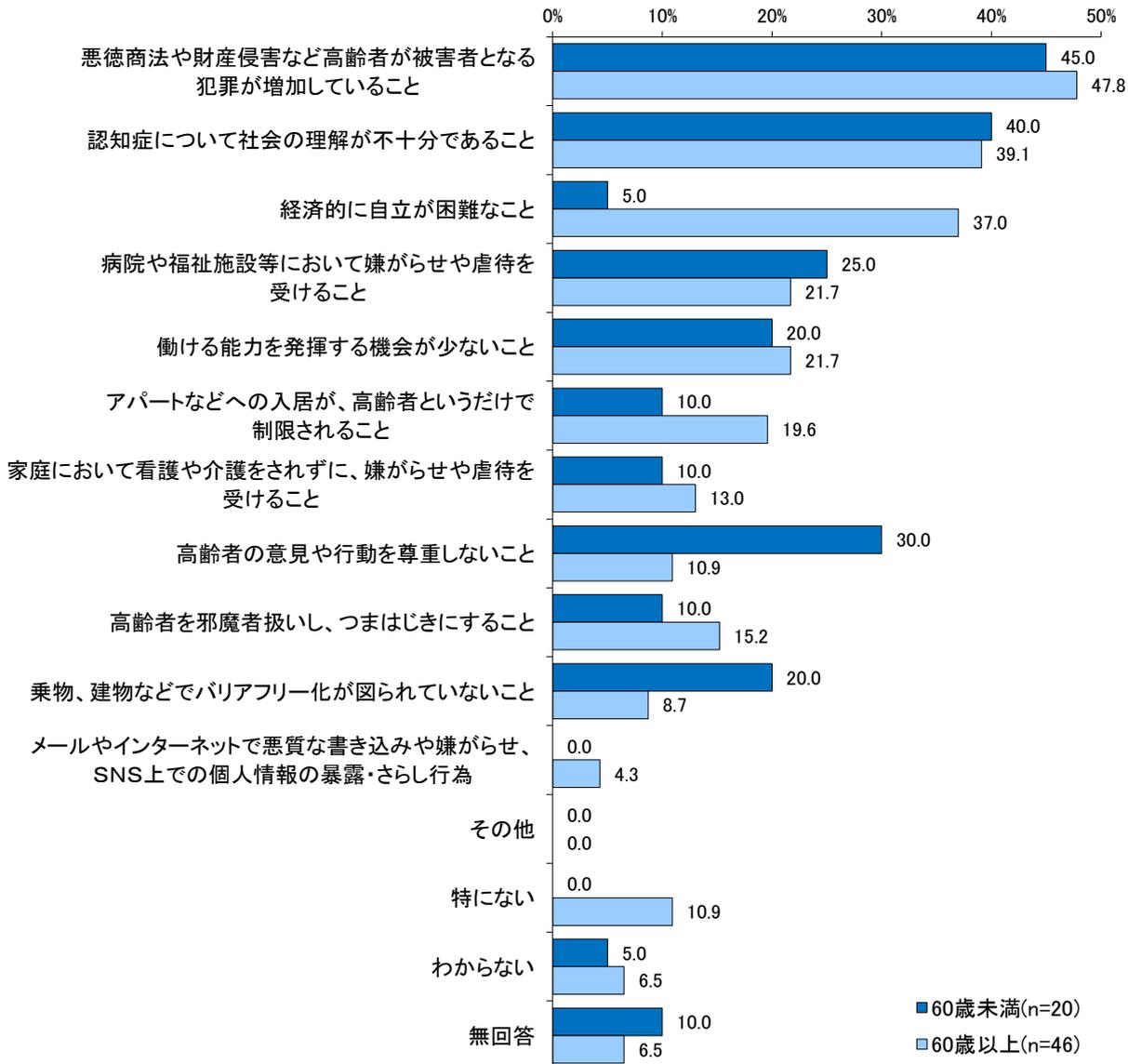
高齢者の人権に関して問題があると思われることについて、「悪徳商法や財産侵害など高齢者が被害者となる犯罪が増加していること」と回答した人の割合が47.2%と最も高く、次いで「認知症について社会の理解が不十分であること」(37.5%)となっている。

【高齢者の人権に関して問題があると思われること（性別）】



性別にみると、男女ともに「悪徳商法や財産侵害など高齢者が被害者となる犯罪が増加していること」と回答した人の割合が5割で最も高く、「認知症について社会の理解が不十分であること」と回答した人の割合が約4割で続いている。

【高齢者の人権に関して問題があると思われること（年齢別）】



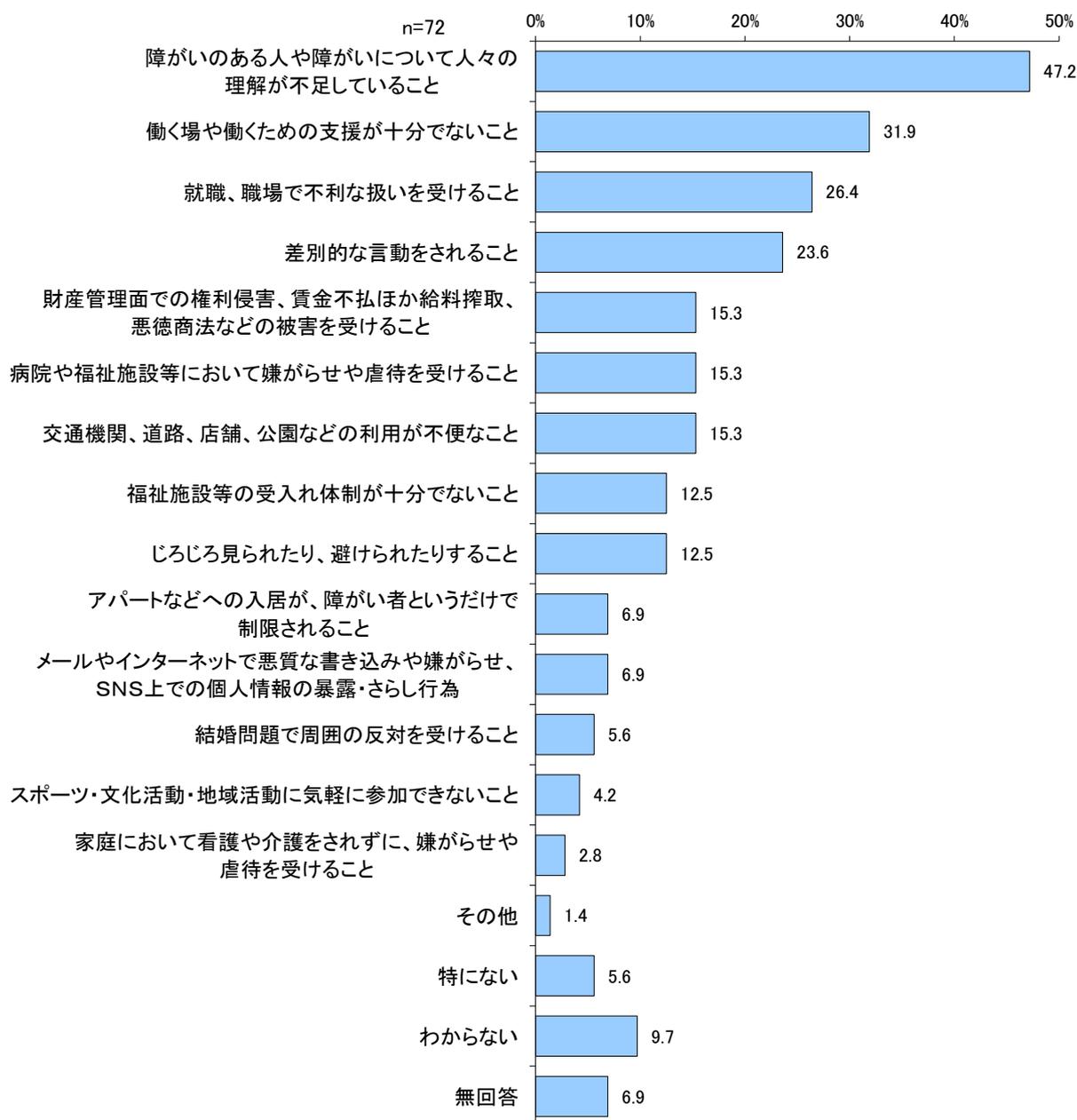
年齢別にみると、60歳未満では「悪徳商法や財産侵害など高齢者が被害者となる犯罪が増加していること」、「認知症について社会の理解が不十分であること」と回答した人の割合が4割台で上位となっている。

60歳以上では、「悪徳商法や財産侵害など高齢者が被害者となる犯罪が増加していること」と回答した人の割合が4割台、「認知症について社会の理解が不十分であること」、「経済的に自立が困難なこと」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

(4)障がいのある人の人権について

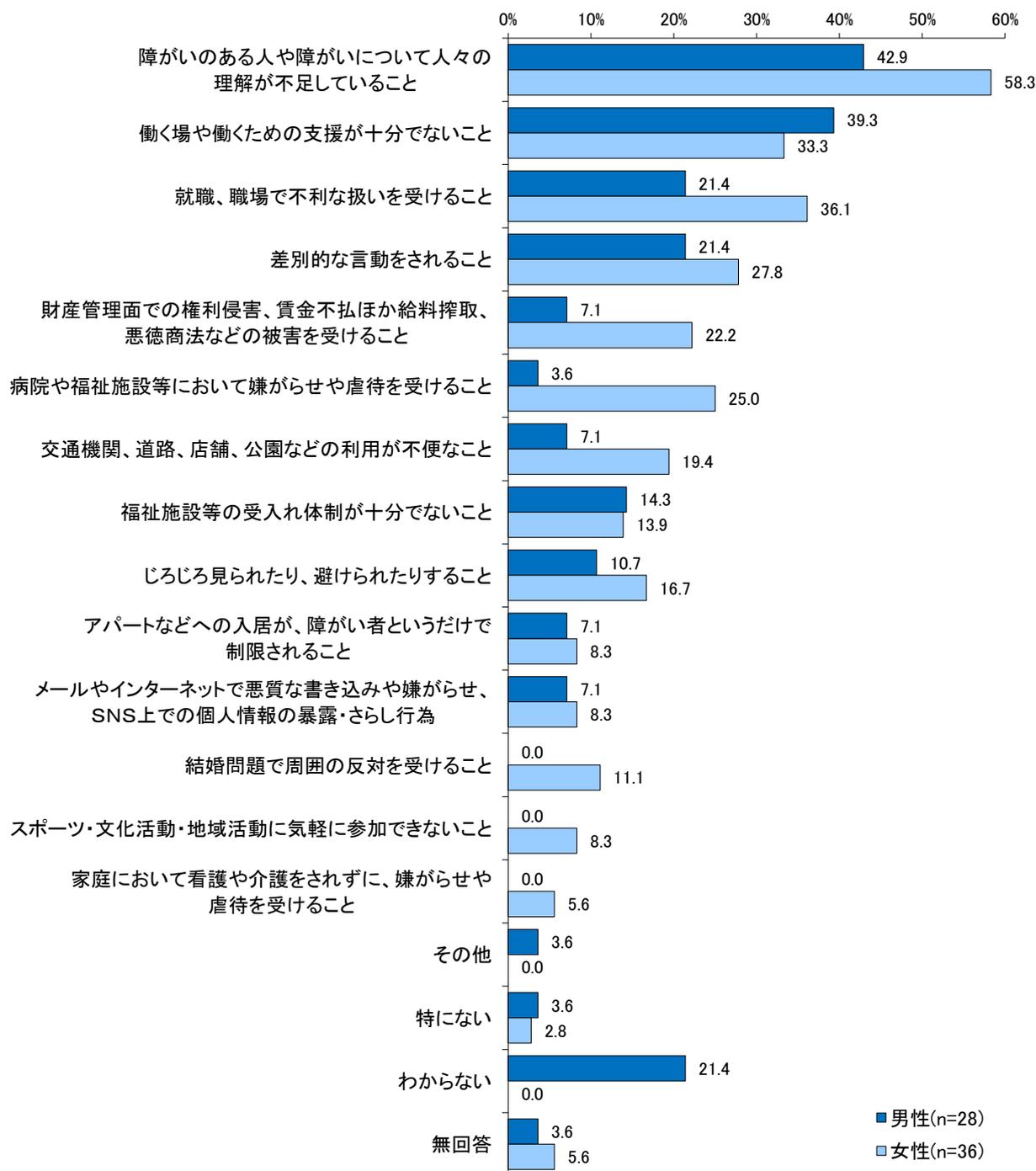
問9 あなたは、障がいのある人に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

【障がいのある人の人権に関して問題があると思われること】



障がいのある人の人権に関して問題があると思われることについて、「障がいのある人や障がいについて人々の理解が不足していること」と回答した人の割合が47.2%と最も高く、次いで「働く場や働くための支援が十分でないこと」(31.9%)となっている。

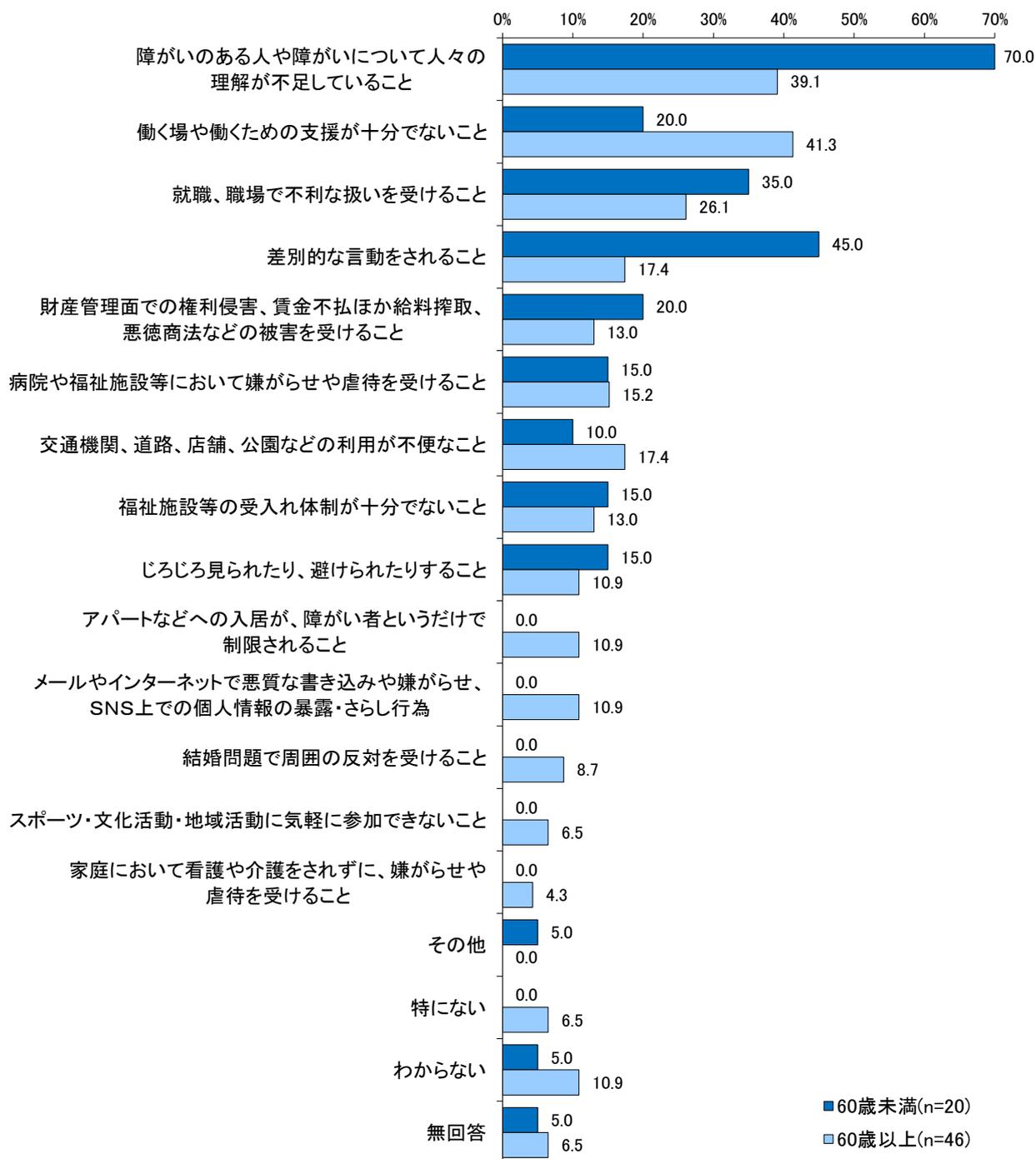
【障がいのある人の人権に関して問題があると思われること（性別）】



性別にみると、男性では「障がいのある人や障がいについて人々の理解が不足していること」、「働く場や働くための支援が十分でないこと」と回答した人の割合が約4割で上位となっている。

女性では「障がいのある人や障がいについて人々の理解が不足していること」と回答した人の割合が5割台、「働く場や働くための支援が十分でないこと」、「就職、職場で不利な扱いを受けること」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

【障がいのある人の人権に関して問題があると思われること（年齢別）】



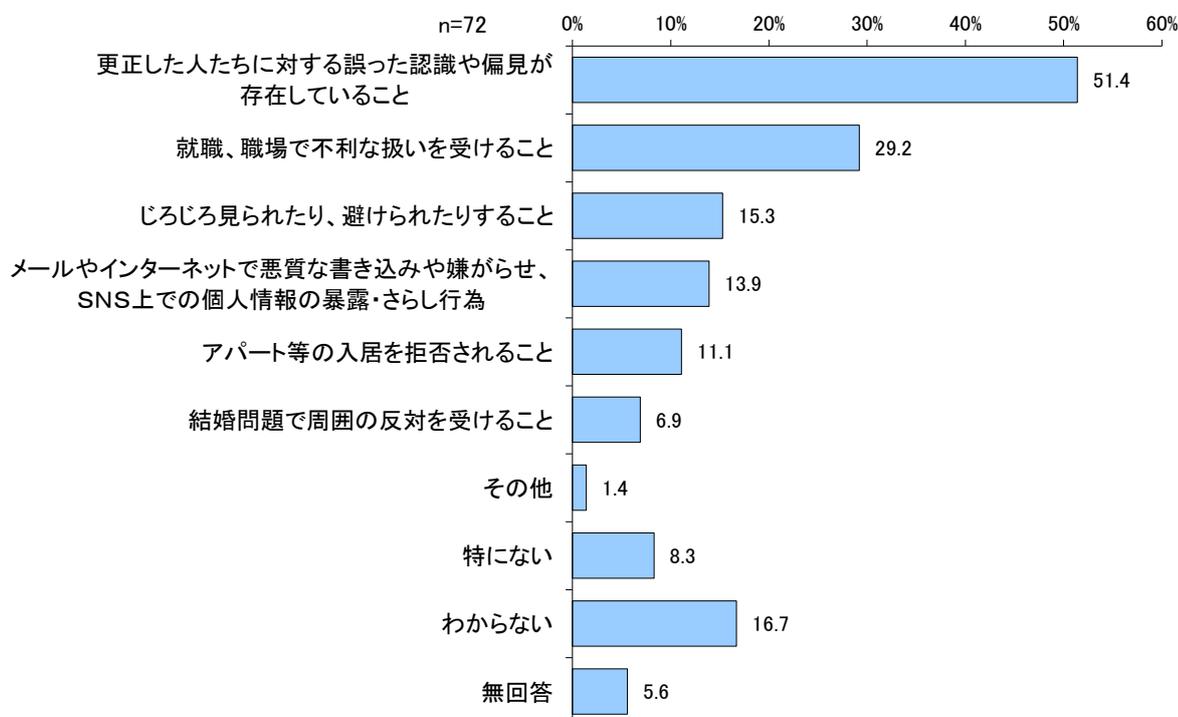
年齢別にみると、60歳未満では「障がいのある人や障がいについて人々の理解が不足していること」と回答した人の割合が7割で最も高く、「差別的な言動をされること」と回答した人の割合が4割台で上位となっている。

60歳以上では「障がいのある人や障がいについて人々の理解が不足していること」、「働く場や働くための支援が十分でないこと」と回答した人の割合が約4割で上位となっている。

(5) 罪や非行を犯した人の人権について

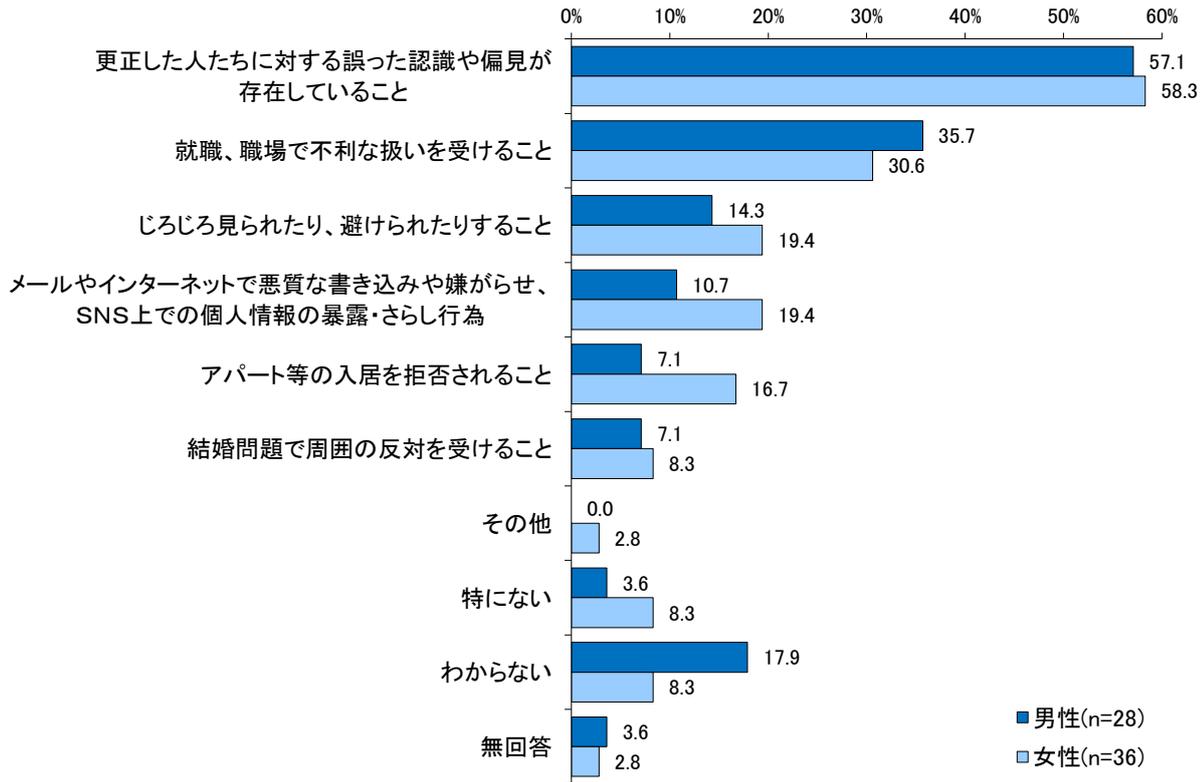
問 10 あなたは、罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとする場合、どのような問題があると思われますか。(✓は2つまで)

【罪や非行を犯した人の人権に関して問題があると思われること】



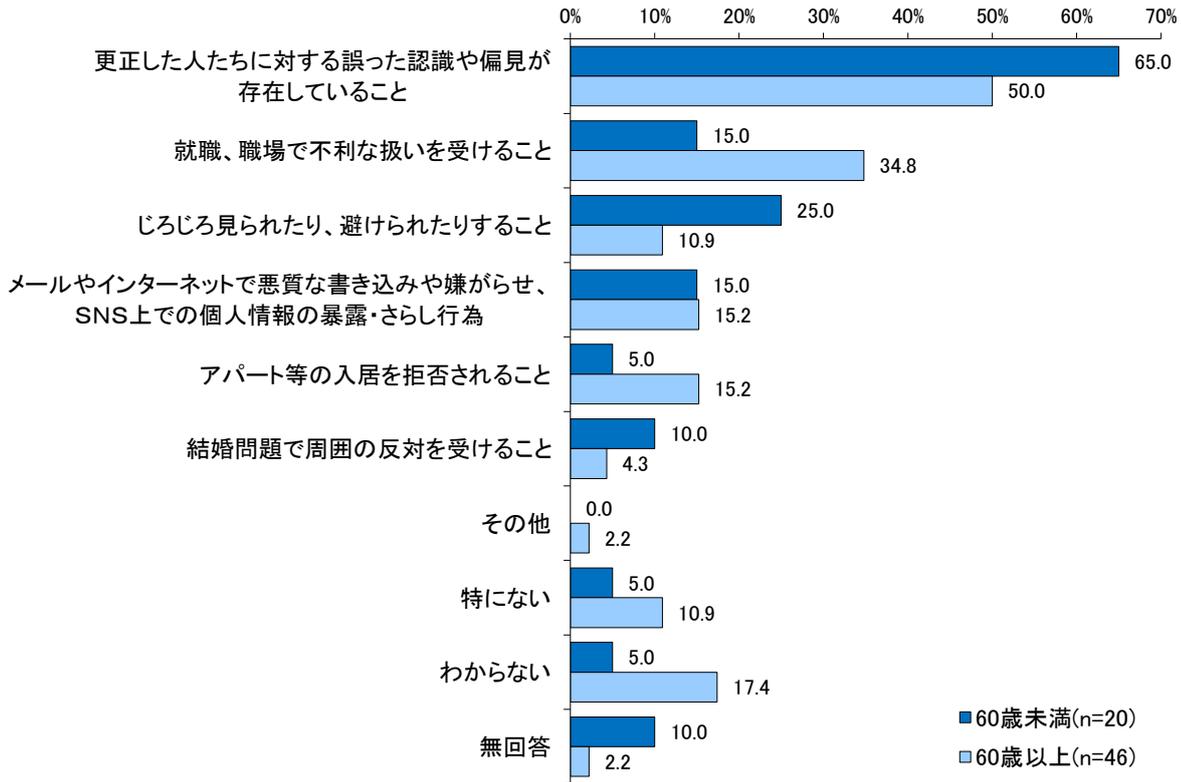
罪や非行を犯した人の人権に関して問題があると思われることについて、「更正した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」と回答した人の割合が 51.4% と最も高く、次いで「就職、職場で不利な扱いを受けること」(29.2%) となっている。

【罪や非行を犯した人の人権に関して問題があると思われること（性別）】



性別にみると、男女ともに「更正した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」と回答した人の割合が5割台で最も高く、「就職、職場で不利な扱いを受けること」と回答した人の割合が3割台で続いている。

【罪や非行を犯した人の人権に関して問題があると思われること（年齢別）】

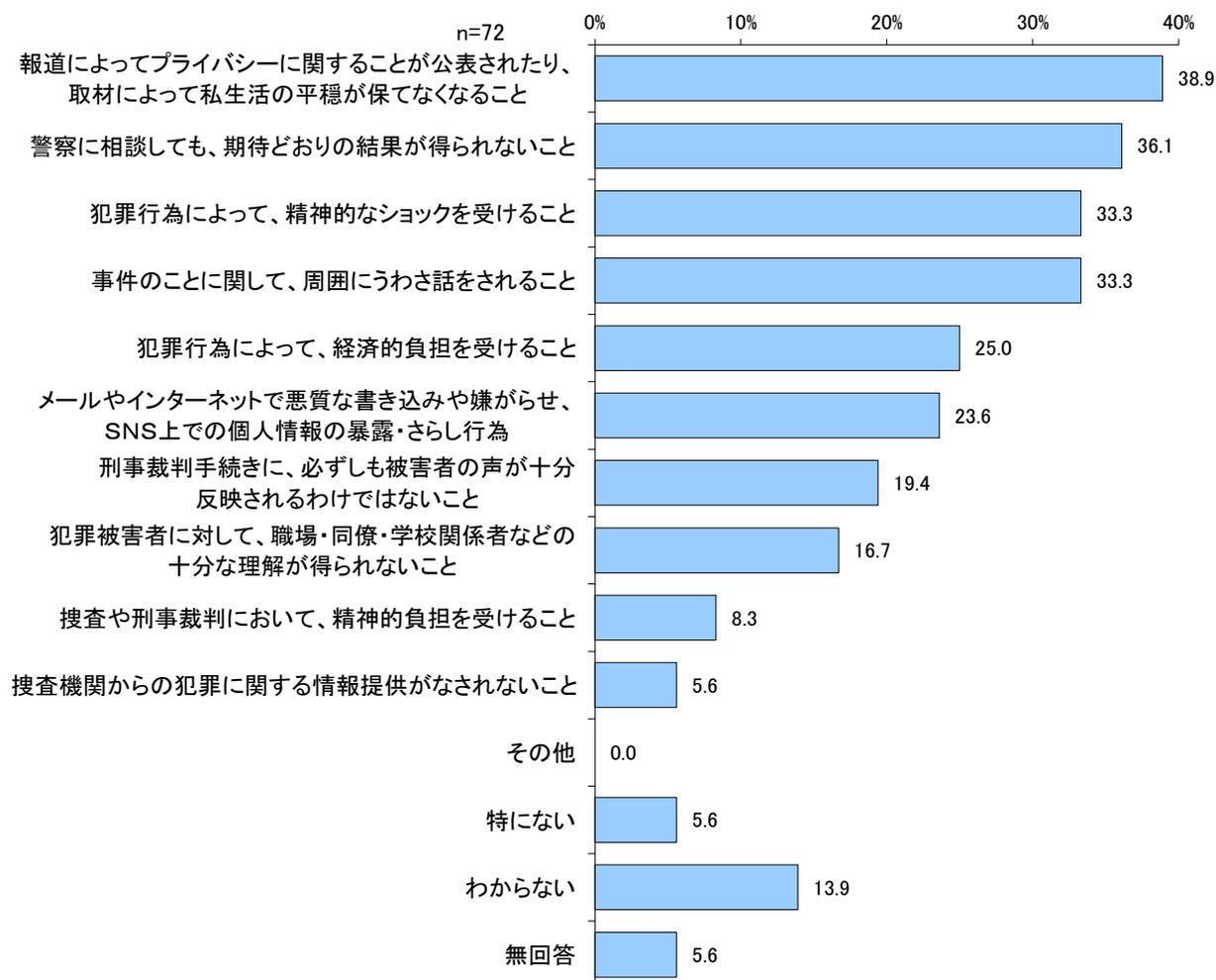


年齢別にみると、60歳未満、60歳以上ともに「更正した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」と回答した人の割合が最も高く、60歳未満で6割台、60歳以上で5割となっている。

(6)犯罪被害者の人権について

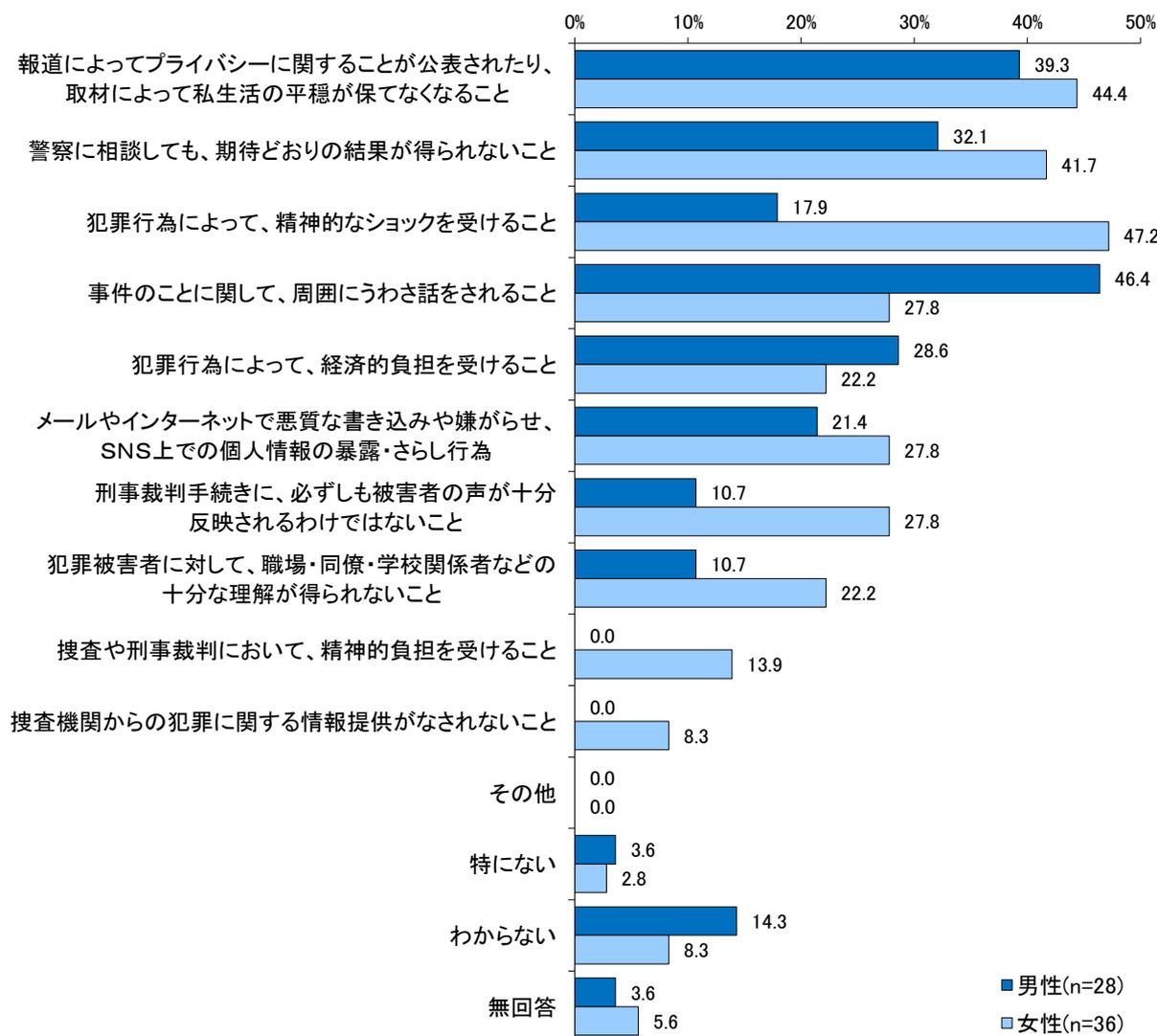
問 11 あなたは、犯罪被害者についてのことがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

【犯罪被害者の人権に関して問題があると思われること】



犯罪被害者の人権に関して問題があると思われることについて、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなること」と回答した人の割合が 38.9%と最も高く、「警察に相談しても、期待どおりの結果が得られないこと」(36.1%)、「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」、「事件のことに關して、周囲にうわさ話をされること」(33.3%)が続いている。

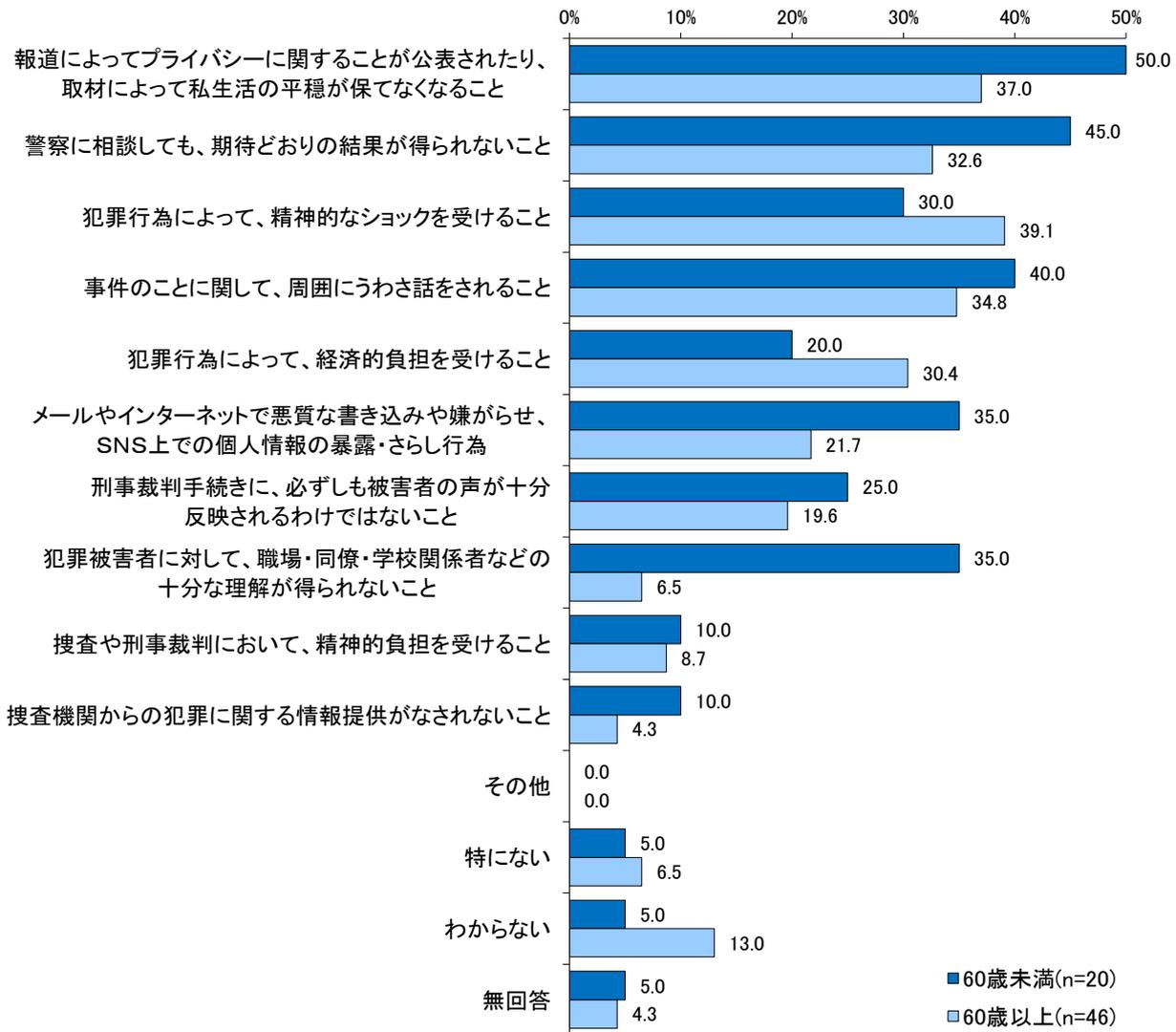
【犯罪被害者の人権に関して問題があると思われること（性別）】



性別にみると、男性では「事件のことに、周囲にうわさ話をされること」と回答した人の割合が4割台、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなること」、「警察に相談しても、期待どおりの結果が得られないこと」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

女性では「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなること」、「警察に相談しても、期待どおりの結果が得られないこと」、「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」と回答した人の割合が4割台で上位となっている。

【犯罪被害者の人権に関して問題があると思われること（年齢別）】



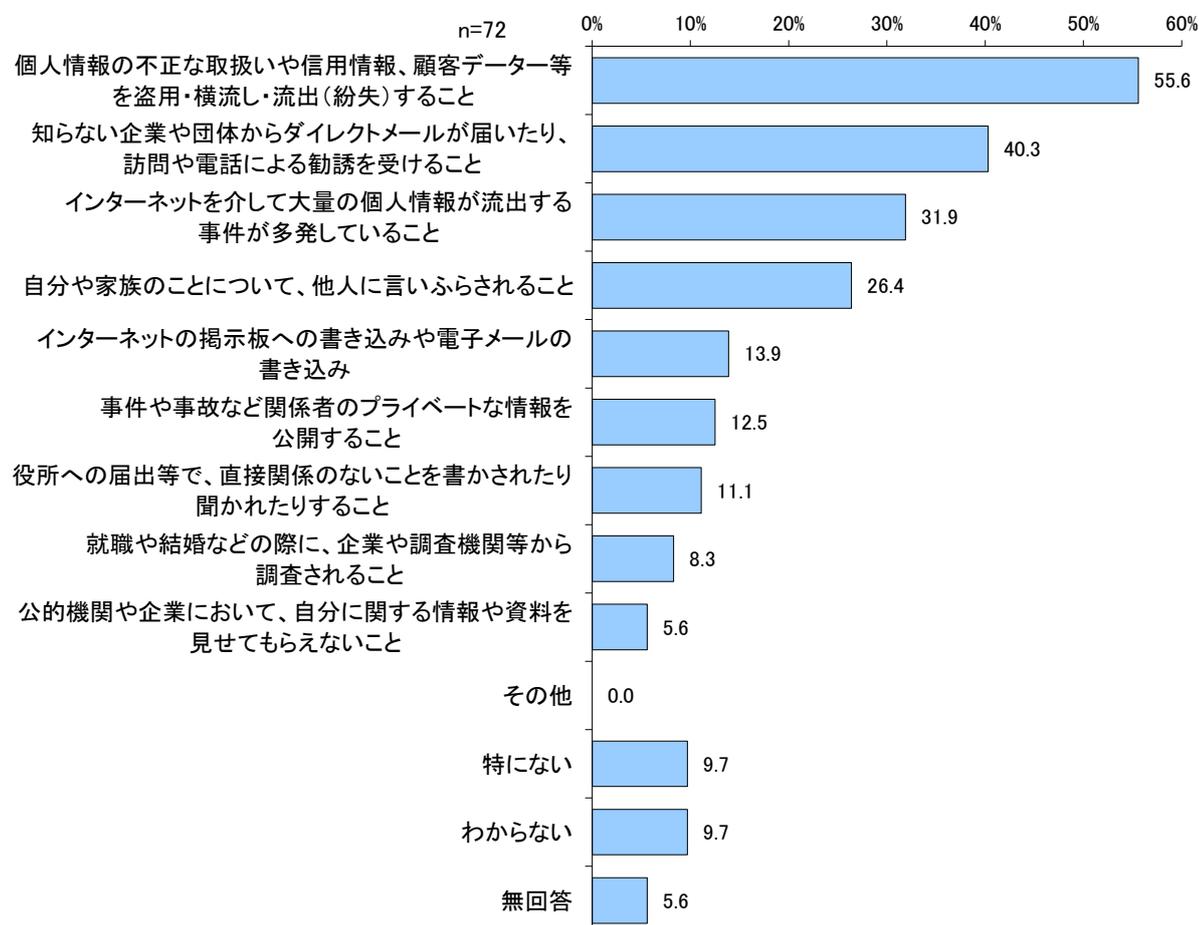
年齢別にみると、60歳未満では「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなる」と回答した人の割合が5割、「警察に相談しても、期待どおりの結果が得られないこと」、「事件のことに、周囲にうわさ話をされること」と回答した人の割合が4割台で上位となっている。

60歳以上では「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなる」、「犯罪行為によって、精神的なショックを受ける」と回答した人の割合が3割台後半で上位となっている。

(7) プライバシーの保護について

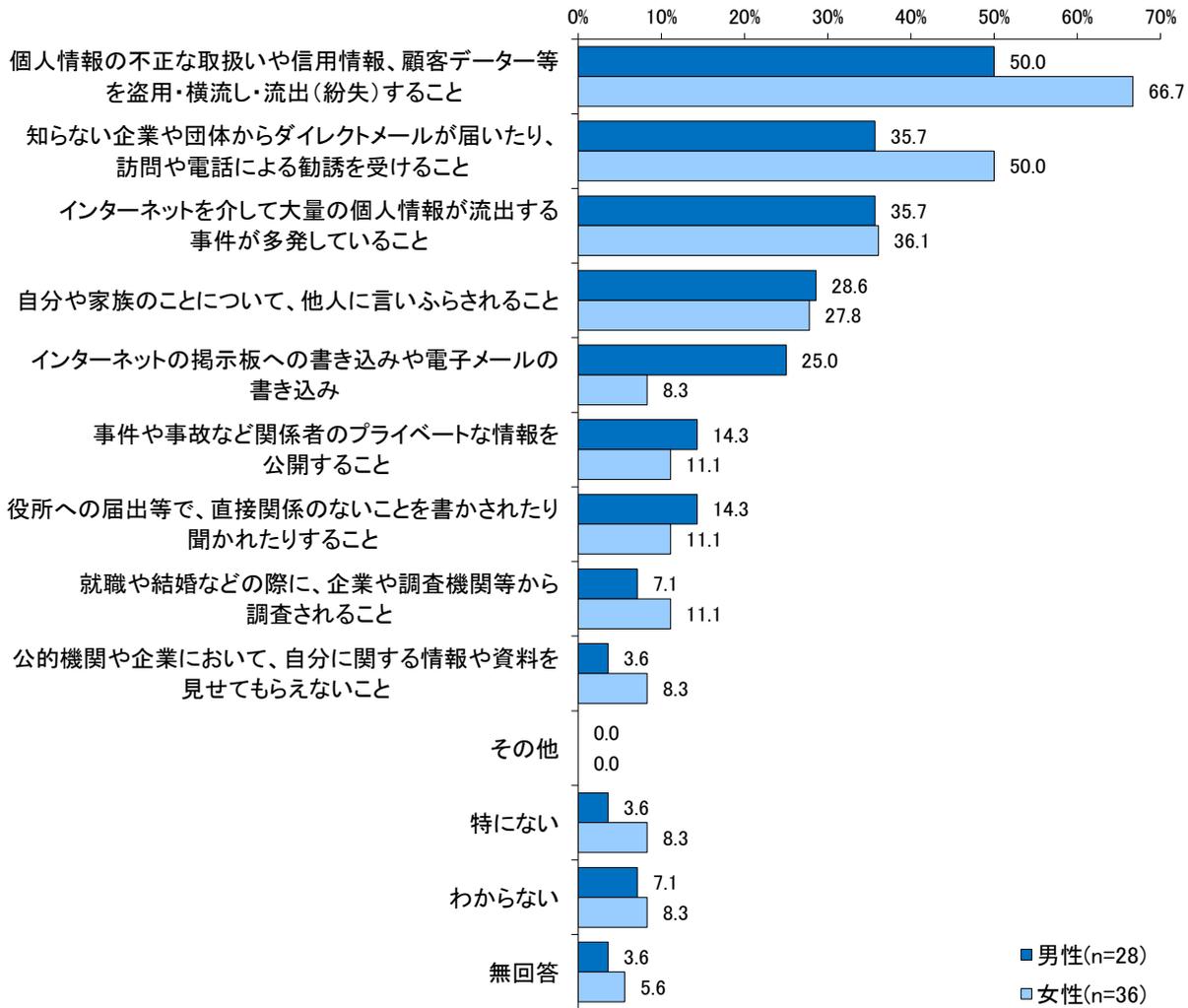
問 12 あなたは、プライバシーの保護に関することから、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

【プライバシーの保護に関して問題があると思われること】



プライバシーの保護に関して問題があると思われることについて、「個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横流し・流出(紛失)すること」と回答した人の割合が 55.6%と最も高く、「知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」(40.3%)、「インターネットを介して大量の個人情報が流出する事件が多発していること」(31.9%)、「自分や家族のことについて、他人に言いふらされること」(26.4%)が続いている。

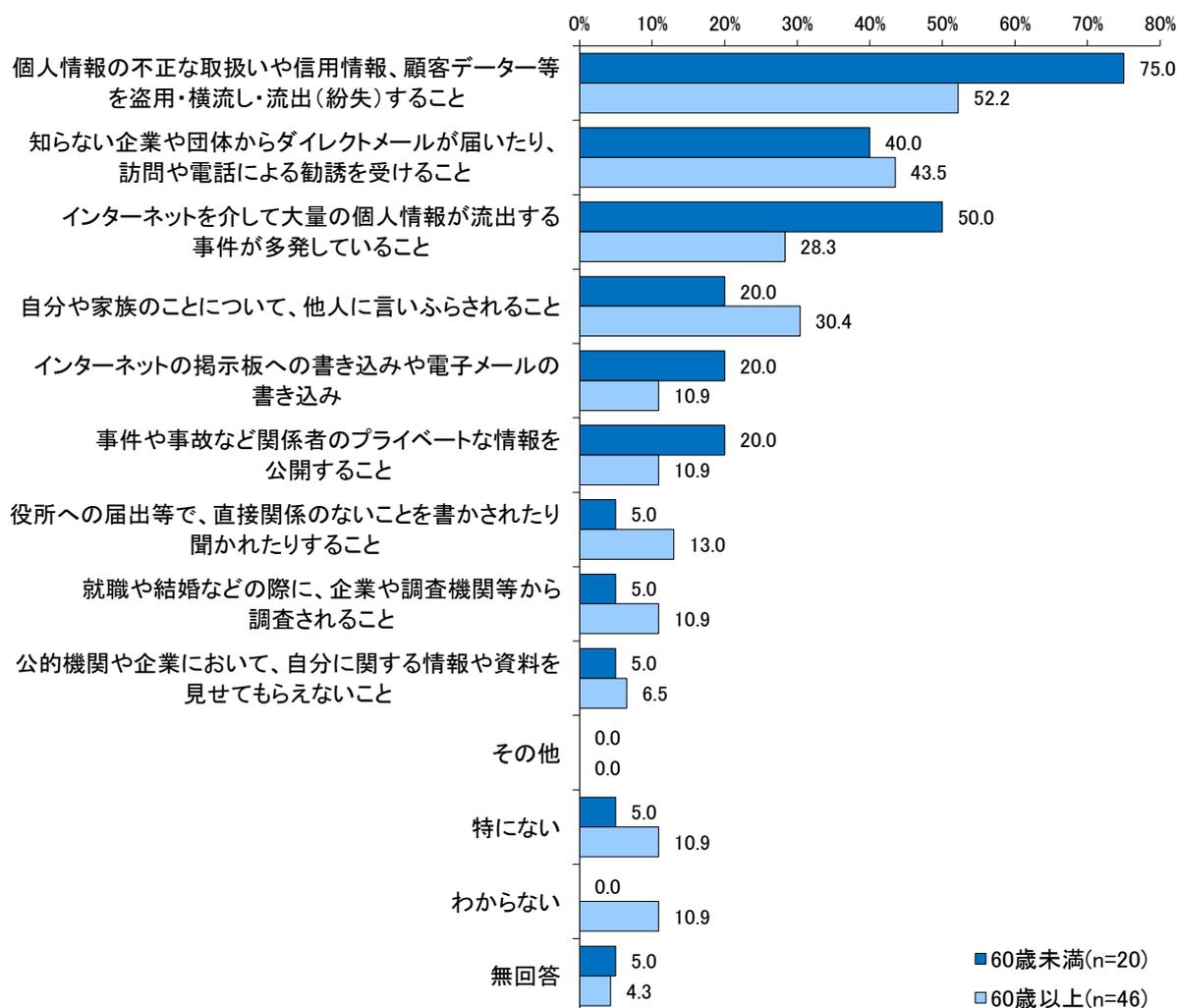
【プライバシーの保護に関して問題があると思われること（性別）】



性別にみると、男性では「個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横流し・流出（紛失）すること」と回答した人の割合が5割で最も高くなっている。

女性では「個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横流し・流出（紛失）すること」と回答した人の割合が6割台、「知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」と回答した人の割合が5割で上位となっている。

【プライバシーの保護に関して問題があると思われること（年齢別）】



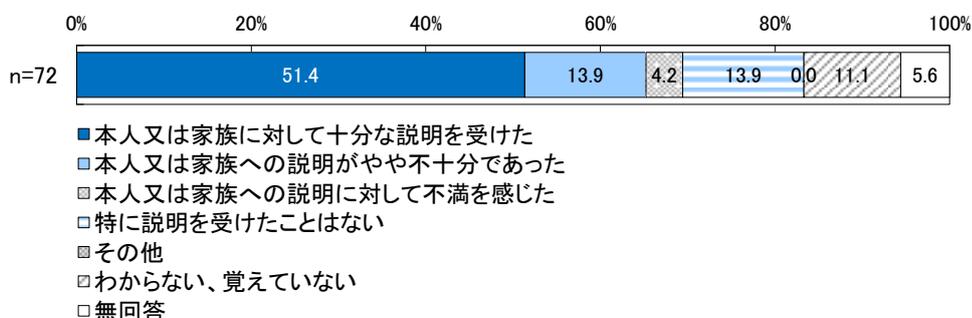
年齢別にみると、60歳未満では「個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横流し・流出（紛失）すること」と回答した人の割合が7割台、「インターネットを介して大量の個人情報が流出する事件が多発していること」と回答した人の割合が5割で上位となっている。

60歳以上では「個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横流し・流出（紛失）すること」と回答した人の割合が5割台、「知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」と回答した人の割合が4割台で上位となっている。

(8)インフォームド・コンセントについて

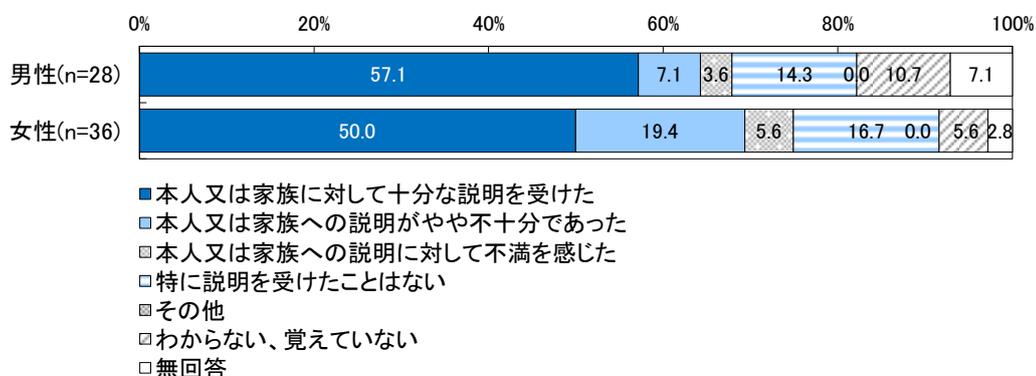
問 13 「インフォームド・コンセント」(治療の目的や内容を納得できるように患者に説明し、了承を得て治療をすること。)が患者の権利として重視されていますが、あなたがこれまでに受けた医療機関の対応は、次のうちどれに近いですか。(✓は1つ)

【これまでに受けた医療機関の対応】



これまでに受けた医療機関の対応について、「本人又は家族に対して十分な説明を受けた」と回答した人の割合が 51.4%、説明が十分でないと感じている人（「本人又は家族への説明がやや不十分であった」+「本人又は家族への説明に対して不満を感じた」+「特に説明を受けたことはない」と回答した人の割合が 32.0%となっている。

【これまでに受けた医療機関の対応（性別）】

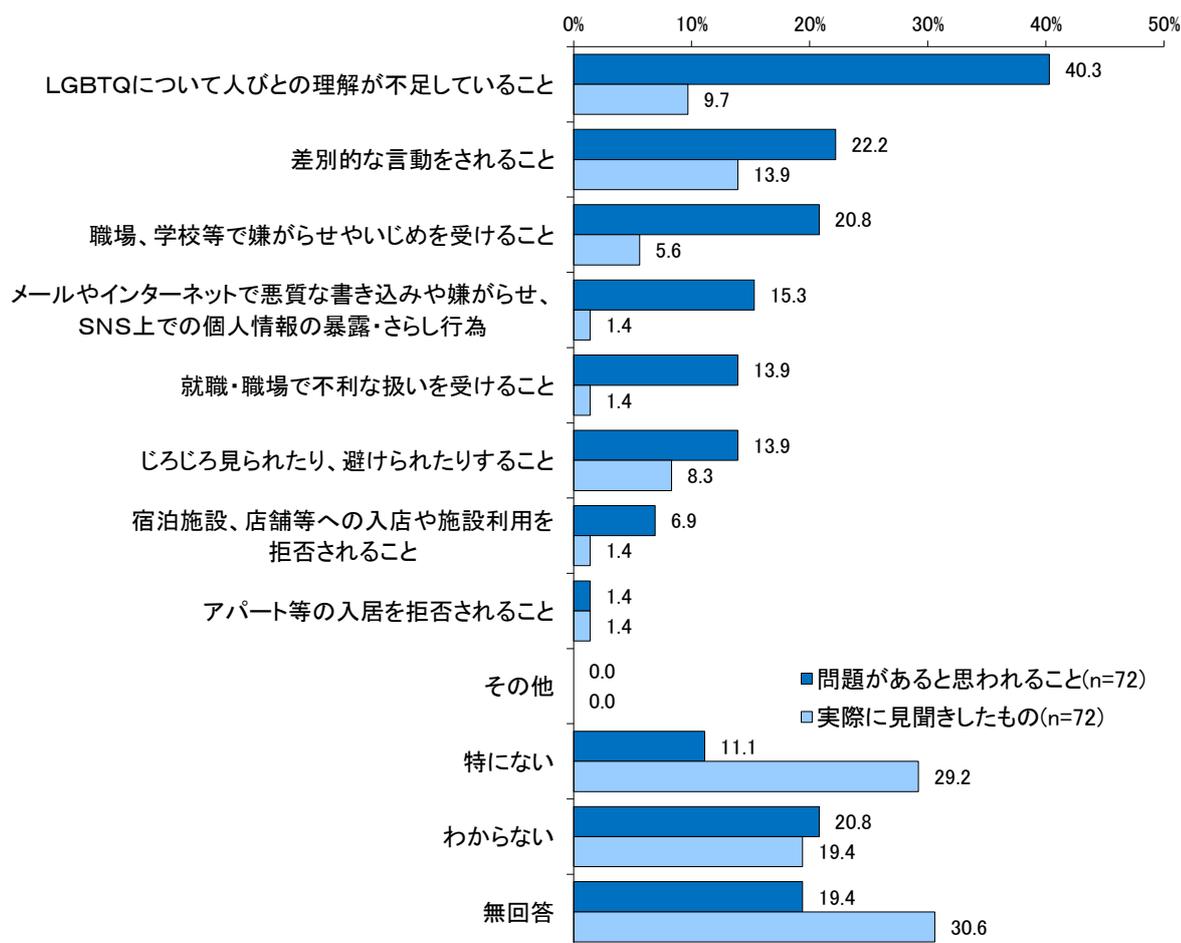


性別にみると、説明が十分でないと感じている人の割合は、男性で 25.0%、女性で 41.7%となっている。

(9)LGBTQに関する人権について

問 14 あなたは、LGBTQ（L（レズビアン：女性同性愛者）、G（ゲイ：男性同性愛者）、B（バイセクシャル：両性愛者）、T（トランスジェンダー：生まれたときに割り当てられた性別と性自認が異なる人）、Q（クエスチョニングまたはクイア：性的指向や性自認が定まらない人））に関することながら、問題があると思われるのはどのようなことですか。また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたものがありますか。（✓は3つまで）

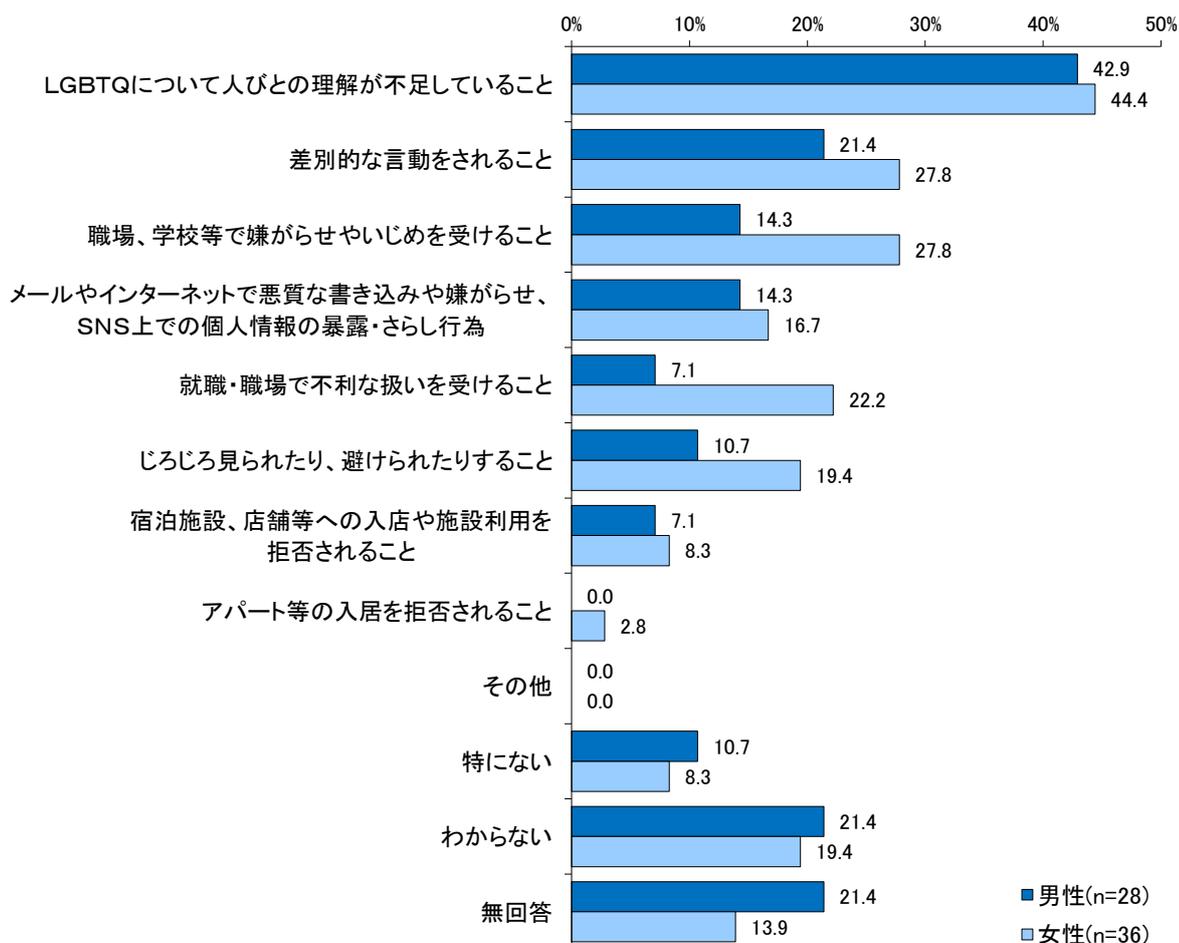
【LGBTQに関する人権について】



LGBTQに関する人権について、問題があると思われることとしては、「LGBTQについて人びとの理解が不足していること」と回答した人の割合が40.3%と最も高く、「差別的な言動をされること」(22.2%)、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(20.8%)が続いている。

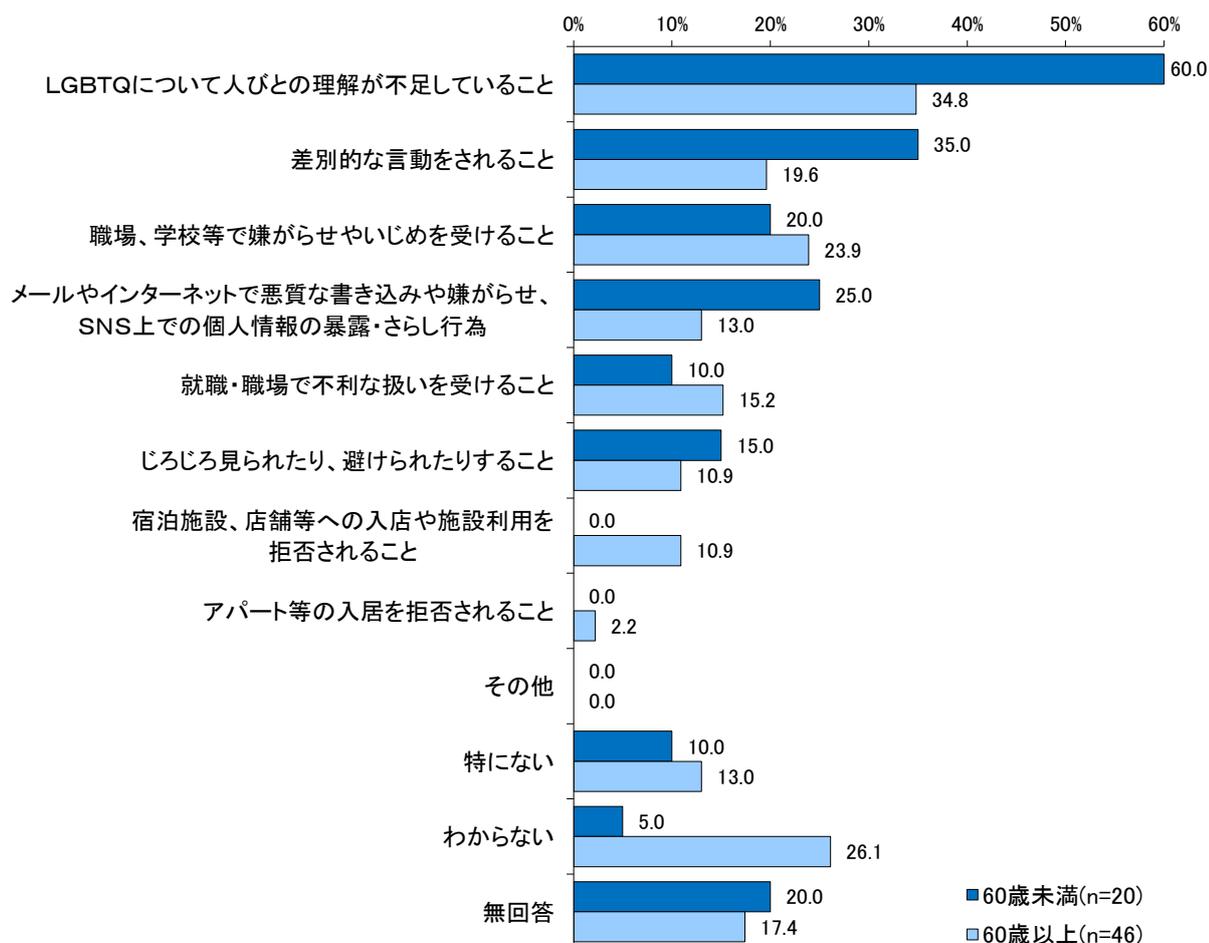
実際に見聞きしたものとしては、「差別的な言動をされること」と回答した人の割合が1割を超えている。

【LGBTQに関する人権について問題があると思われること（性別）】



問題があると思われることについて、性別にみると、男女ともに「LGBTQについて人びとの理解が不足していること」と回答した人の割合が4割台で最も高くなっている。

【LGBTQに関する人権について問題があると思われること（年齢別）】



問題があると思われることについて、年齢別にみると、60歳未満では、「LGBTQについて人びとの理解が不足していること」と回答した人の割合が6割、「差別的な言動をされること」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

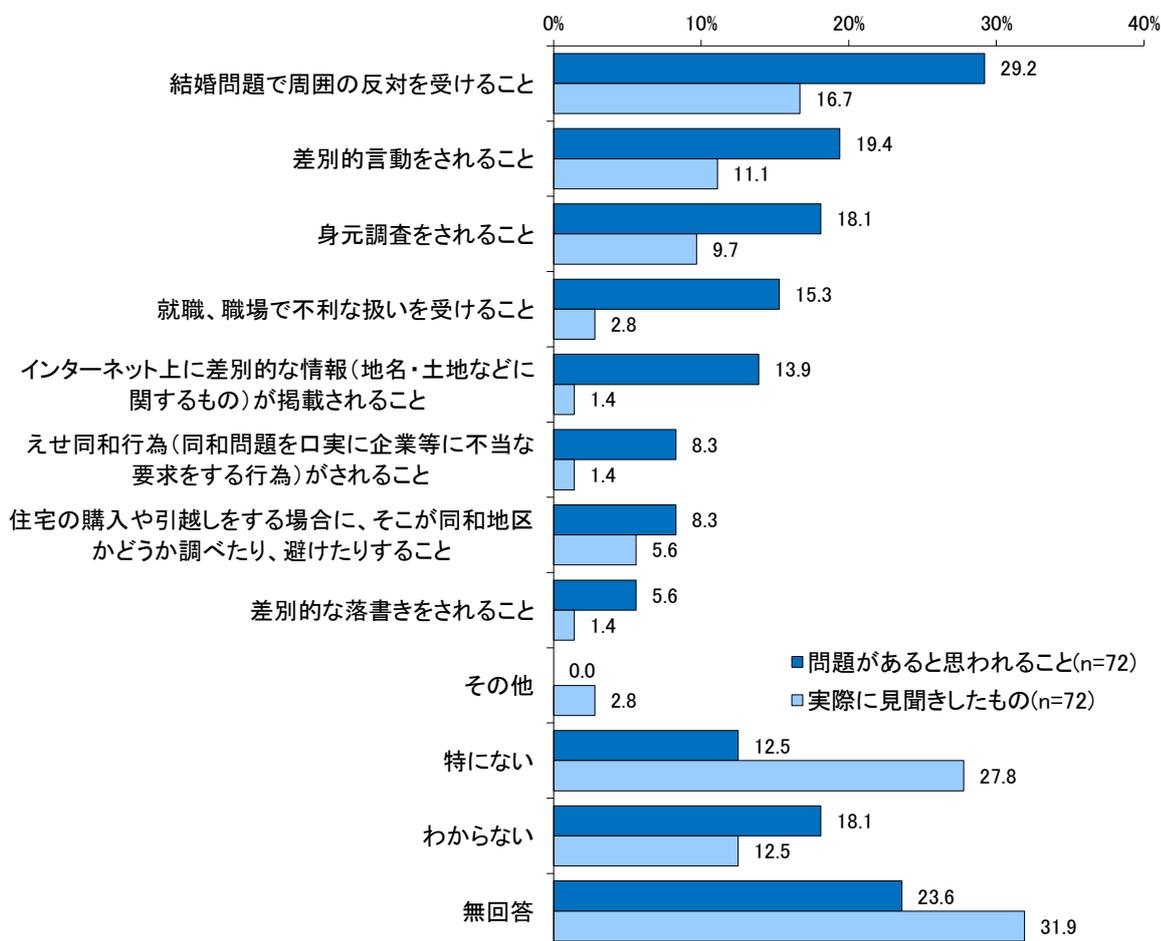
60歳以上では「LGBTQについて人びとの理解が不足していること」と回答した人の割合が3割台で最も高くなっている。

(10)同和問題について

問 15 あなたは、同和問題に関することからで、問題があると思われるのはどのようなことですか。また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたものがありますか。

(✓は3つまで)

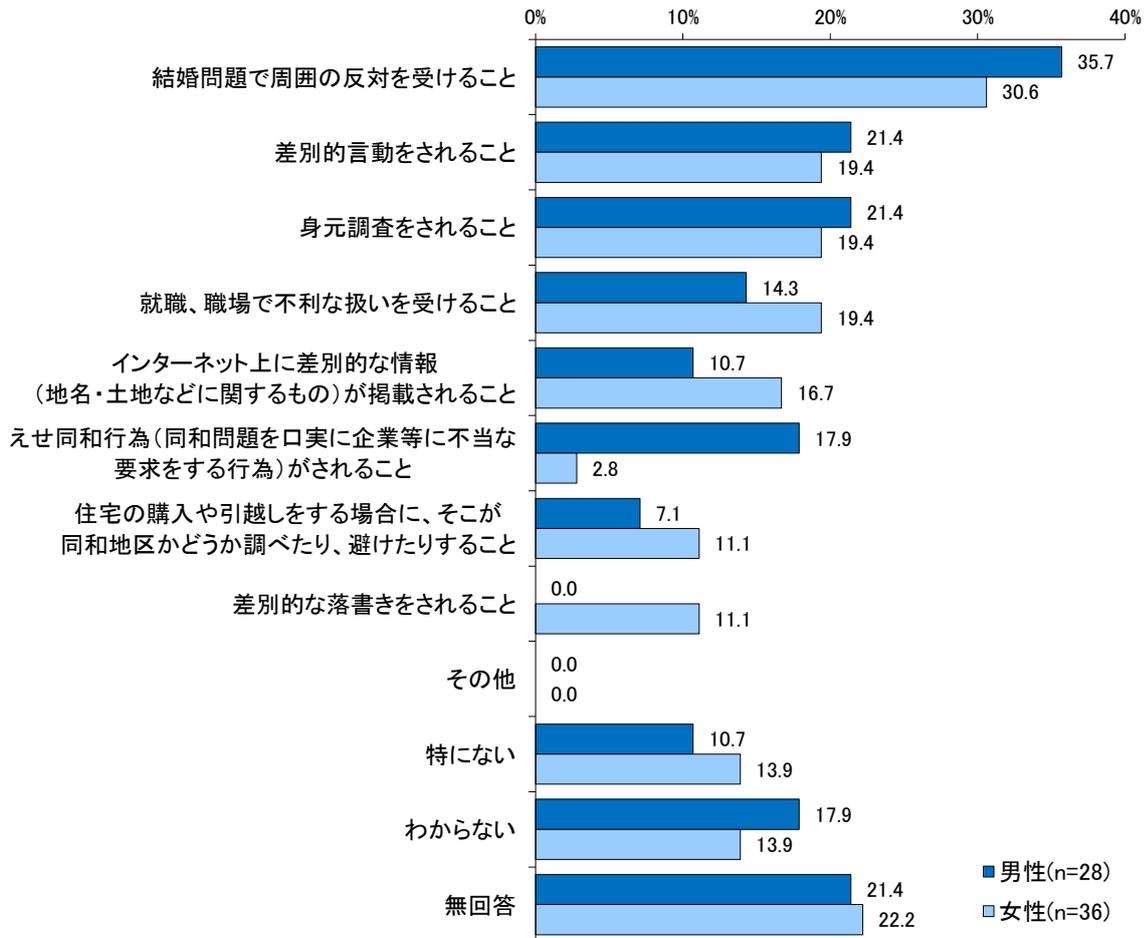
【同和問題について】



同和問題について、問題があると思われることとしては、「結婚問題で周囲の反対を受けること」と回答した人の割合が29.2%と最も高く、「差別的言動をされること」(19.4%)、「身元調査をされること」(18.1%)が続いている。

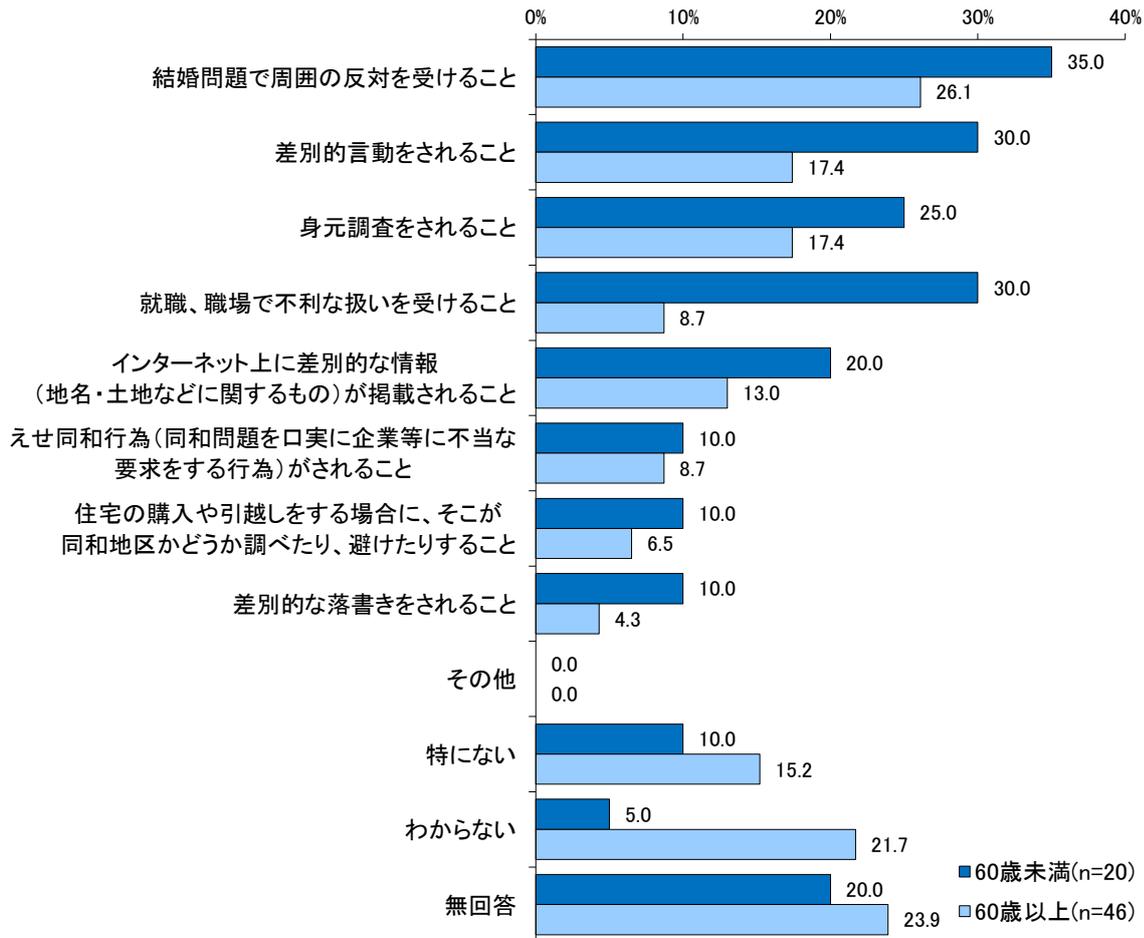
実際に見聞きしたものとしては、「結婚問題で周囲の反対を受けること」と回答した人の割合が16.7%と最も高く、「差別的言動をされること」(11.1%)、「身元調査をされること」(9.7%)が続いている。

【同和問題について問題があると思われること（性別）】



問題があると思われることについて、性別にみると、男女ともに「結婚問題で周囲の反対を受けること」と回答した人の割合が3割台で最も高くなっている。

【同和問題について問題があると思われること（年齢別）】



問題があると思われることについて、年齢別にみると、60歳未満では「結婚問題で周囲の反対を受けること」、「差別的言動をされること」、「就職、職場で不利な扱いを受けること」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

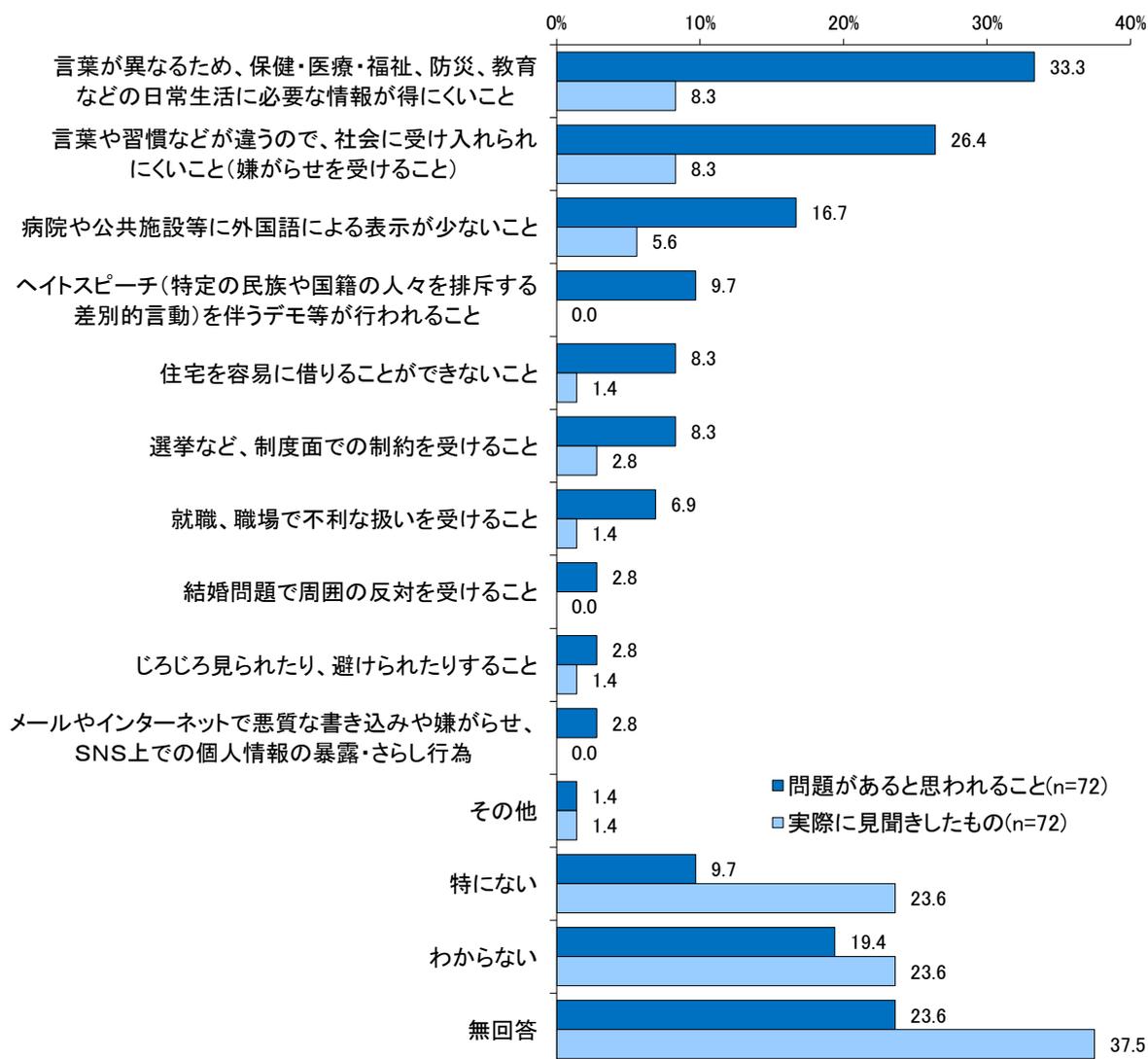
60歳以上では「結婚問題で周囲の反対を受けること」と回答した人の割合が2割台で最も高くなっている。

(11)外国人の人権について

問 16 あなたは、外国人に関することからで、問題があると思われるのはどのようなことですか。また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたものがありますか。

(✓は3つまで)

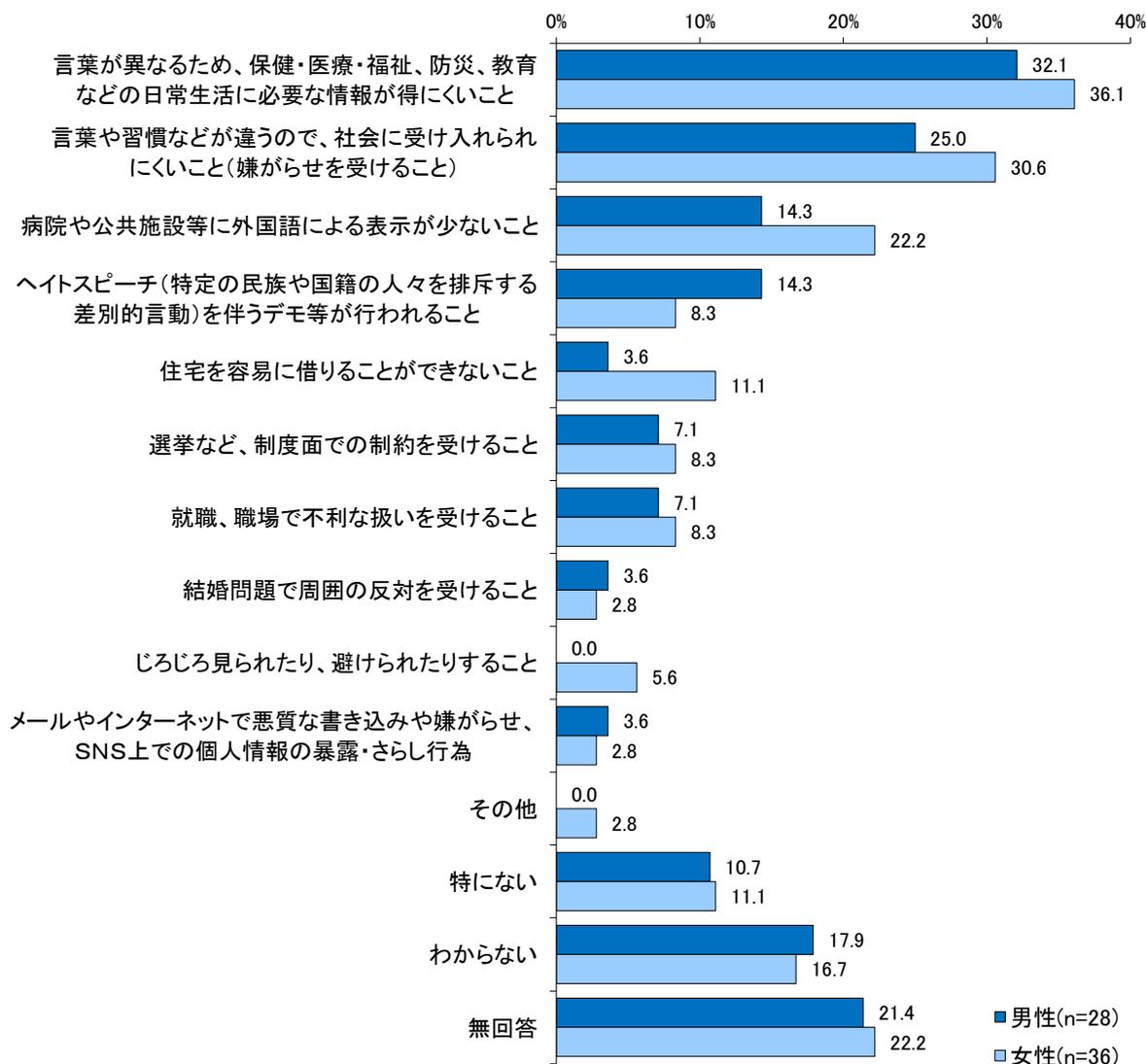
【外国人の人権について】



外国人の人権について、問題があると思われることとしては、「言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」と回答した人の割合が33.3%と最も高く、「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと(嫌がらせを受けること)」(26.4%)、「病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと」(16.7%)が続いている。

実際に見聞きしたものとしては、「言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」、「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと(嫌がらせを受けること)」と回答した人の割合が8.3%と最も高く、「病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと」(5.6%)が続いている。

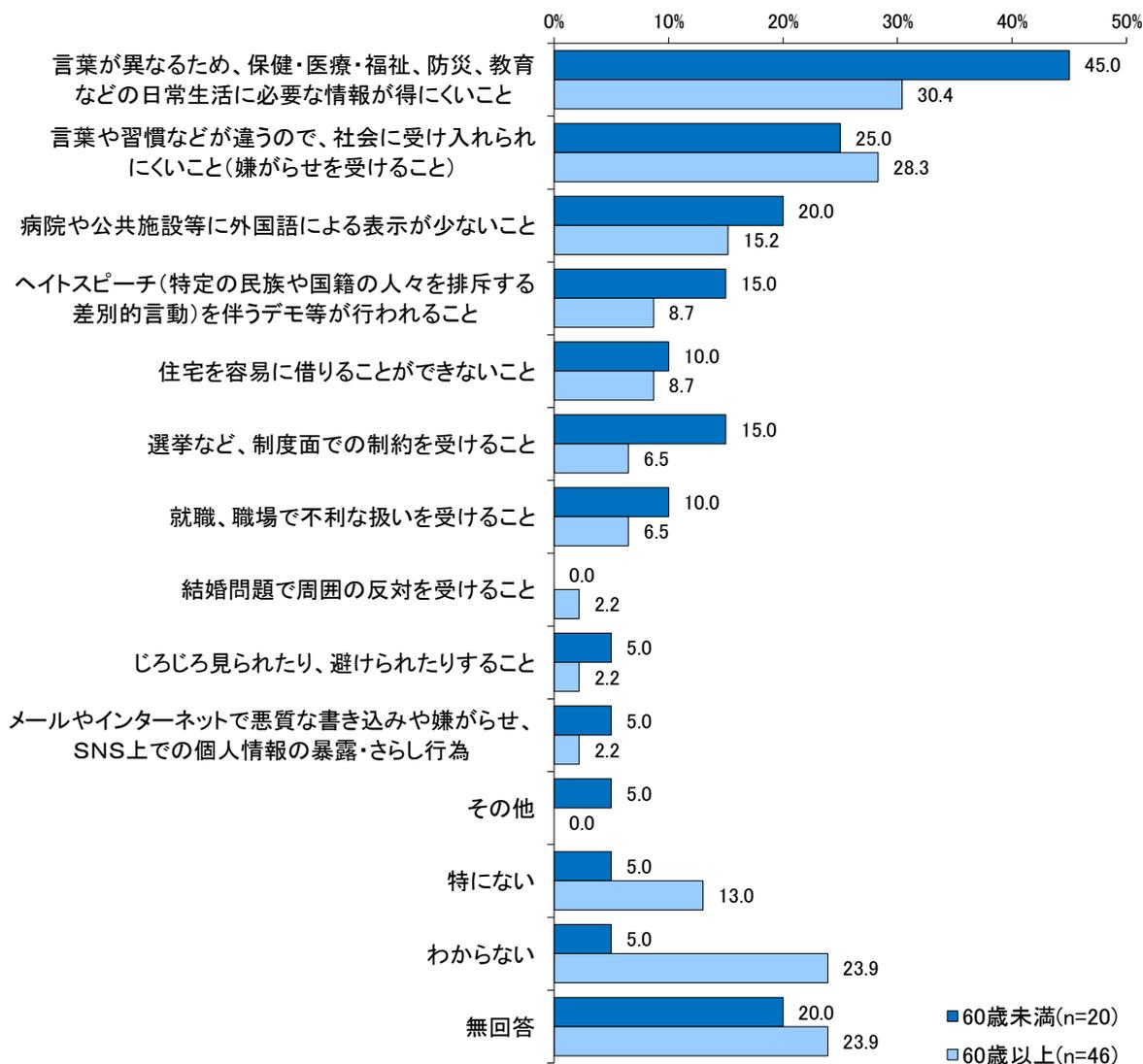
【外国人の人権について問題があると思われること（性別）】



問題があると思われることについて、性別にみると、男性では「言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」と回答した人の割合が3割台、「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと（嫌がらせを受けること）」と回答した人の割合が2割台で上位となっている。

女性では「言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」、「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと（嫌がらせを受けること）」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

【外国人の人権について問題があると思われること（年齢別）】



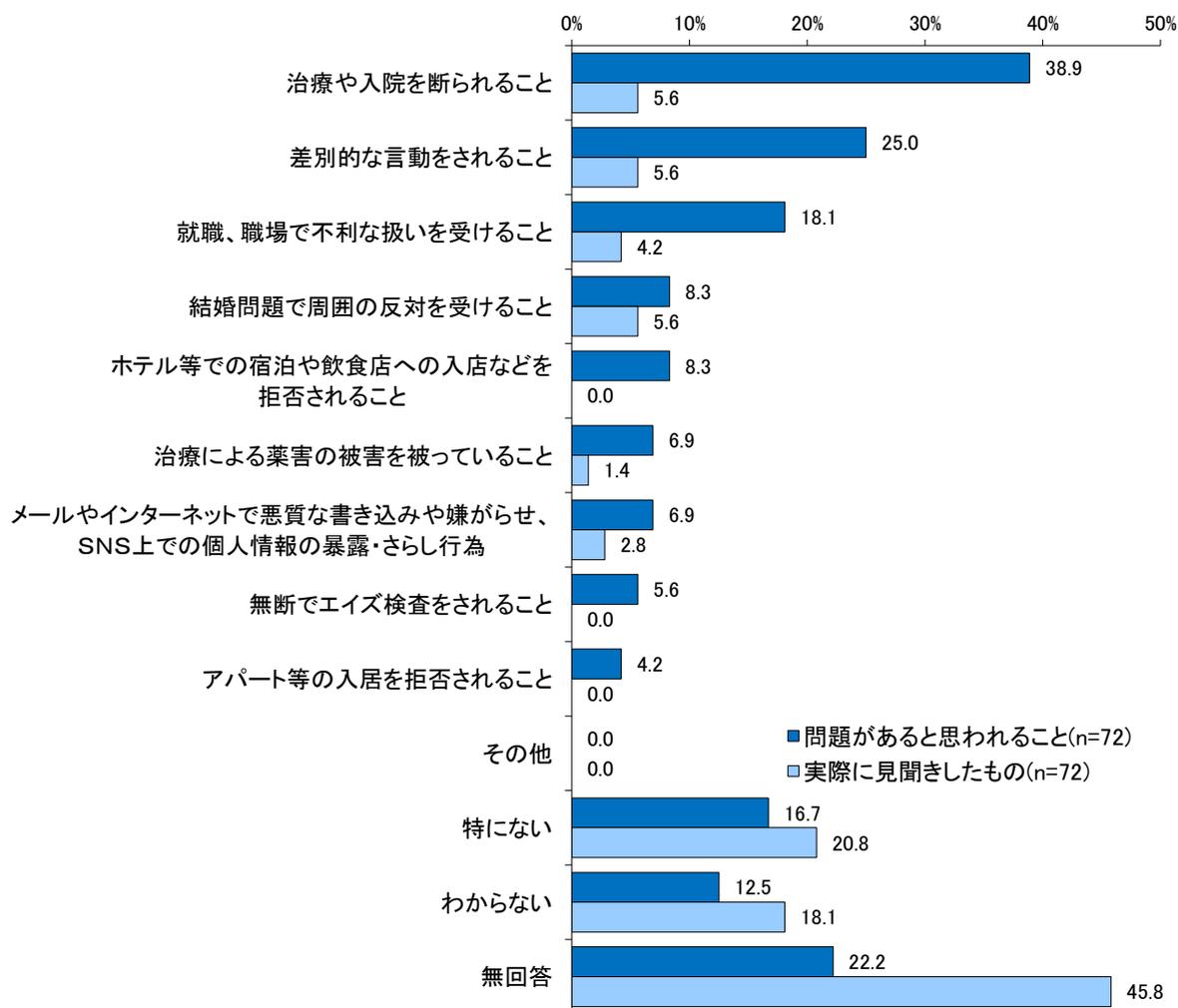
問題があると思われることについて、年齢別にみると、60歳未満では「言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」と回答した人の割合が4割台、「言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」と回答した人の割合が2割台で上位となっている。

60歳以上では「言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」、「言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」と回答した人の割合が約3割で上位となっている。

(12)感染症患者等の人権について

問 17 あなたは、感染症患者等（H I V感染者・新型コロナウイルス感染者・患者等）に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたものがありますか。（✓は3つまで）

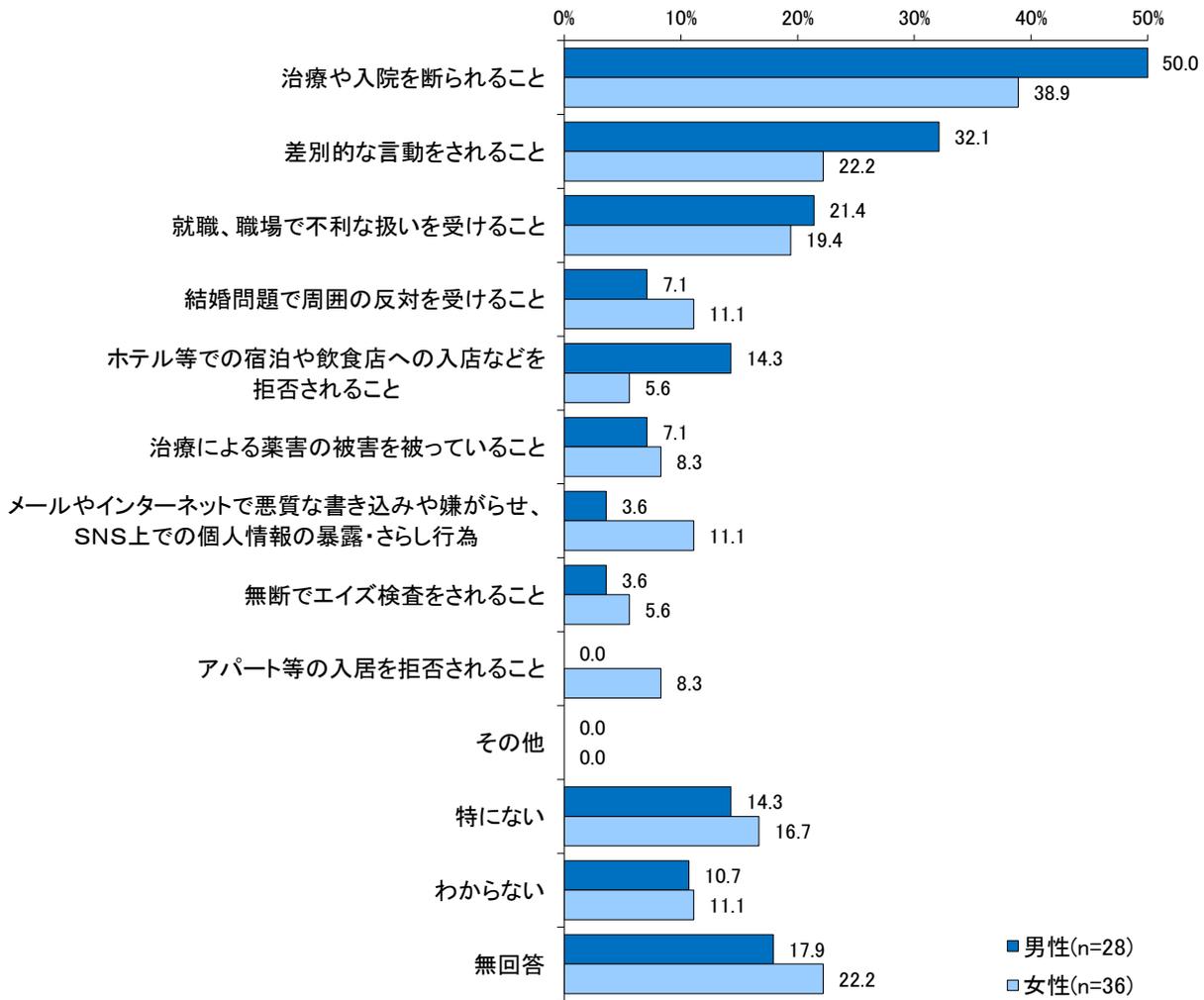
【感染症患者等の人権について】



感染症患者等の人権について、問題があると思われることとしては、「治療や入院を断られること」と回答した人の割合が 38.9%と最も高く、「差別的な言動をされること」(25.0%)、「就職、職場で不利な扱いを受けること」(18.1%)が続いている。

実際に見聞きしたものとしては、「治療や入院を断られること」、「差別的な言動をされること」、「結婚問題で周囲の反対を受けること」と回答した人の割合が 5.6%となっている。

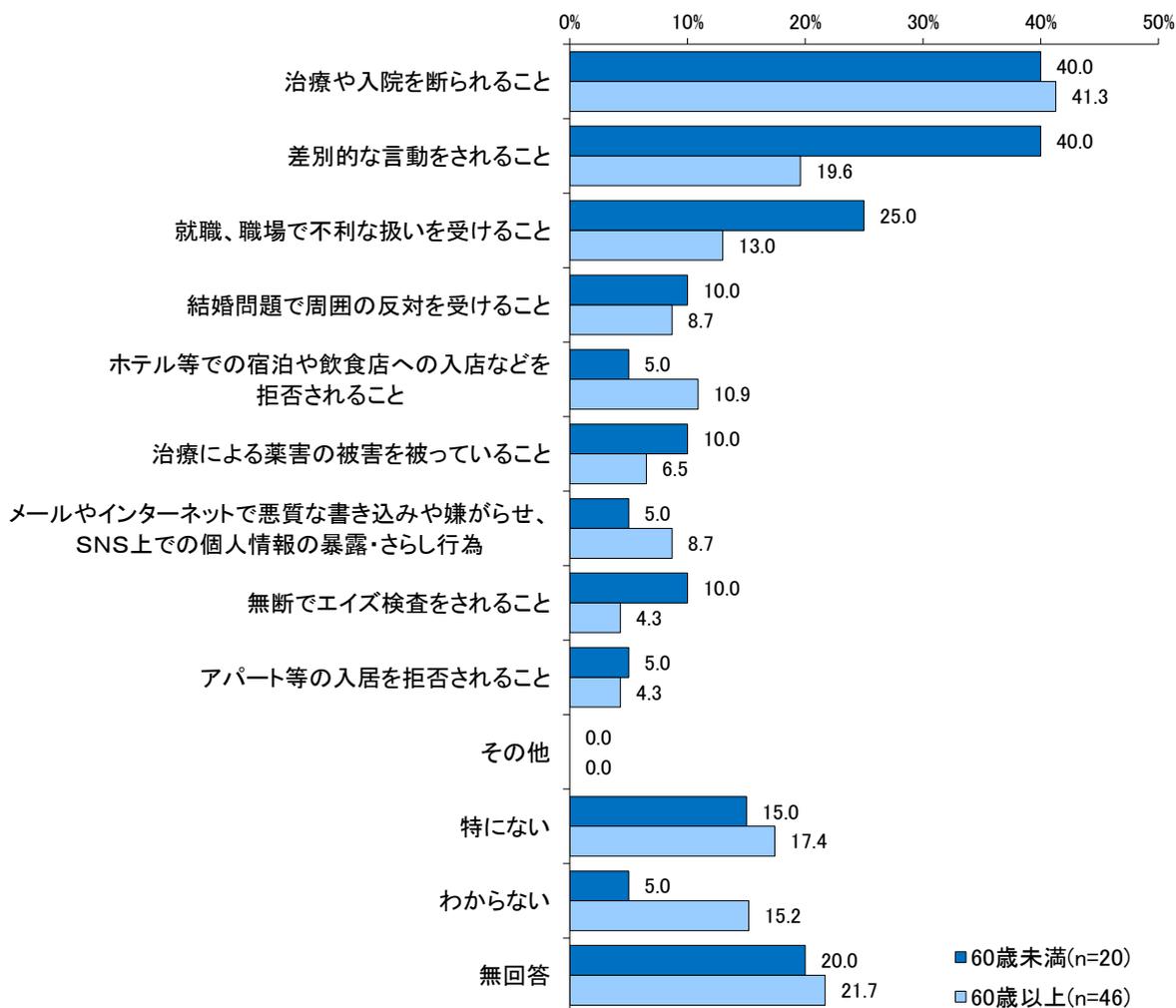
【感染症患者等の人権について問題があると思われること（性別）】



問題があると思われることについて、性別にみると、男性では「治療や入院を断られること」と回答した人の割合が5割台、「差別的な言動をされること」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

女性では「治療や入院を断られること」と回答した人の割合が3割台で最も高くなっている。

【感染症患者等の人権について問題があると思われること（年齢別）】



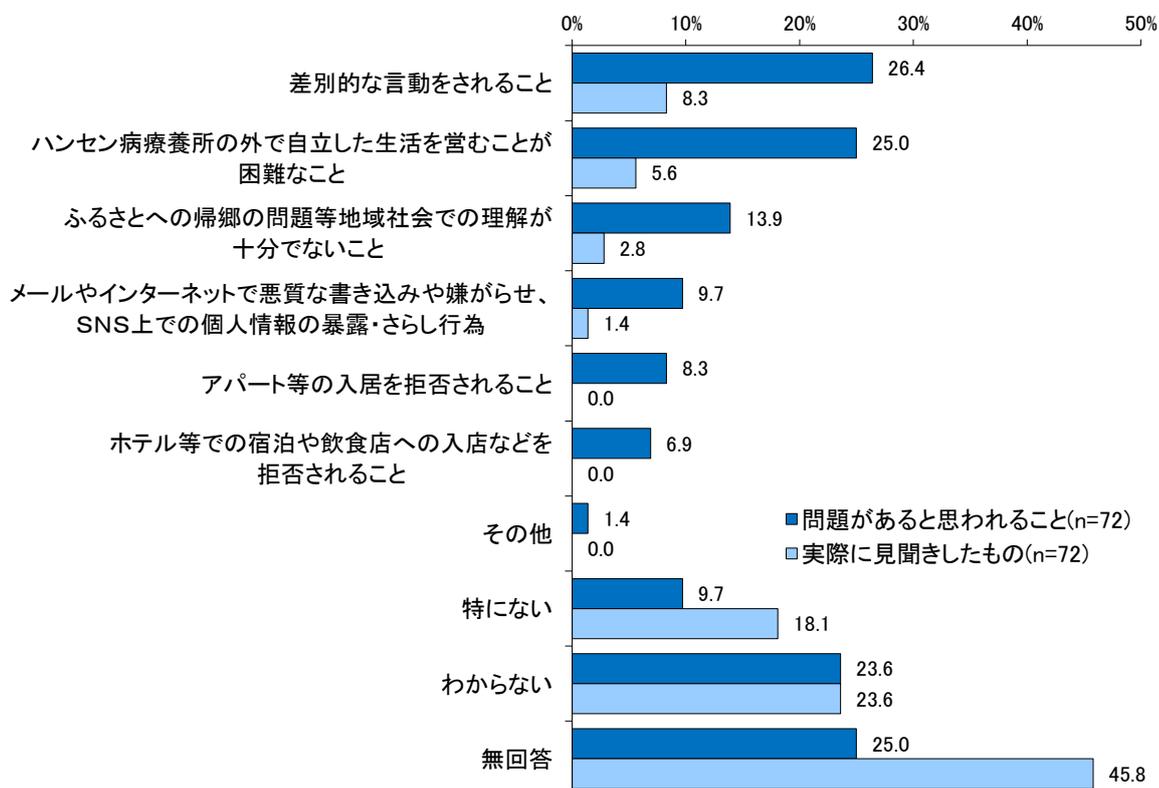
問題があると思われることについて、年齢別にみると、60歳未満では「治療や入院を断られること」、「差別的な言動をされること」と回答した人の割合が4割で上位となっている。

60歳以上は「治療や入院を断られること」と回答した人の割合が4割台で最も高くなっている。

(13)ハンセン病問題について

問 18 あなたは、ハンセン病問題（ハンセン病患者・元患者とその家族）に関することから、問題があると思われるのはどのようなことですか。また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたものがありますか。（✓は2つまで）

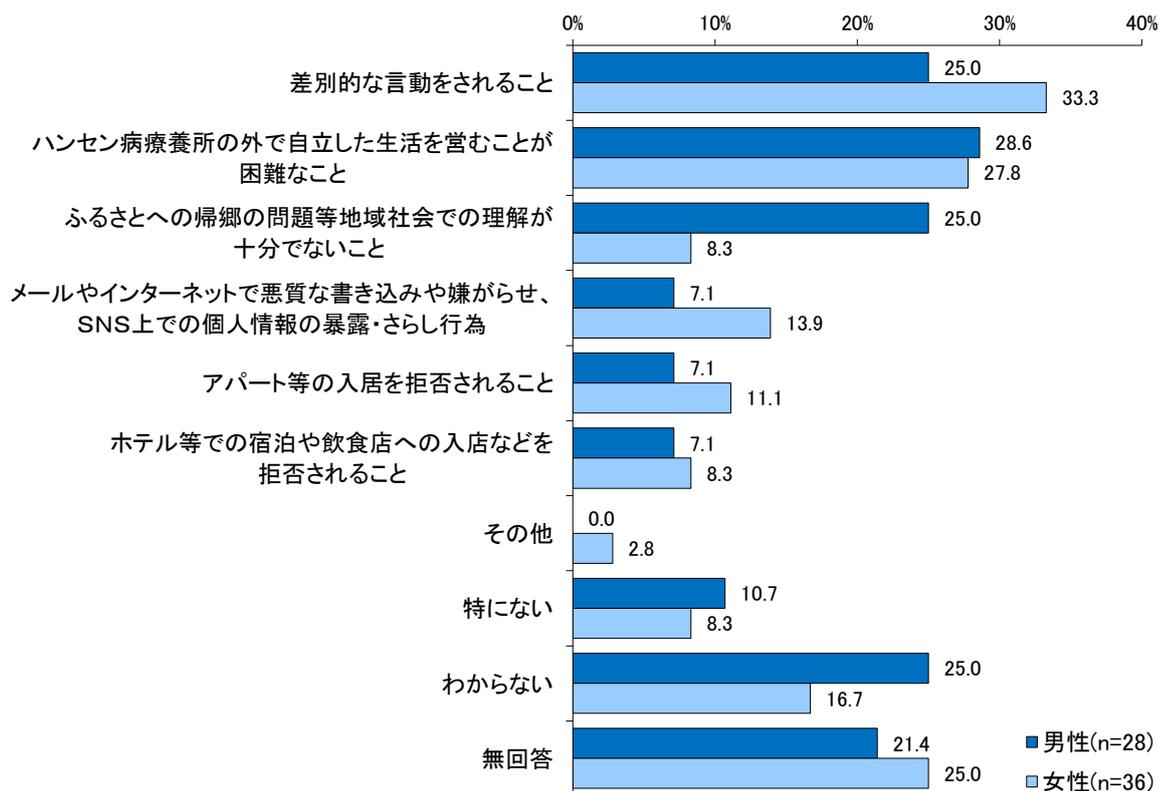
【ハンセン病問題について】



ハンセン病問題について、問題があると思われることとしては、「差別的な言動をされること」と回答した人の割合が 26.4%と最も高く、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」(25.0%)、「ふるさとへの帰郷の問題等地域社会での理解が十分でないこと」(13.9%)が続いている。

実際に見聞きしたものとしては、「差別的な言動をされること」と回答した人の割合が 8.3%と最も高く、次いで「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」(5.6%)となっている。

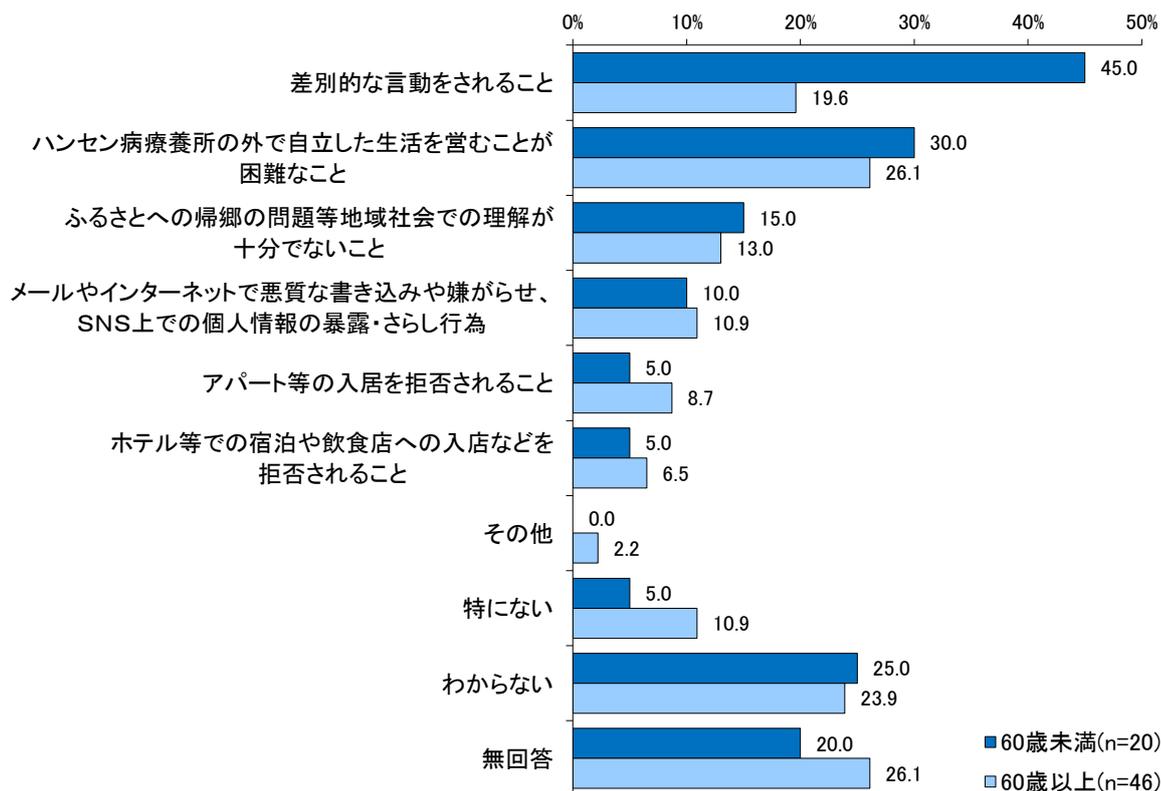
【ハンセン病問題について問題があると思われること（性別）】



問題があると思われることについて、性別にみると、男性では「差別的な言動をされること」、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」、「ふるさとへの帰郷の問題等地域社会での理解が十分でないこと」と回答した人の割合が2割台で上位となっている。

女性では「差別的な言動をされること」と回答した人の割合が3割台、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」と回答した人の割合が2割台で上位となっている。

【ハンセン病問題について問題があると思われること（年齢別）】



問題があると思われることについて、年齢別にみると、60歳未満では「差別的な言動をされること」と回答した人の割合が4割台、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

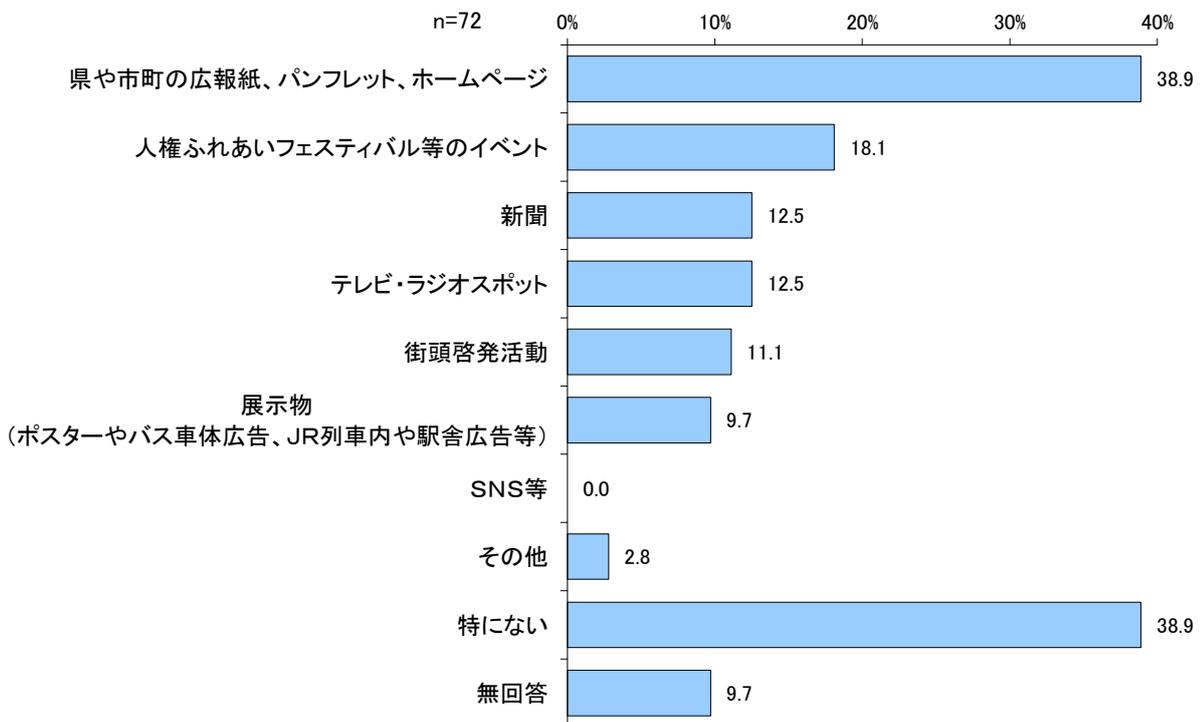
60歳以上では「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」と回答した人の割合が2割台で最も高くなっている。

5 上関町の人権に関する取組について

(1) 県や市町が実施した行事への参加や、人権問題に関連した記事等の閲覧経験

問 19 上関町では、人権に関する施策を総合的に推進していますが、あなたは、これまでに県又は市町が実施した次のような行事に参加したり、人権問題に関連した記事等を見たり読んだりした経験がありますか。(✓はいくつでも)

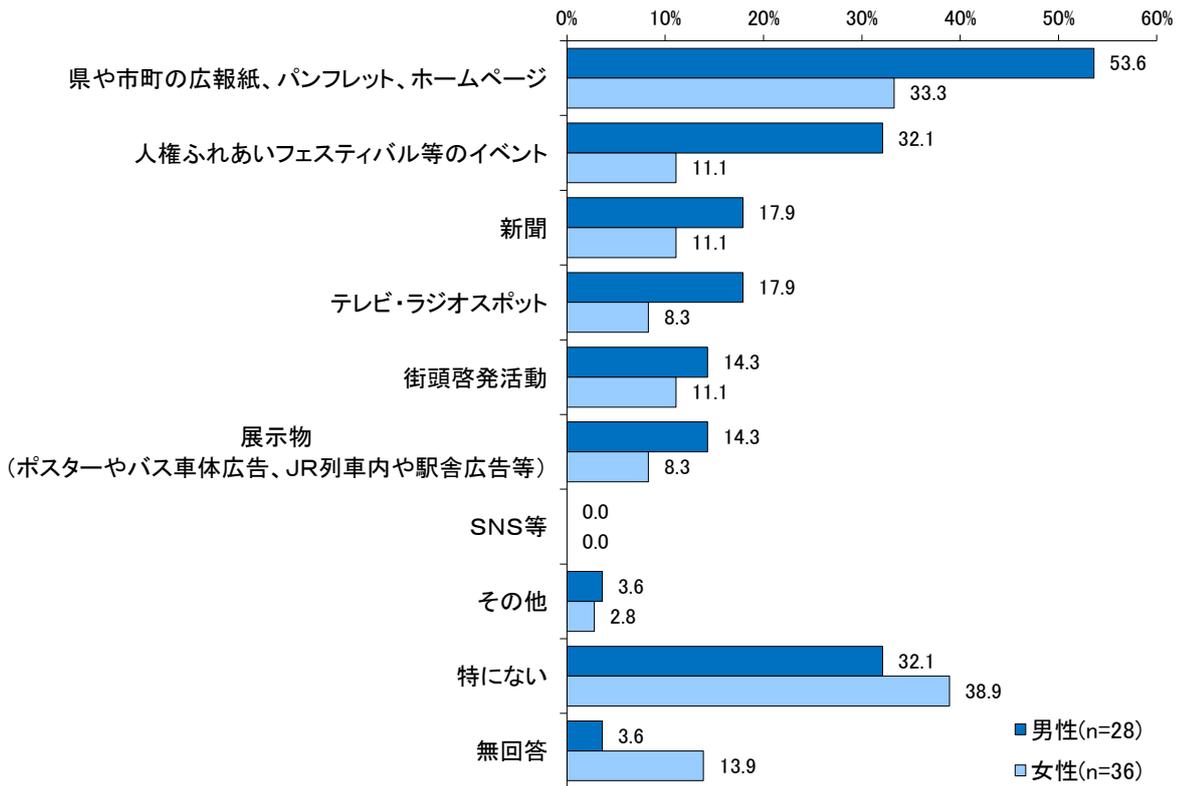
【県や市町が実施した行事への参加や、人権問題に関連した記事等の閲覧経験】



県や市町が実施した行事への参加や、人権問題に関連した記事等の閲覧経験について、「県や市町の広報紙、パンフレット、ホームページ」と回答した人の割合が 38.9%と最も高く、次いで「人権ふれあいフェスティバル等のイベント」(18.1%)となっている。

また、「特にない」と回答した人の割合が 38.9%となっている。

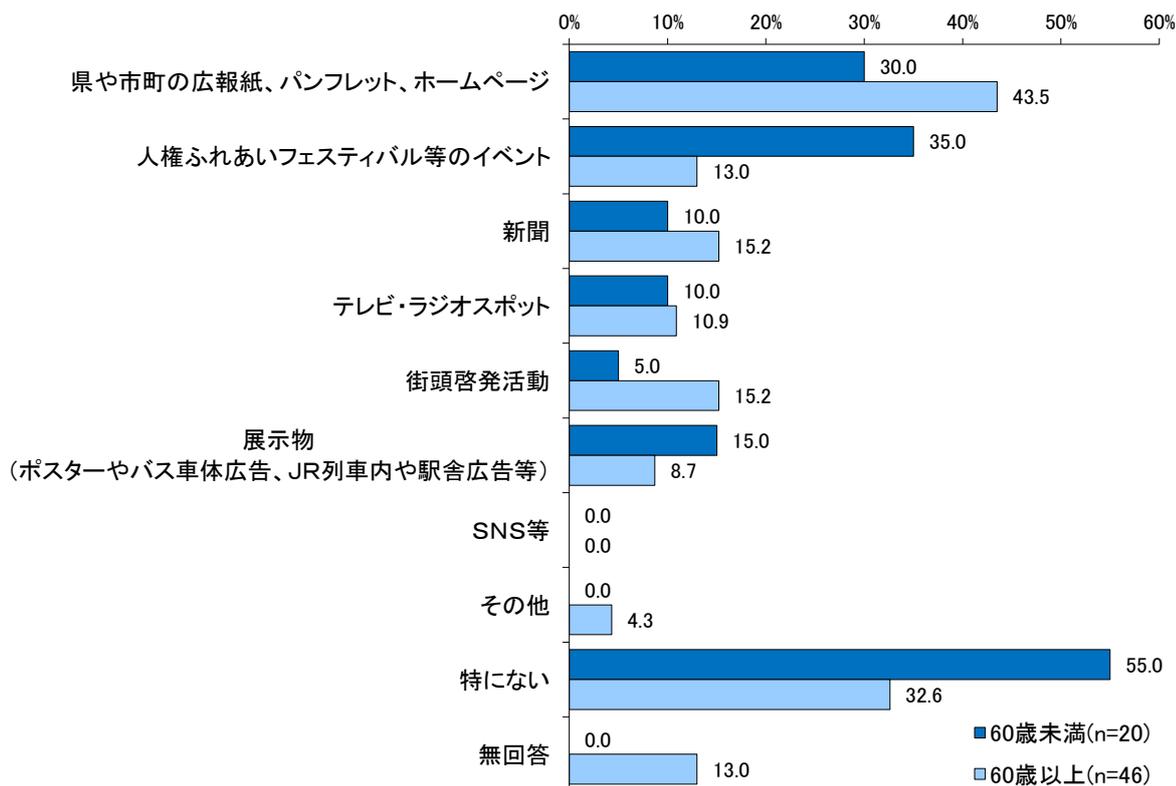
【県や市町が実施した行事への参加や、人権問題に関連した記事等の閲覧経験（性別）】



性別にみると、男性では「県や市町の広報紙、パンフレット、ホームページ」と回答した人の割合が5割台、「人権ふれあいフェスティバル等のイベント」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

女性は「県や市町の広報紙、パンフレット、ホームページ」と回答した人の割合が3割台で最も高くなっている。

【県や市町が実施した行事への参加や、人権問題に関連した記事等の閲覧経験（年齢別）】



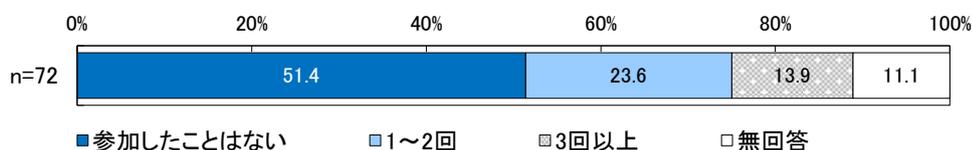
年齢別にみると、60歳未満では「県や市町の広報紙、パンフレット、ホームページ」、「人権ふれあいフェスティバル等のイベント」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

60歳以上では「県や市町の広報紙、パンフレット、ホームページ」と回答した人の割合が4割台で最も高くなっている。

(2) 県や市町、職場、民間団体等が実施した講演会等への参加経験

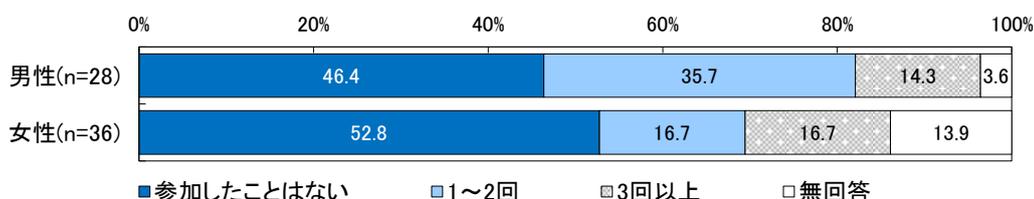
問 20 あなたは、県や市町のほか、職場や民間団体等が実施した講演会・研修会・学習会等に、過去5年間で何回参加されたことがありますか。

【県や市町、職場、民間団体等が実施した講演会等への参加経験】



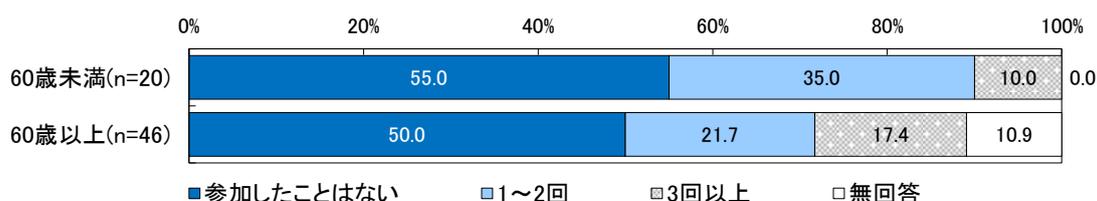
県や市町、職場、民間団体等が実施した講演会等への参加経験について、『参加したことがある』（「1～2回」＋「3回以上」）と回答した人の割合が37.5%、「参加したことはない」と回答した人の割合が51.4%となっている。

【県や市町、職場、民間団体等が実施した講演会等への参加経験（性別）】



性別にみると、「参加したことはない」と回答した人の割合は男性で46.4%、女性で52.8%、『参加したことがある』と回答した人の割合は男性で50.0%、女性で33.4%となっている。

【県や市町、職場、民間団体等が実施した講演会等への参加経験（年齢別）】

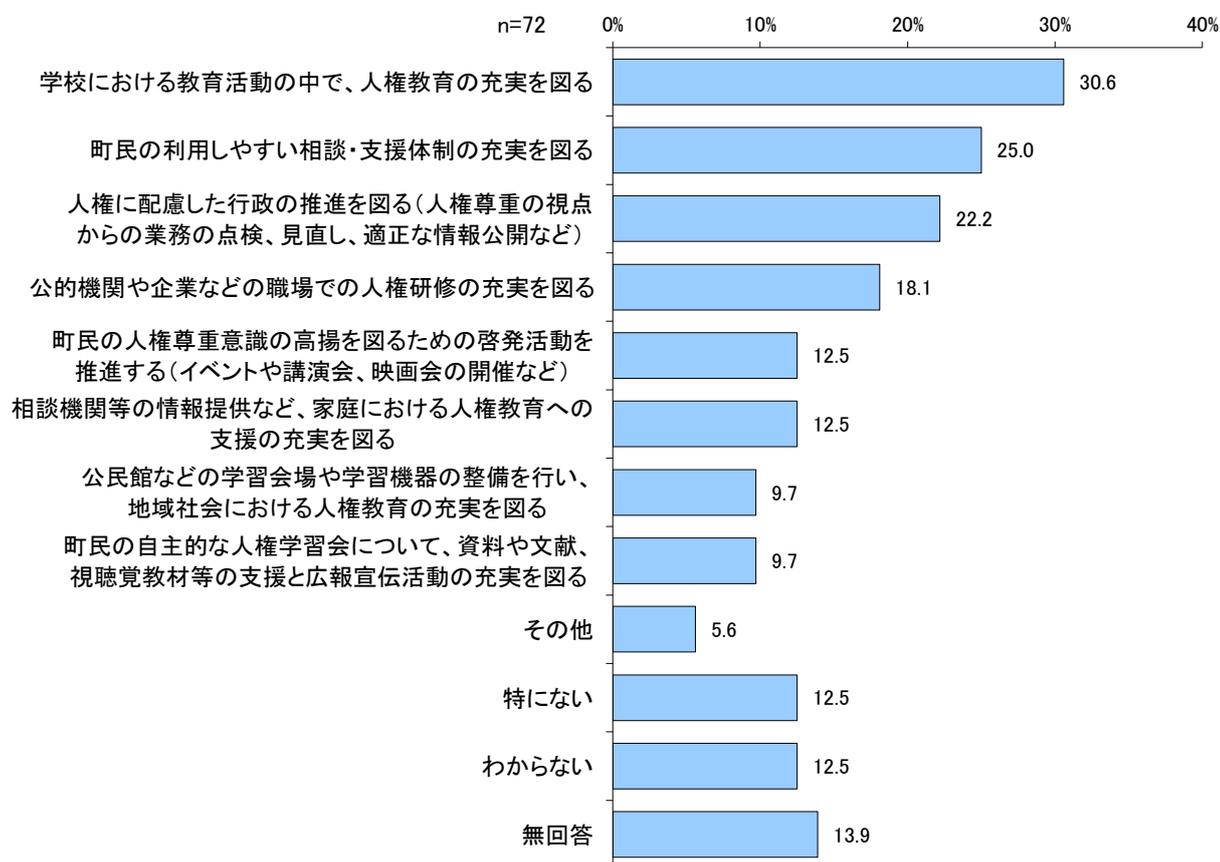


年齢別にみると、「参加したことはない」と回答した人の割合は60歳未満、60歳以上ともに5割台となっており、『参加したことがある』と回答した人の割合は男性で45.0%、女性で39.1%となっている。

(3)力を入れるとよいと思う人権に関する取組の条件整備

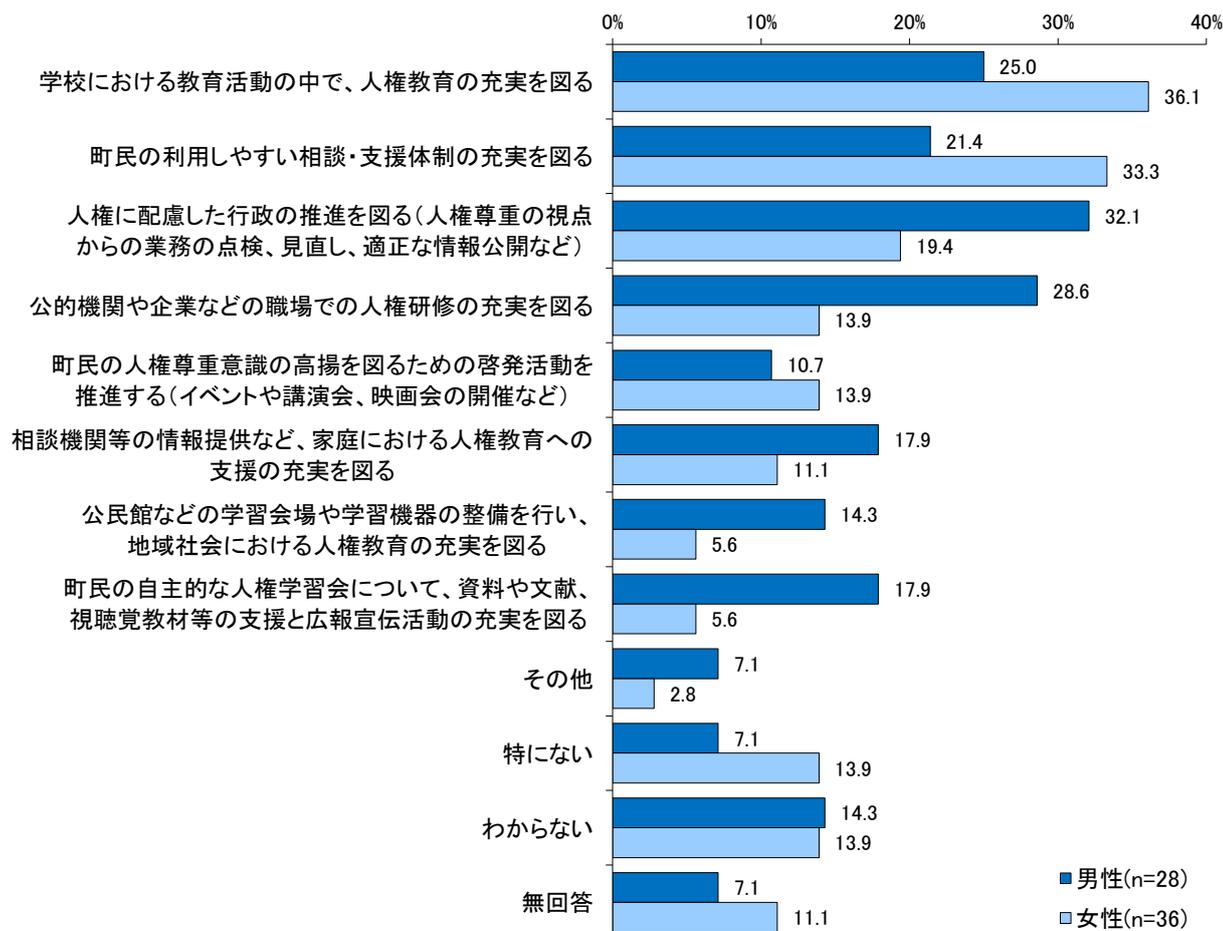
問 21 あなたは、今後、人権に関する取組として、どのような条件整備に力を入れていけばよいと思われますか。(✓は3つまで)

【力を入れるとよいと思う人権に関する取組の条件整備】



力を入れるとよいと思う人権に関する取組の条件整備について、「学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る」と回答した人の割合が 30.6%と最も高く、「町民の利用しやすい相談・支援体制の充実を図る」(25.0%)、「人権に配慮した行政の推進を図る(人権尊重の視点からの業務の点検、見直し、適正な情報公開など)」(22.2%)、「公的機関や企業などの職場での人権研修の充実を図る」(18.1%)が続いている。

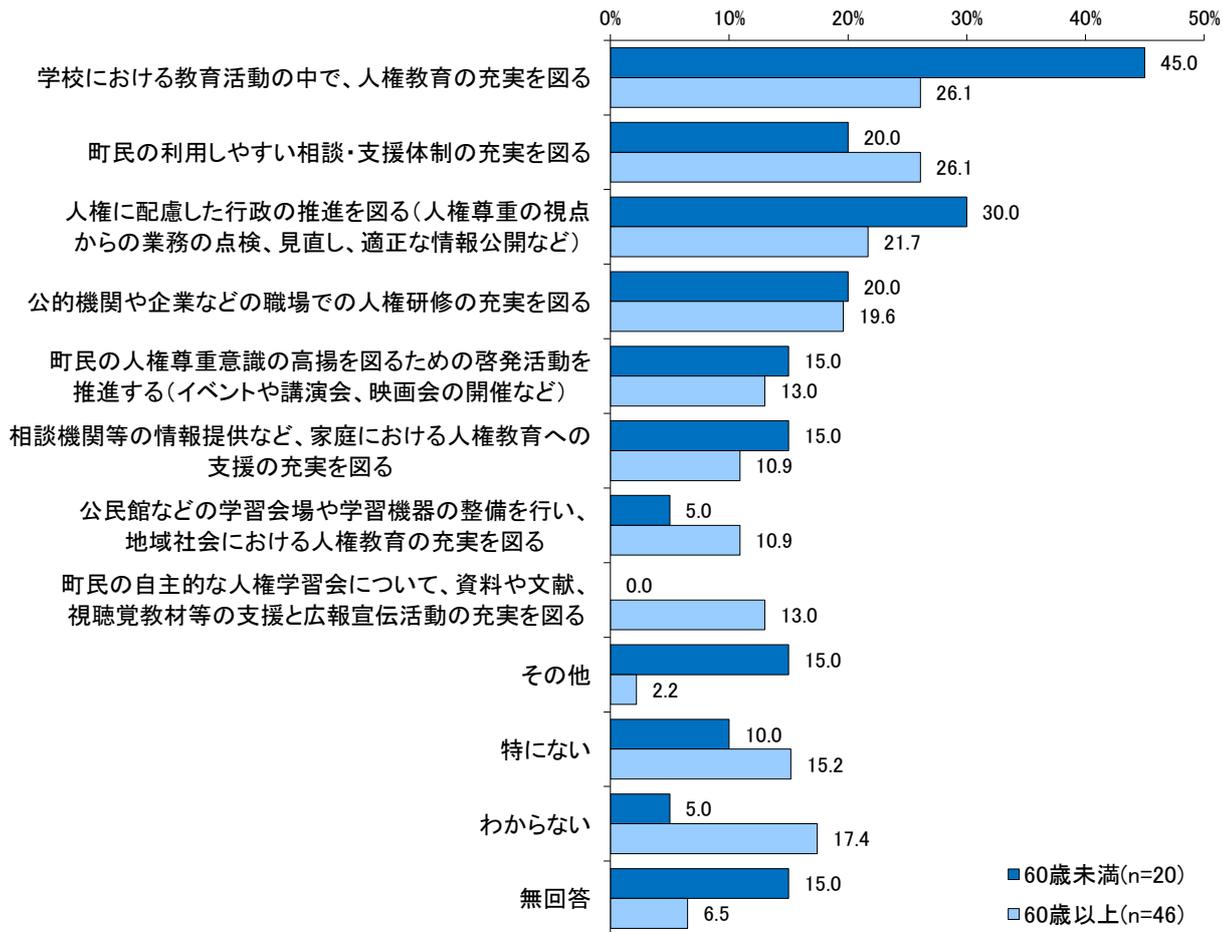
【力を入れるとよいと思う人権に関する取組の条件整備（性別）】



性別にみると、男性では「人権に配慮した行政の推進を図る（人権尊重の視点からの業務の点検、見直し、適正な情報公開など）」と回答した人の割合が3割台、「公的機関や企業などの職場での人権研修の充実を図る」と回答した人の割合が2割台後半で上位となっている。

女性では「学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る」、「町民の利用しやすい相談・支援体制の充実を図る」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

【力を入れるとよいと思う人権に関する取組の条件整備（年齢別）】



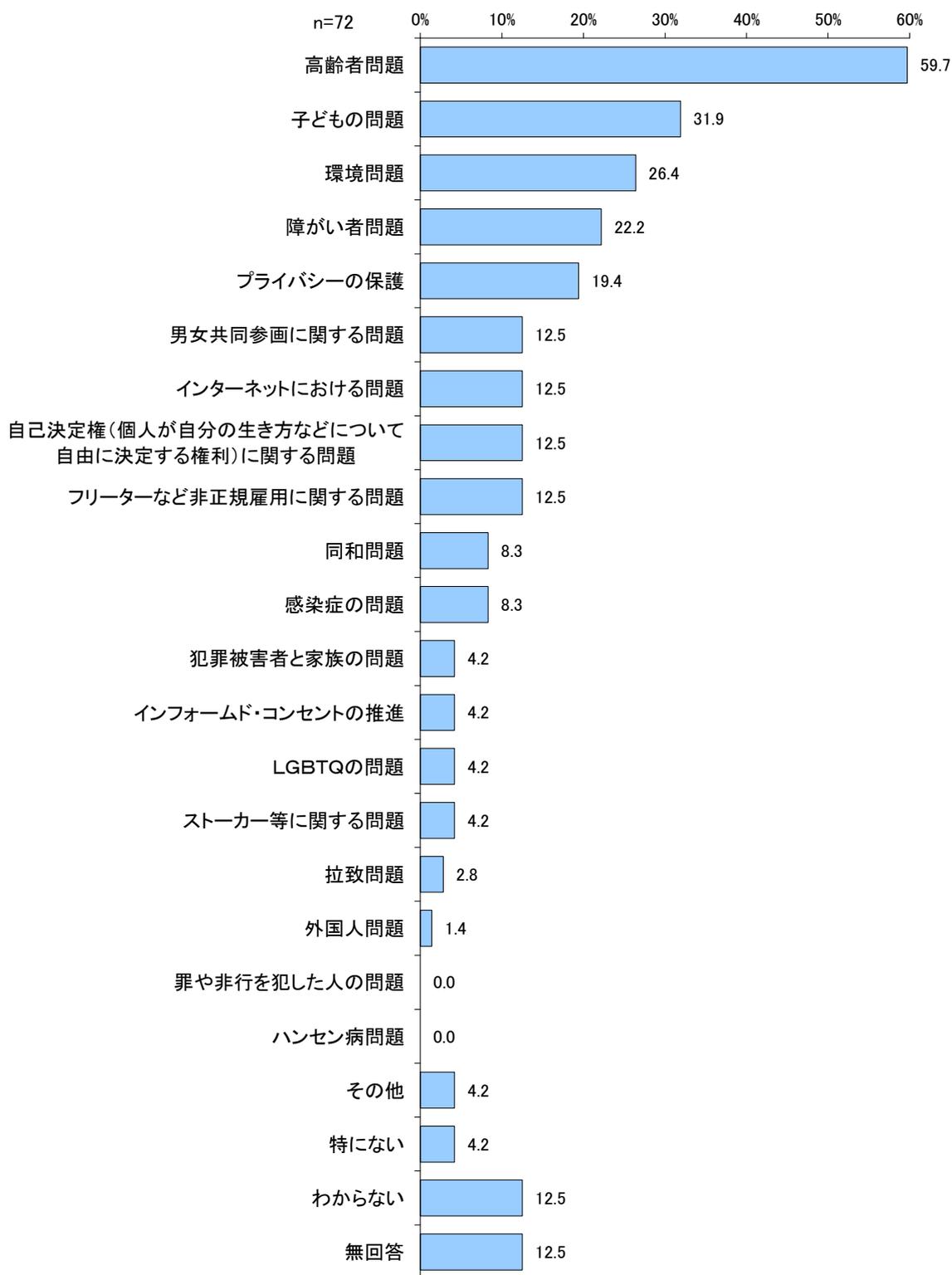
年齢別にみると、60歳未満では「学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る」と回答した人の割合が4割台、「人権に配慮した行政の推進を図る（人権尊重の視点からの業務の点検、見直し、適正な情報公開など）」と回答した人の割合が3割台で上位となっている。

60歳以上では「学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る」、「町民の利用しやすい相談・支援体制の充実を図る」と回答した人の割合が2割台後半で上位となっている。

(4)上関町が取り組むべき人権に関する課題

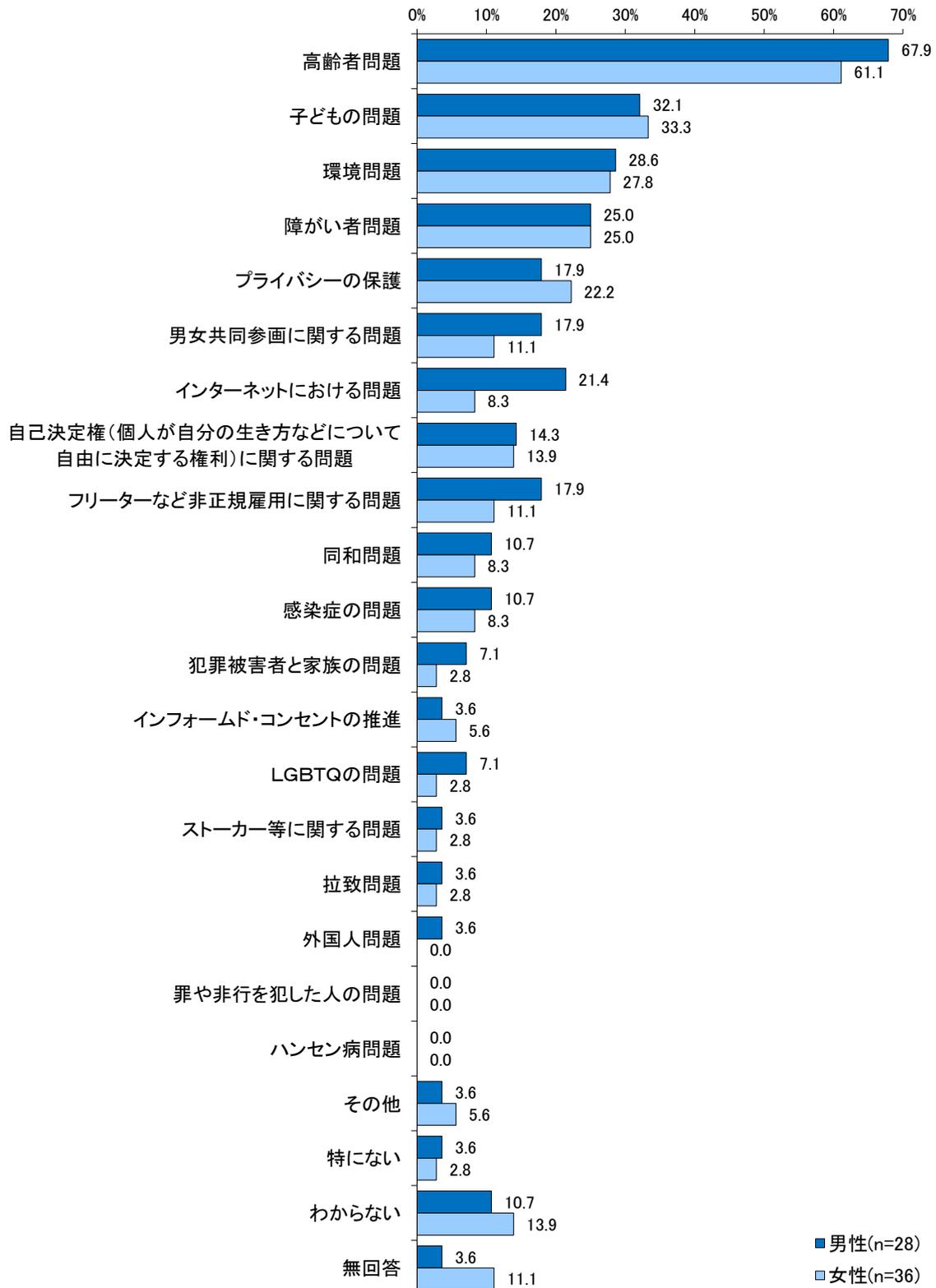
問 22 あなたは、人権に関わる課題として、上関町がどのような問題に力をいれて取り組んでいく必要があると思われますか。(✓はいくつでも)

【上関町が取り組むべき人権に関する課題】



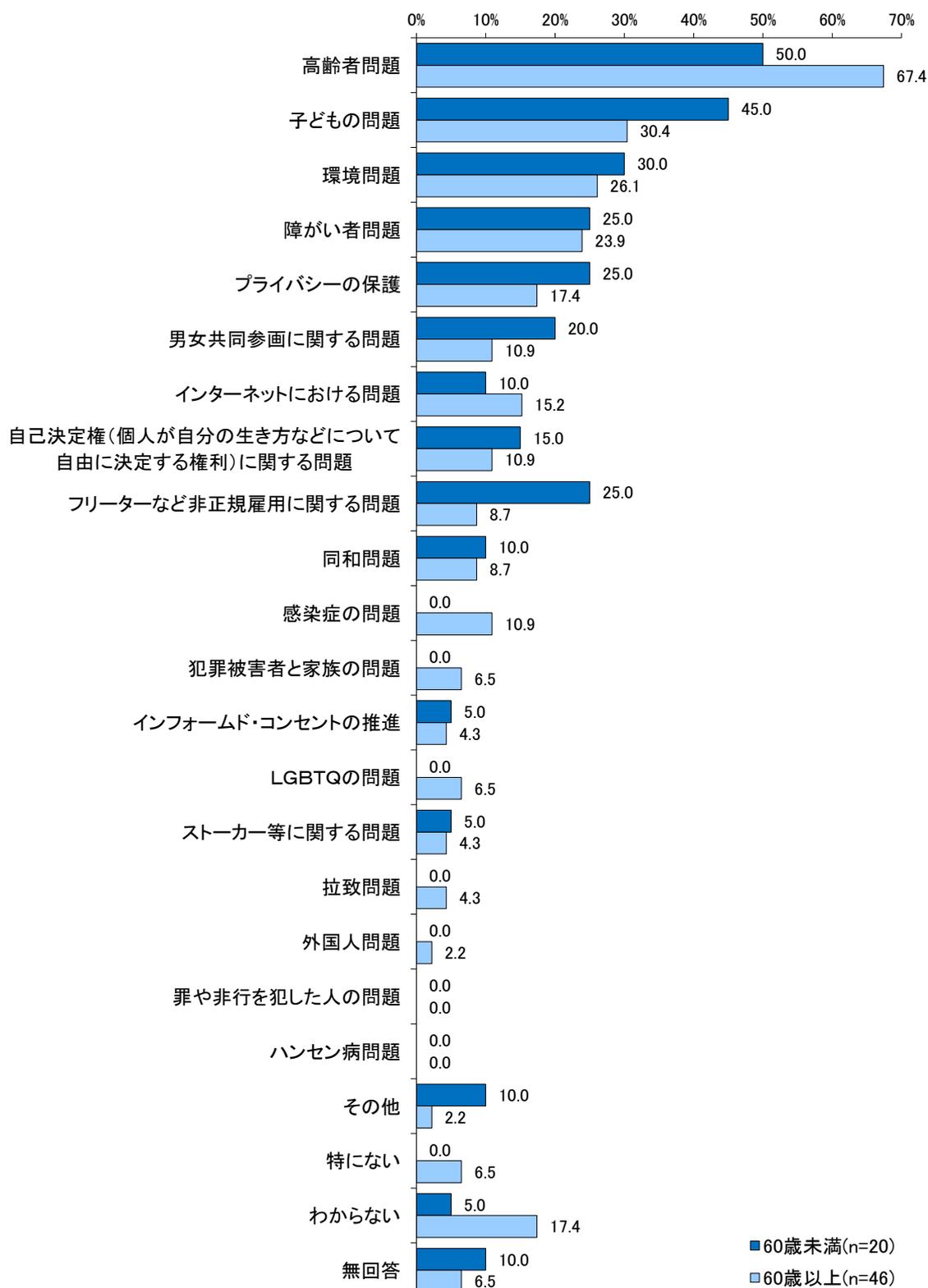
上関町が取り組むべき人権に関する課題について、「高齢者問題」と回答した人の割合が59.7%と最も高く、次いで「子どもの問題」(31.9%)となっている。

【上関町が取り組むべき人権に関する課題（性別）】



性別にみると、男女ともに「高齢者問題」と回答した人の割合が6割台で最も高くなっている。

【上関町が取り組むべき人権に関する課題（年齢別）】



年齢別にみると、60歳未満では「高齢者問題」と回答した人の割合が5割台、「子どもの問題」と回答した人の割合が4割台で上位となっている。

60歳以上では「高齢者問題」と回答した人の割合が6割台で最も高くなっている。